

日医総研ワーキングペーパー

第5回 日本の医療に関する意識調査

No. 331

2014 年 12 月 24 日

日本医師会総合政策研究機構
江口成美
出口真弓

第5回 日本の医療に関する意識調査

主席研究員 江口成美

研究員 出口真弓

キーワード

◆医療満足度

◆意識調査

◆かかりつけ医

◆医療に関する不安

◆医療の重点課題

ポイント

- 国民が安心して医療を受けられる環境を整備し、より多くの国民が健康で長寿を全うできる地域社会の構築が求められている。本調査は、医療の受け手である国民の医療への意識やニーズを継続的に把握し、今後の医療提供のあり方を検討する基礎資料を作成することを目的に実施した。
- 受けた医療の満足度は高く、日本の医療全般に対する満足度も上昇傾向がみられた（69.5%）。患者を尊重する個別性のある医療を受けている、と回答する割合も増加した。これらの変化は、国民の理解の向上と医療現場の対応による、医師患者関係の一定の向上を示すものと思われる。国の医療費抑制策を含む今後の医療改革で、今まで築いてきた信頼関係を損なうことがないように留意する必要がある。
- 国民が考える医療の最重点課題は、長期入院できる施設の整備（56.4%）で、前回調査に比べて割合が増加した。また、医療に関する不安は、市郡規模の小さい町村の回答者の間で高い傾向がみられ、前回調査に続いて依然として地域格差が生じていた。地域医療構想など今後の提供体制の再構築において、地域住民が安心できる体制整備が求められている。
- 最初にかかりつけ医など決まった医師を受診することを望む人は、約7割を占めた。専門医への紹介に加え、予防などの健康管理、幅広く診ること、在宅医療など、かかりつけ医に対する多くの要望が示され、期待に応えていく必要がある。また、かかりつけ医の効用の高さが明らかとなり、かかりつけ医を持つ人を増やすための情報提供が今後の課題である。
- 国民は治療方針への積極的な関与を望み、医師の説明は満足度に最も大きく影響していた。十分に説明を行う為の医学教育と余裕のある現場の確保が重要である。
- 面接調査と並行して実施したWEB調査は回答傾向がほぼ同様であったが、数値割合については調整後も差が生じる設問がみられた。回答者の価値観などの違いを示しており、今後の調査手法の検討における重要な情報が得られた。

目次

1. はじめに	5
1-1. 調査概要	5
1-1-1 調査目的	5
1-1-2 調査方法・対象	5
1-1-3 調査手法と回収	5
1-2. 調査内容	6
2. 結果サマリー	7
3. 回答者の属性	10
3-1. 回答者属性	10
4. 調査結果	11
4-1. 受療に関わる意識	11
4-1-1 満足度の推移（受けた医療、日本の医療全般）	11
4-1-2 医療機関の受診のあり方	12
4-1-3 医療の重点課題	14
4-1-4 地域医療に関する不安	16
4-1-5 治療方針の自己決定に関する意識	18
4-1-6 所得水準と医療の中身	20
4-1-7 国民の健康管理	22
4-2. かかりつけ医	24
4-2-1 かかりつけ医の有無	24
4-2-2 かかりつけ医の診療	26
4-2-3 かかりつけ医への期待	28
4-3. 医療満足度と医師患者関係	32
4-3-1 医療満足度	32
4-3-2 受けた医療の個別の満足度	33
4-3-3 医療に不満の理由	34
4-3-4 医療満足度と生活満足度	36
4-3-5 医師患者関係	37
4-3-6 医療安全	39
4-4. その他の項目	40

4-4-1 療養の場への意見	40
4-4-2 希望する介護の場とサービス提供者	41
4-4-3 健康状態	43
4-4-4 医療制度等に関する知識・関心	44
5. 分析とまとめ	47
5-1. 医療満足度	47
5-2. かかりつけ医を持つ人と持たない人の比較	50
5-3. まとめ	52
6. 【参考】WEB 調査結果	54
6-1. 面接調査と WEB 調査の比較	54
6-2. 回答者属性	60
6-3. 受療に関わる意識	61
6-3-1 満足度（受けた医療、日本の医療全般）	61
6-3-2 医療機関の受診について	62
6-3-3 医療の重点課題	63
6-3-4 地域医療に関する不安	64
6-3-5 治療方針の自己決定に関する意識	70
6-3-6 所得水準と医療の中身	71
6-3-7 国民の健康管理	72
6-4. かかりつけ医	73
6-4-1 かかりつけ医の有無	73
6-4-2 かかりつけ医の診療	75
6-4-3 かかりつけ医への期待	76
6-5. 医療満足度と医師患者関係	77
6-5-1 医療満足度	77
6-5-2 受けた医療の個別項目の満足度	79
6-5-3 医療に不満の理由	80
6-5-4 受けた医療と生活満足度	81
6-5-5 医師患者関係	82
6-5-6 医療安全	83
6-6. その他の項目	84
6-6-1 療養の場所への意見	84

6-6-2 希望する介護の場とサービス提供者	86
6-6-3 医療費の負担感	87
6-6-4 健康状態	87
6-6-5 医療制度等に関する知識	88
7. 補足資料	90
7-1. (参考) 母集団との属性の比較	91
7-2. (参考) 面接調査とWEB 調査統計分析結果	93
7-3. 面接調査調査票	面接調査票 - 1
7-4. WEB 調査調査票	WEB 調査票 - 1

1. はじめに

1-1. 調査概要

日本の医療に関する意識調査は平成14年より継続して実施し、今回第5回目となる。医療を受ける国民の意識やニーズ、満足度を把握することで、今後の医療提供の方向性を探ることを目的に実施した。本調査では面接調査と並行してWEB調査を実施し、結果の検証を行った。従来通り、実施主体が日本医師会であることは回答者には伝えず、調査会社の名前で調査を実施した。

1-1-1 調査目的

日本の医療に対する国民の意識とニーズを改めて調査し、経年的な変化を確認する。さらに、昨今の医療の現状や課題に対する国民の意識を把握し、今後の政策立案に利用可能な基礎データを収集する。

1-1-2 調査方法・対象

- ① 個別面接聴取法：20歳以上の国民（中央調査社 オムニバス調査）
- ② WEB調査：20歳以上の国民（インテージ社 モニター）

1-1-3 調査手法と回収

調査時期：平成26年8月

- ① 個別面接調査：層化3段無作為抽出 地点数 全国157地点
有効回収数：1,122（うち70歳以上の回答数は259で23.1%）
- ② WEB調査：地域（12ブロック）と市郡規模（3区分）から比例サンプリング¹
有効回収数：5,667（うち70歳以上の回答数は718で12.7%）

※個別面接調査、WEB調査ともに岩手県、宮城県、福島県の住民も含む。

¹調査会社が保有する100万人の研究専用モニターから、各ブロック・市郡規模の人口（20～79歳）に応じて比例配分し、性別・年齢構成を調整後、調査票を配信している。

表 1-1 日本の医療に関する意識調査 第1回から第5回までの実施時期と回収数

	実施時期	国民	
		個別面接 調査法	WEB 調査法
第1回調査 WP No. 50	2002 年 9 月	N=2, 084	—
第2回調査 WP No. 137	2006 年 3 月	N=1, 364	—
第3回調査 WP No. 180	2008 年 7 月	N=1, 313	—
第4回調査 WP No. 260	2011 年 11 月	N=1, 246	—
第5回調査 WP No. 331	2014 年 8 月	N=1, 122	N=5, 667

1-2. 調査内容

継続項目

- ・満足度（受けた医療、日本の医療全般、生活）
- ・重点課題、医師患者関係、個別医療
- ・保険制度についての考え
- ・健康意識、不安に感じる事
- ・医療安全について 等

新規項目

- ・診療の受け方に関する意識
- ・かかりつけ医に求める医療
- ・健康のために気を付けていること
- ・介護者に関する意識
- ・医療保険、医療制度に関する知識 等

2. 結果サマリー

① 地域医療の整備

国民が考える最重要課題は長期入院のための体制整備、2番目は救急医療

【重点課題】国民が考える医療の重点課題（複数回答）は、「長期入院できる施設の整備」（56.4%）であった。前回調査に比べて入院のための施設整備が重要課題と考える人の割合が増加した。2番目は「救急医療の体制整備」（49.6%）で、40代以下の国民の間では最重要課題となっていた。【本文 4-1-3（P.14）】

医療に関する不安の地域格差が依然として見られる

【不安】国民の 66.2%は、地域や国全体で人口減少と少子高齢化が進んでいることに対して不安を感じていた。また、「希望する場所で最期を迎えられる」、「医療と介護の一貫サービス」、「地域でのリハビリ」、「地域での高水準のがん治療」について不安を持つ人が、それぞれ約4割を占めた。都市規模の小さい町村など地方部の住民の間では不安が高い傾向がみられた。【本文 4-1-4（P.16）】

② かかりつけ医への期待

最初にかかりつけ医など決まった医師の受診を望む人は7割、かかりつけ医に高い期待

【受診のあり方】「最初にかかりつけ医など決まった医師を受診する」ことを望む人が、7割を占め、かかりつけ医がいる人はその割合がより高い傾向がみられた。専門医への紹介（93.3%）に加え、幅広く診ること（82.0%）、予防などの健康管理（79.0%）、在宅医療（59.8%）や看取り（47.9%）など、国民は、かかりつけ医に対して多くの要望を持っている。この期待に応えるための医療側のさらなる対応が望まれる。かかりつけ医を持つ人を増やすための情報提供も重要である。【4-1-2（P.12）、4-2-3（P.28）】

かかりつけ医のタイプは主治医が半数も、幅広くあるいは総合的に診る医師も半数

【かかりつけ医】面接調査では全体の53.7%がかかりつけ医がいると回答し、高齢者の間では8割にのぼった。身近なかかりつけ医がいる人のうち、48.8%はその医師が「病気の主治医」（のみ）であるが、「幅広く診てもらう医師」、「総合的に診てくれる医師」と認識している割合も合わせると50.4%にのぼった。【4-2-1（P.24）、4-2-2（P.26）】

③ 医療の中身への要望

医療満足度は高く、医師患者関係の向上が示された

【満足度】受けた医療の満足度は高く、日本の医療全般に対する満足度は69.5%で上昇傾向がみられた。患者を尊重する個別性のある医療を受けていると回答した割合も66.8%で上昇傾向がみられた。これらの状況は、国民の理解向上と医療側の努力による、全般的な医師患者関係の向上を示すものと思われる。【4-1-1 (P.11)、4-3-5 (P.37)】

国民の7割は所得に関係なく同じ医療を望むが、2割は所得による格差を容認

【所得水準と医療の中身】72.0%の国民は、所得の高い低いに関わらず受けられる医療の中身が同じがよいと考えていた。一方、17.2%の人は所得によって受けられる医療の中身が異なることはやむを得ないと考えていた。所得水準の高い人ほど容認する傾向がみられ、一定の割合の国民が容認としていることがわかった。【4-1-6 (P.20)】

④ 在宅医療と介護サービスの確保

在宅医療へのニーズの高まり

【かかりつけ医への期待】かかりつけ医に期待することとして、在宅医療をあげた人は第2回（2006年）では4割であったが、本調査では6割に増加している。75歳以上の高齢者については約7割を占めた。在宅医療への理解が高まっており、その整備が急務となっている。【4-2-3 (P.28)】

介護される場所として自宅（居宅）を望む人の間でも外部介護サービスの要望は高い

【介護】自身に介護が必要となった場合、自宅で介護を受けることを望む人が47.0%で約半数を占めた。それらの人のうち、介護サービスの担い手として、家族の介護が主でなく、外部の介護サービスを主として望む人が42.5%を占めた。今後の介護サービスのニーズの急増を示している。【4-4-2 (P.41)】

⑤ 国民の健康増進

国民の健康意識はかかりつけ医の有無と関連

【日常の健康管理】健康のために日常的に気を付けている人は、年齢・健康状態を調整しても、かかりつけ医がいる人ほどそれぞれの項目についてより多くの人が気を付けている傾向がみられた。医療提供者あるいは行政による国民の健康増進への働きかけが重要であることを示唆している。【4-1-7 (P.22)】

3. 回答者の属性

(本調査結果は面接調査を基本とし、WEB調査結果は参考として後半に記載する)

3-1. 回答者属性

(n=1,122)

表 3-1 居住地域

北海道	5.2%
東北	7.5%
関東甲信越・北陸	32.4%
東京	10.0%
中部	10.7%
近畿	14.9%
中国・四国	9.4%
九州	10.0%

表 3-4 最近の受診時期

2週間以内	24.1%
1ヵ月以内	24.7%
3ヵ月以内	11.5%
半年以内	10.0%
1年以内	10.9%
2～3年前	6.9%
3年以上前	6.4%
一度も受診なし	5.1%
わからない	0.5%

表 3-6 世帯年収

300万円未満	24.8%
300万円～500万円未満	19.4%
500万円～800万円未満	17.6%
800万円～1,000万円未満	3.5%
1,000万円以上	2.9%
わからない	31.9%

表 3-2 年齢 (平均 53.3 歳)

29歳以下	11.3%
30～39歳	16.7%
40～49歳	16.7%
50～59歳	13.4%
60～69歳	18.9%
70歳以上	23.1%

表 3-3 性別

男性	46.4%
女性	53.6%

表 3-5 同居人数

1人	12.5%
2人	25.8%
3人	21.6%
4人以上	17.5%

表 3-7 職業

農林漁業	1.8%
商工・サービス業	11.8%
事務職	16.0%
労務職	18.2%
自由業管理職	2.6%
専業主婦	26.3%
学生	3.3%
その他の無職	20.1%

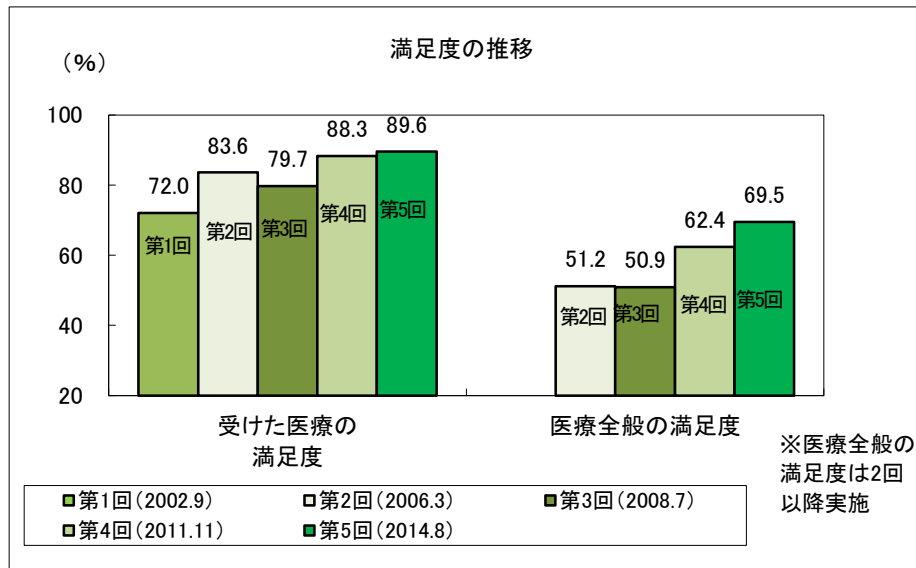
4. 調査結果

4-1. 受療に関わる意識

4-1-1 満足度の推移（受けた医療、日本の医療全般）

直近に受けた医療に満足している人の割合は 89.6%、日本の医療全般に満足している割合は 69.5%であった。（満足度の詳細は 4-3 参照）

図 4-1 国民の医療満足度 - 第1回～第5回調査（2002年～2014年）



満足度に関する設問

- ①受けた医療の満足度：「一番最近に受診された医院・診療所や病院についてお伺いします。ここにあげた(1)から(9)のそれぞれの事柄にどの程度満足していますか」→(9) 総合的にみて
- ②医療全般の満足度：「あなたは日本の医療全般について満足していますか」

4-1-2 医療機関の受診のあり方

受診のあり方として、専門医にかかる前にかかりつけ医など決まった医師を受診することに対する要望が国民の間で強いことがわかった。「最初にかかりつけ医など決まった医師を受診し、そこで専門医を紹介してもらう」ことを望む人が 69.9%を占めた。病気の程度に関わらず自分の判断で選んだ医療機関を受診する人は 27.2%であった。面接調査でも既存のインターネット調査と同様の傾向が示された²。

かかりつけ医がいる人は、決まった医師を受診することを望む人の割合が高く 76.1%であったが、かかりつけ医がいない人の場合は 62.9%であった。かかりつけ医がいる人のほうが、いない人よりも、決まった医師を受診することを有意に望んでいた。決まった医師を受診することを望む人の割合は、都市部ではやや低い傾向がみられた。年齢による違いはほとんど見られなかった。紹介状なしの大病院受診に伴う患者負担について周知度が高まっていることが推測されるが、まずは身近なかかりつけ医を診療することへの要望が高いことを示している。

² 「医療に関する国民意識調査」（健康保険組合連合会 2011 年。インターネット調査）問 19 を参考に設問を作成。同調査結果は A に賛成（計）は 30.0%、B に賛成（計）は 56.7%であった。本調査の WEB 版は、A に賛成（計）は 29.6%、B に賛成（計）は 57.2%と、健保連調査とほぼ同じ傾向であった。

図 4-2 医療機関の受診のあり方

Q21 医療機関の受診のあり方として、次の A と B の 2 つの考え方について議論されています。あなたはどちらに賛成しますか。

- A 病気の程度に関わらず、自分の判断で選んだ医療機関を受診する
- B 最初にかかりつけ医など決まった医師を受診し、その医師の判断で必要に応じて専門医療機関を紹介してもらい受診する

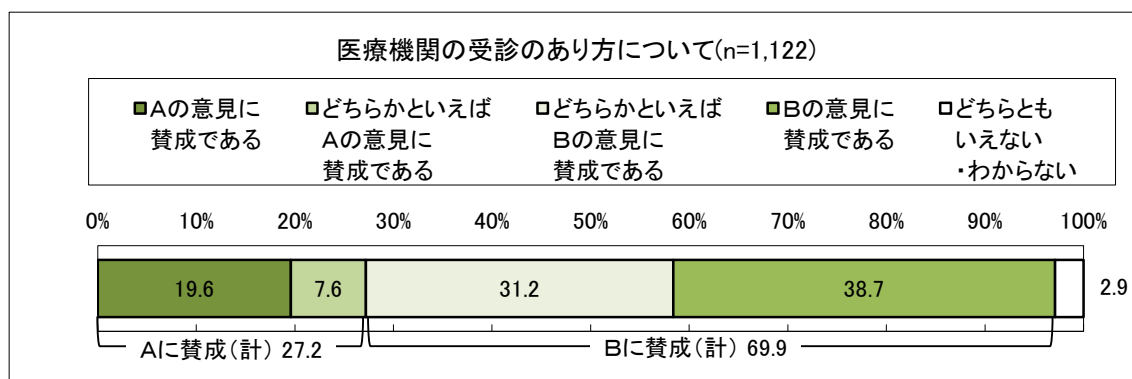


表 4-1 医療機関の受診のあり方 ーかかりつけ医の有無、都市規模別

	毎回医療機関を選択	決まった医師を受診	どちらともいえない
かかりつけ医がいる人(n=603)	21.6	76.1	2.3
かかりつけ医がいない人(n=515)	33.6	62.9	3.5
21 大都市(n=313)	31.3	65.2	3.5
その他の都市(n=698)	25.4	71.6	3.0
町村(n=111)	27.0	72.1	0.9

4-1-3 医療の重点課題

医療提供体制において重点を置くべきと国民が考える課題については、「高齢者などが長期入院するための入院施設や介護老人保健施設の整備」(56.4%)、「夜間休日診療や救急医療体制の整備」(49.6%)、続いて「医療従事者の資質の向上」(33.3%)であった。居住地による大きな地域差はみられなかった。長期入院施設の整備と夜間休日・救急医療は、今回を含めた過去5回の調査のなかで、いずれの調査においても、上位2位の最重要課題と認識されている。40歳代を境に、若年層は救急医療を、高齢層は長期入院のための整備を最重要課題と考えている。

図 4-3 国民が考える重点課題 (3 つまで) (第3回～第5回)

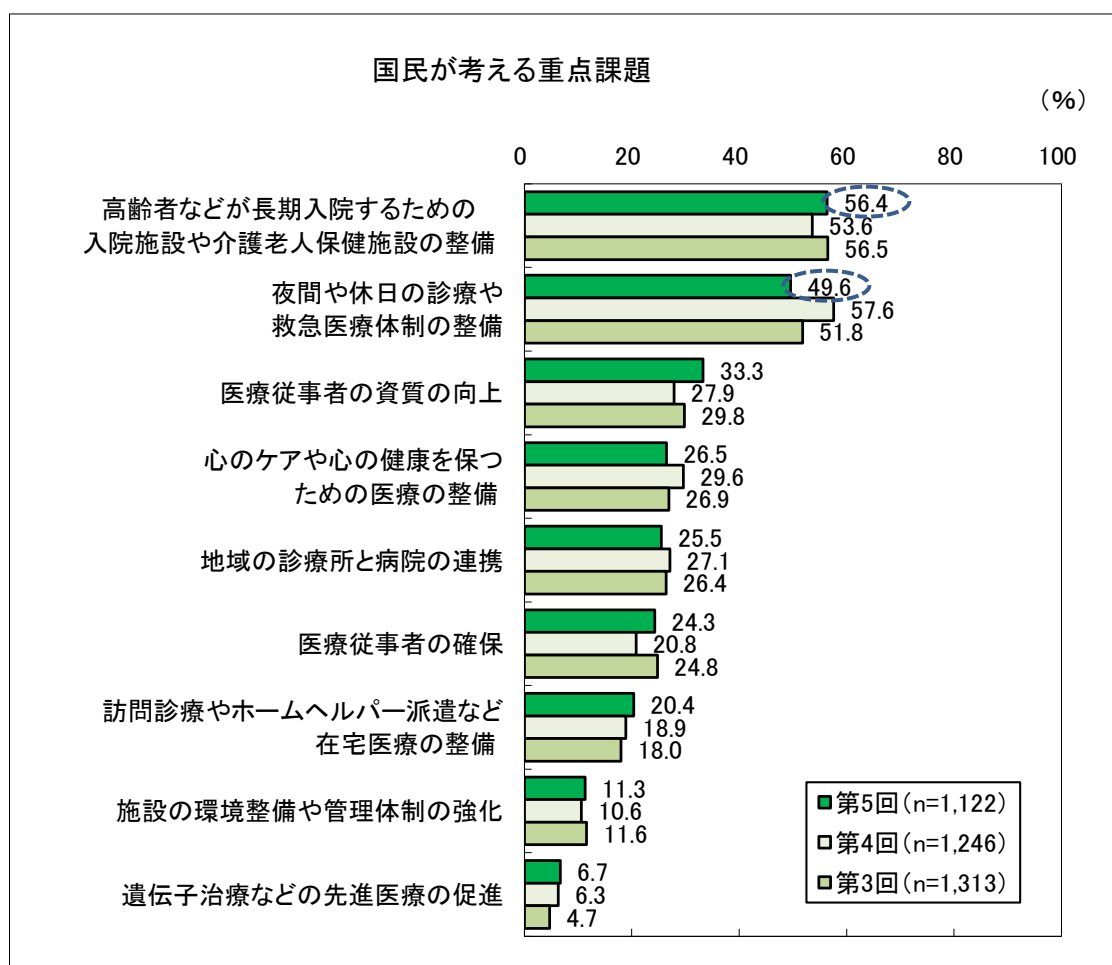


図 4-4 国民が考える重点課題 - 上位2項目の推移 (2002年～2014年)

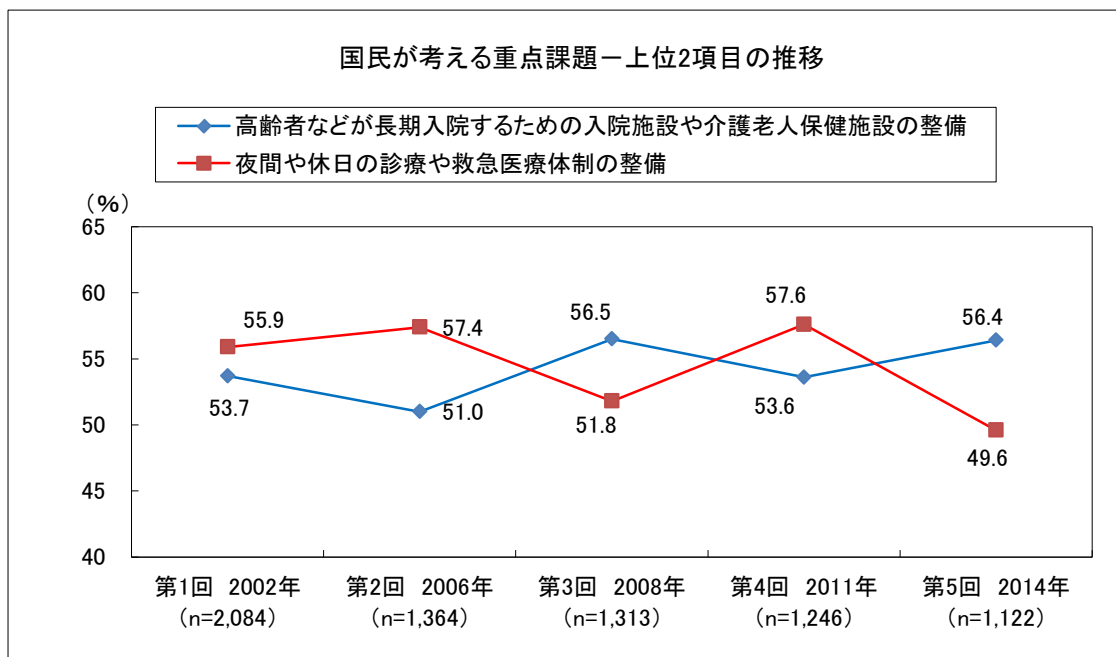
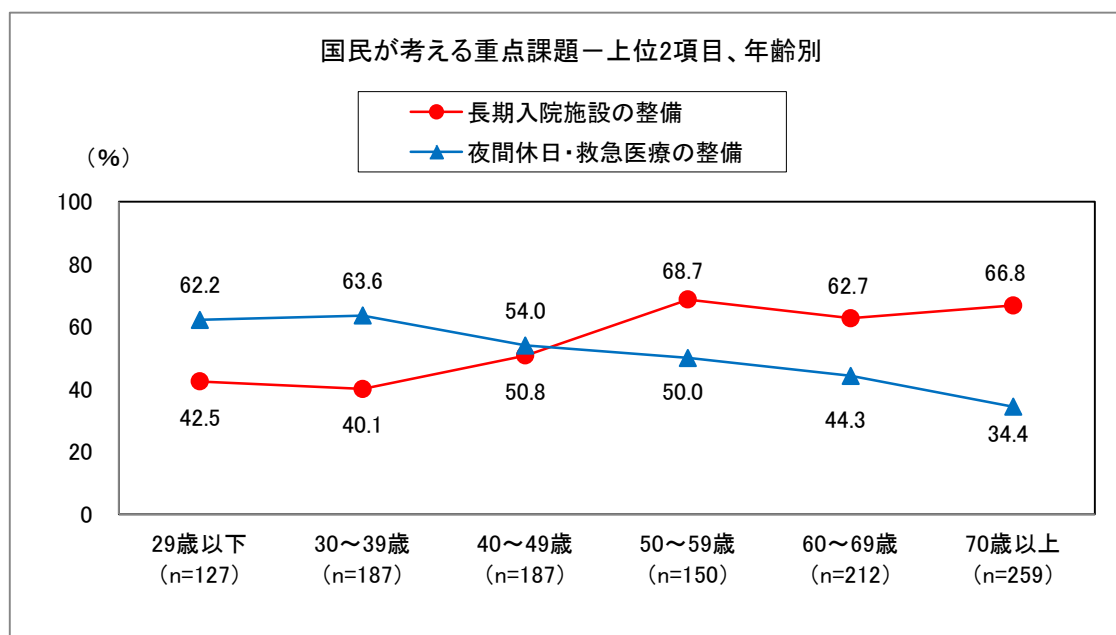


図 4-5 国民が考える重点課題 - 上位2項目 (年齢別)



4-1-4 地域医療に関する不安

地域や国全体で人口減少と少子高齢化が進んでいることに対して 66.2%の人が不安を感じていた。また、全体の4割の国民が「希望した場所で最期を迎えられる」、「医療と介護の一貫サービス」、「地域でのリハビリや療養」、「地域での高水準のがん治療」に不安を持っていた。

女性のほうが不安を強く感じる傾向が見られた。また町村など地方部での不安感が強い傾向が見られた。地方部での人口減少と相まって、医師や医療施設などの医療資源不足に対して不安を抱く人が多いことを示している。ただし、希望する場所で最期を迎えることについては地域差が見られず、居住地に関係なく不安がみられた。

図 4-6 不安に思う人の割合

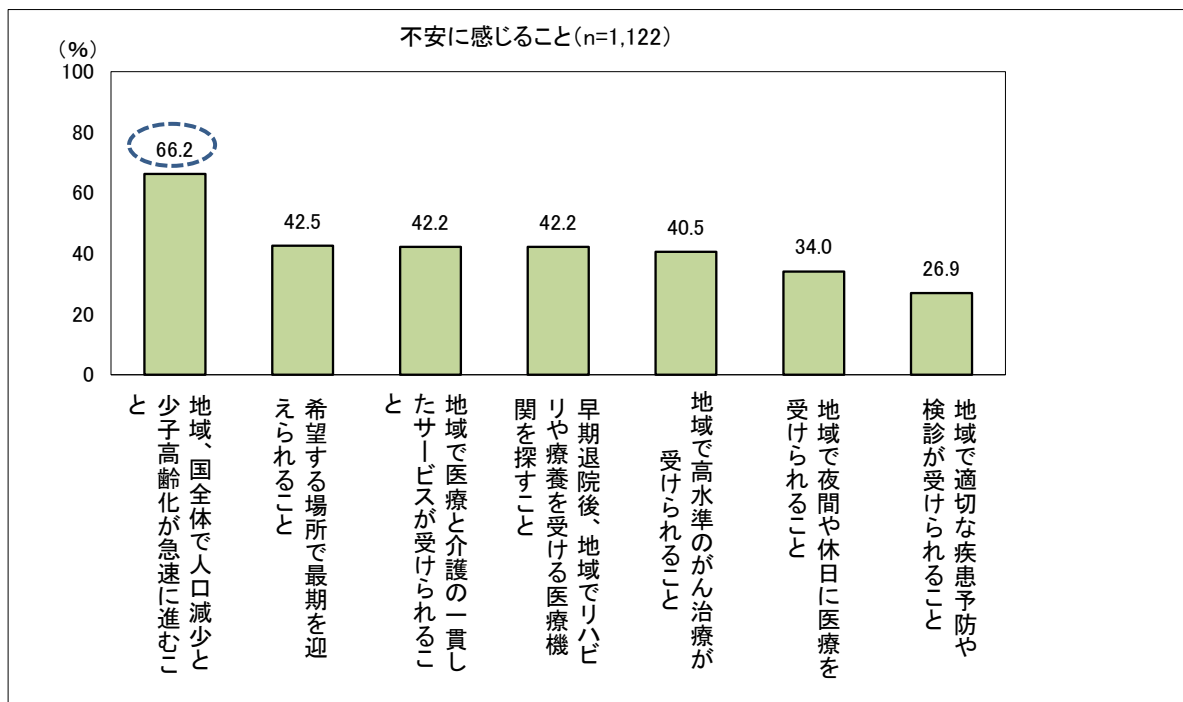


図 4-7 不安に思う人の割合（地域別）

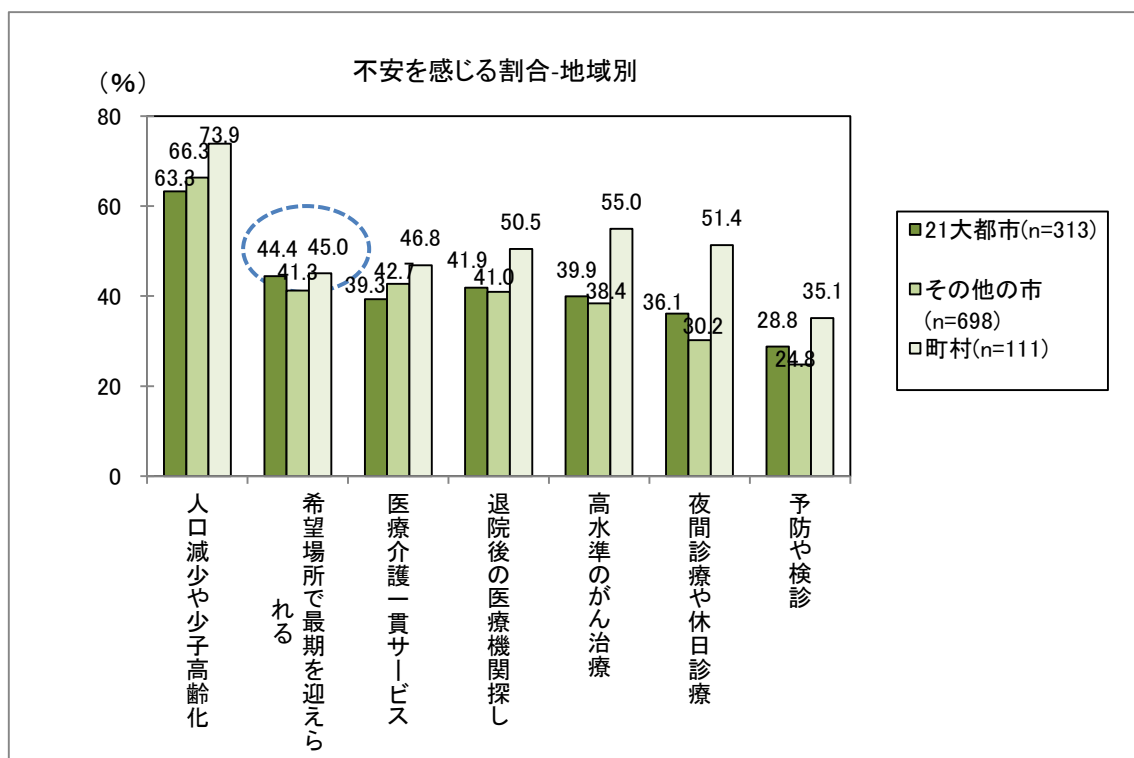
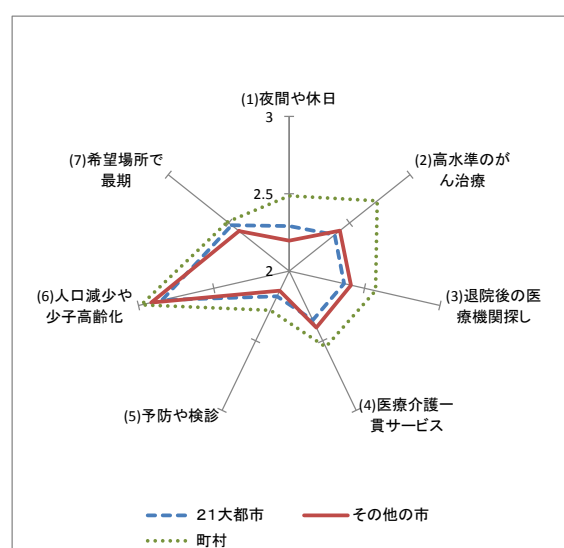
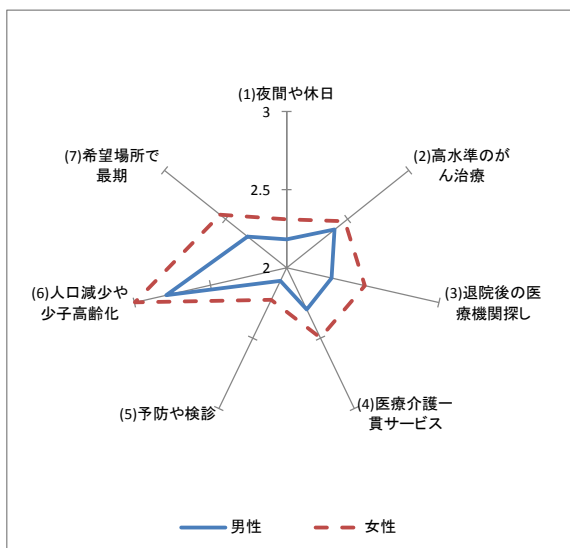


図 4-8 項目別不安スコア（男女）

図 4-9 項目別不安スコア（地域別）

まったく不安は感じない＝1、あまり不安を感じない＝2、やや不安を感じる＝3、とても不安を感じる＝4 点に換算して平均点を算出

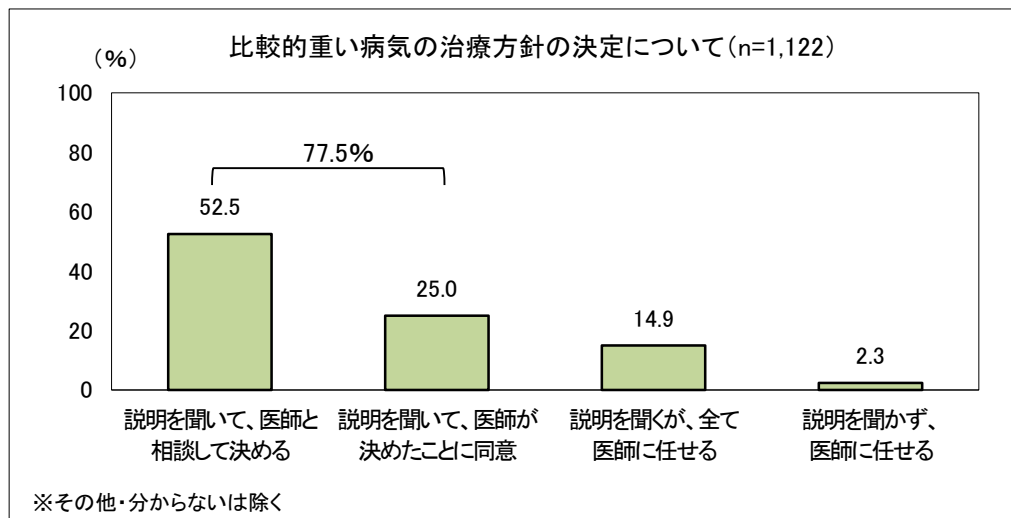


※北海道、九州などの居住地域別についてはN数の多いWEB調査結果（6-3-4）に掲載

4-1-5 治療方針の自己決定に関する意識

比較的重い病気の治療方針の決定に際して、52.5%の人が医師と相談して決めたいと考え、説明を聞いて医師が決めたことに同意する人（25.0%）と合わせると 77.5%に上った。男性よりも女性のほうが自己決定を望む割合が高い。年齢別にみると、医師の説明を聞いたうえで決めることを望む人は、30歳代から50歳代は8～9割で、60歳代で7割（74.5%）、70歳以上でも6割（61.0%）を占めた。現実には、病気の重症度や患者・家族の状況により変わることが推測されるが、高齢者も医師の説明を聞いたうえで決めたいという人の割合が高く、医師の説明の重要性を改めて示唆している。

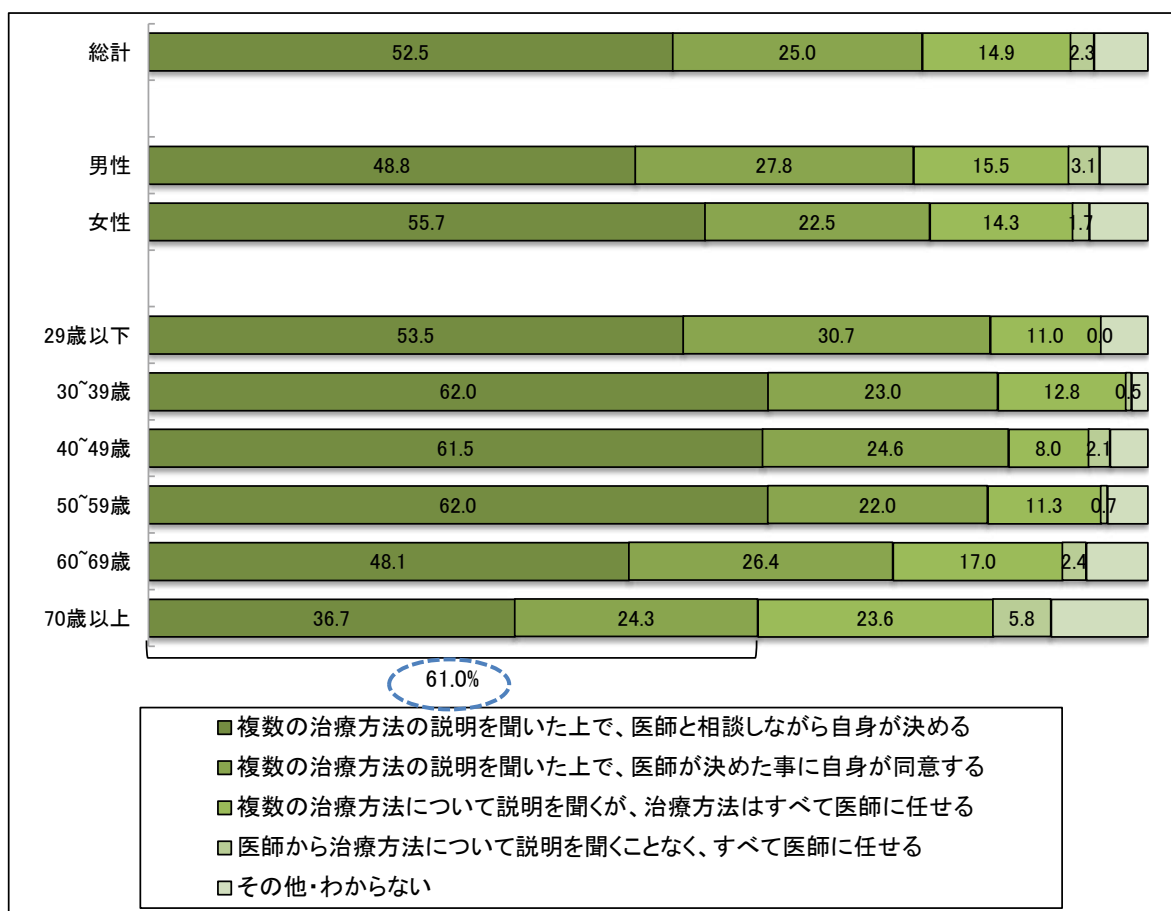
図 4-10 比較的重い病気の治療方針の決定について



Q7 比較的重い病気の治療方針の決定に際して、あなたのお考えは次のうちどれに近いですか。この中から1つだけお答えください。

1. 医師から複数の治療方法について説明を聞いた上で、医師と相談しながら自身が決める
2. 医師から複数の治療方法について説明を聞いた上で、医師が決めたことに自身が同意する
3. 医師から複数の治療方法について説明を聞くが、治療方法についてはすべて医師に任せる
4. 医師から治療方法について説明を聞くことなく、すべて医師に任せる
5. その他（具体的に ） 6. 特にない・わからない

図 4-11 治療方針の自己決定に関する意識 男女別、年齢別



4-1-6 所得水準と医療の中身

所得水準と医療の中身について、国民の 72.0 %が「A.所得の高い低いにかかわらず、受けられる医療の中身は同じであるほうがよい」と考え、17.2%が「B.所得の高い低いによって、受けられる医療の中身が異なることはやむを得ない」と考えていた。前回はそれぞれ 77.5%、13.9%で、今回調査で B の考えが微増している。性別や年齢に関係なく、2 割弱の人が、医療の中身に違いがあることを容認する傾向がみられた。考え方の違いに最も影響を与えている属性は回答者の世帯収入(等価所得)であった。

第 4 回調査は 2011 年 3 月の震災発生から半年後に実施しており、B の考え方がやや低めとなった可能性がある。国民の考え方として、一定の割合で中身の違いを容認する傾向がみられ、今後も注視していくことが重要である。

図 4-12 所得水準と医療の中身についての考え方

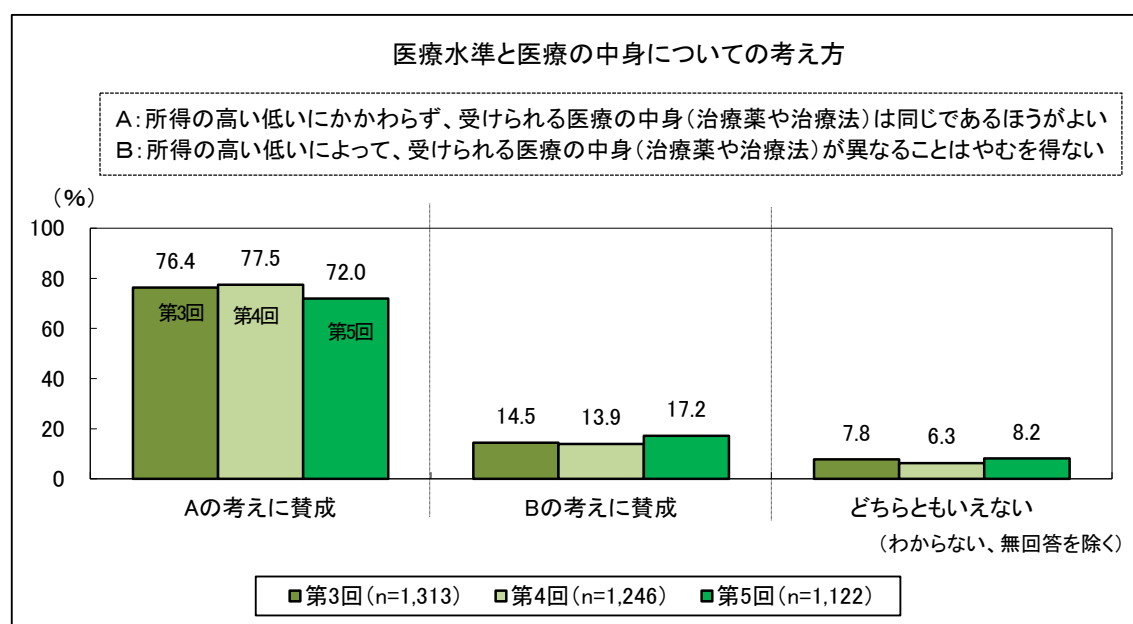


図 4-13 所得水準と医療の中身 - 世帯収入別

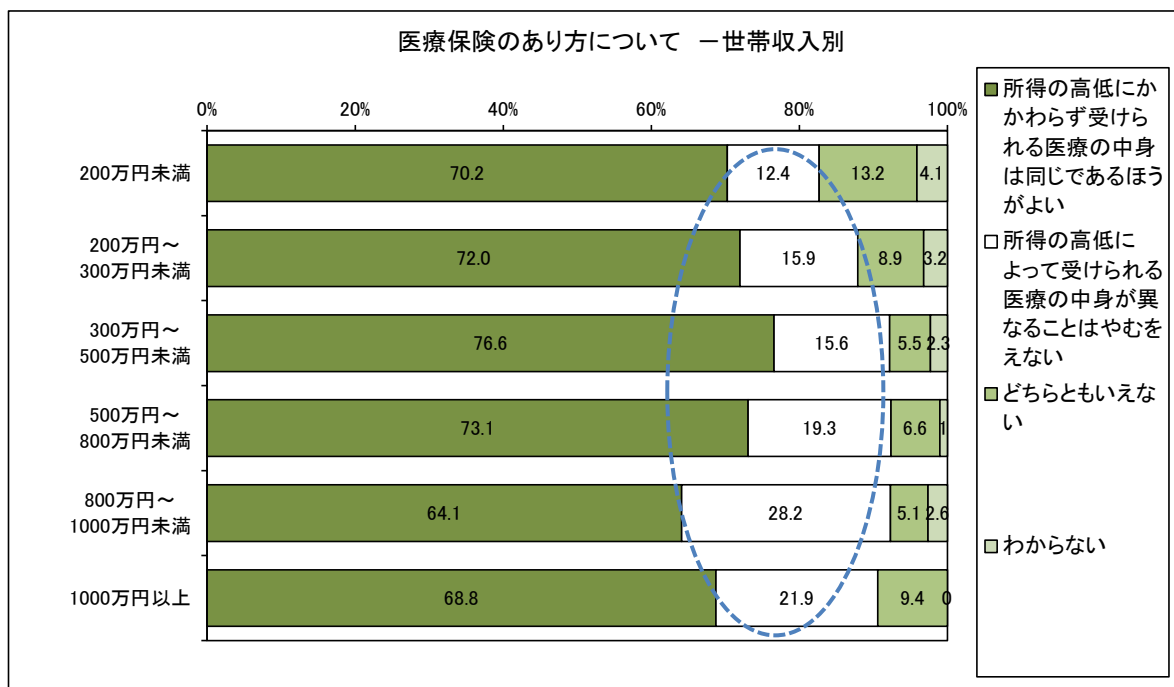
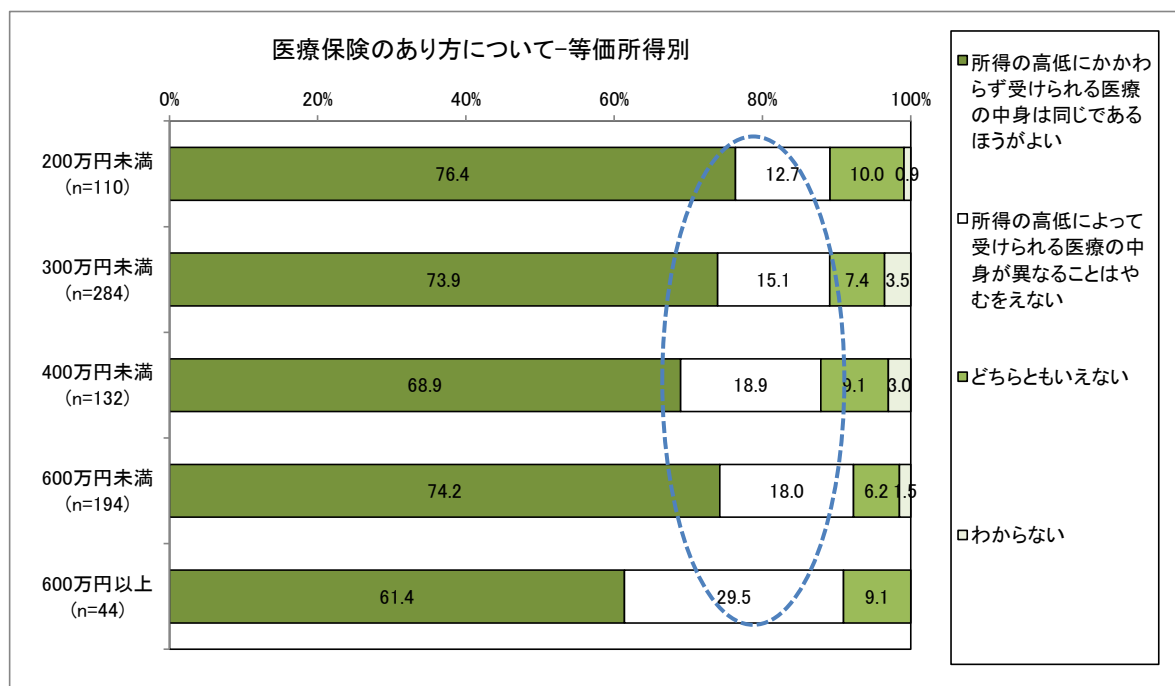


図 4-14 所得水準と医療の中身 - 等価所得別³



p<0.05

³ 世帯の構成員の生活水準を表すように調整した所得。世帯の所得を世帯人数の平方根で割り、算出する。

4-1-7 国民の健康管理

栄養バランスに気をつけるなど、健康のために日常的に気を付けていることを尋ねると（複数回答）、平均 3.2 個回答していた。最も多いものが、「休息や睡眠をとるようにしている」（57.5%）で、続いて「栄養バランスなど食生活に気をつける」（56.6%）であった。年齢が高くなると回答数は増加した。また、同年齢層でもかかりつけ医がいる人はいない人よりも回答数が多い傾向がみられ、自身の健康状態を調整（健康状態が普通～よい人だけを対象）しても同様の傾向がみられた。

図 4-15 日常的に気を付けていること

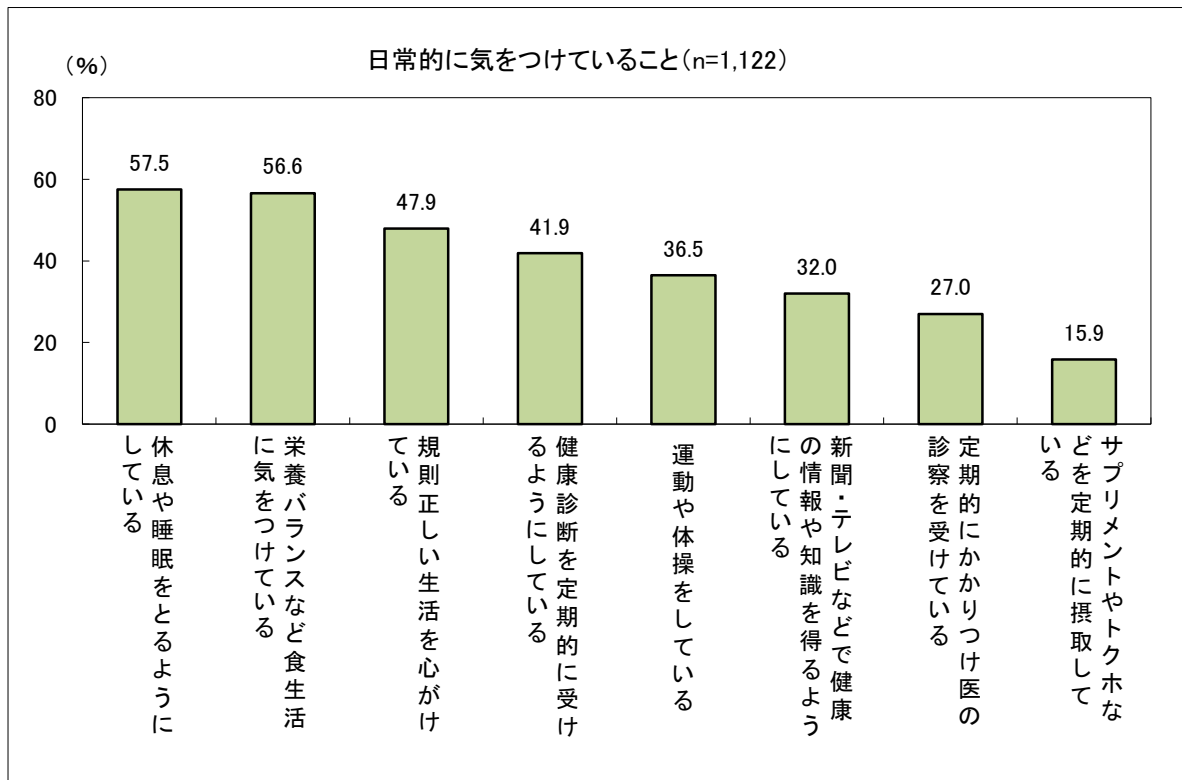
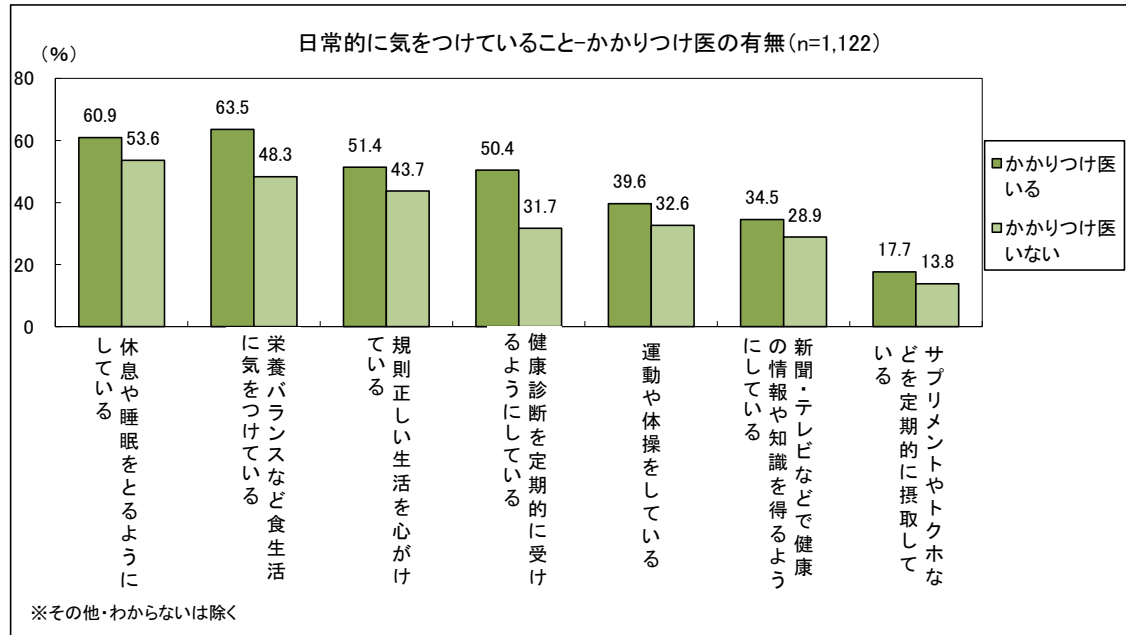
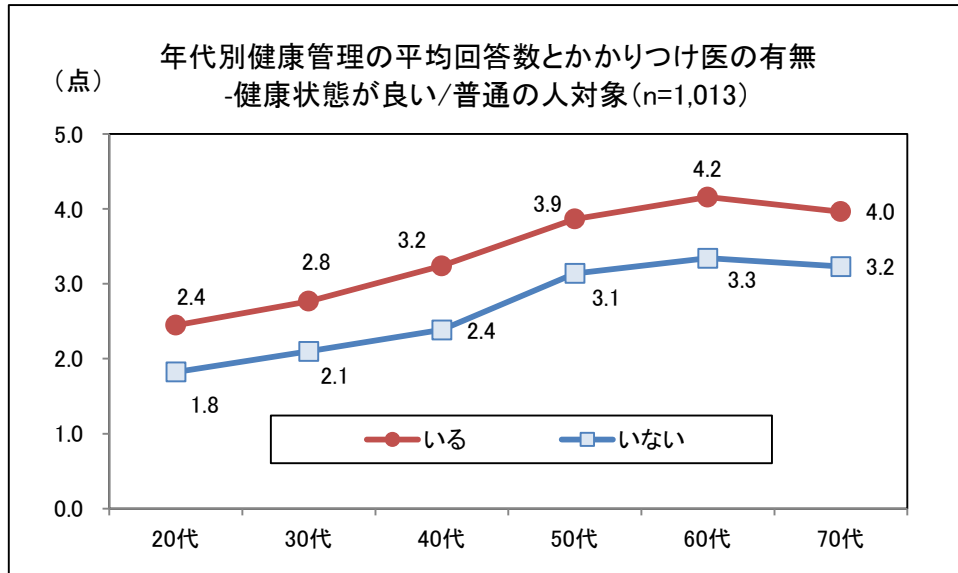


図 4-16 日常的に気を付けていること（かかりつけ医の有無別）



p<0.05 (※「サプリメントやトクホの定期的摂取」は除く)

図 4-17 年代別平均回答数とかかりつけ医の有無（健康状態の良い人と普通の人のみ対象）



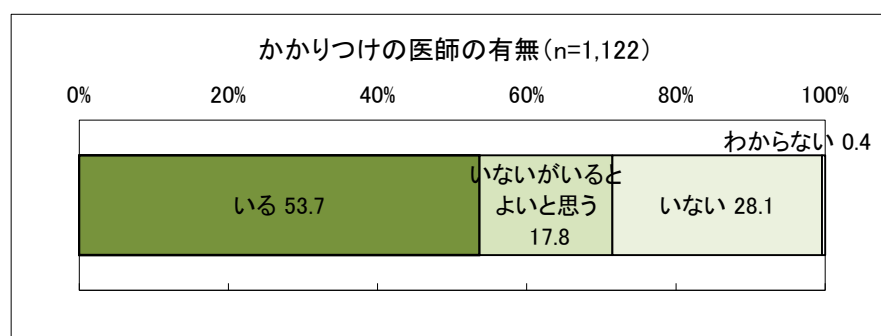
4-2. かかりつけ医

4-2-1 かかりつけ医の有無

かかりつけ医を「一般に健康のことを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関へ紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師」と定義したうえで、かかりつけ医の有無を尋ねたところ、53.7%がかかりつけ医がいると回答した^{4,5}。かかりつけ医の医療機関は、医院・診療所が7割を占め、病院は3割であった。また、かかりつけ医は「いないがいるとよい」と思う人は全体では17.8%であるが、年齢別にみると、40歳未満では約4分の1を占めており、かかりつけ医を持ちたいという要望が一定の割合を占めている⁶。

かかりつけ医がいる割合は高齢になるほど高くなり、70歳以上では79.9%を占めた。健康度別では、健康状態が悪いほどかかりつけ医を持つ割合は高くなるが、健康状態がよいと回答した人でも、48.4%はかかりつけ医がいると答えている。

図 4-18 かかりつけ医の有無 (n=1,122)



⁴ かかりつけ医の定義は「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」日本医師会・四病院団体協議会合同提言 2013年

⁵ 第4回までの面接調査でかかりつけ医がいる人の割合は、56.7%、55.3%、48.1%、54.3%。

⁶ WEBモニター調査では、かかりつけ医がいると回答した人は32.8%、いないがいるとよいが33.8%、いないが28.7%であった。いる人の割合が低く、いないがいるとよい人の割合が高い。面接調査の回答者との特性の違いは後述するが、かかりつけ医のとらえ方にも相違があることが推測される。

図 4-19 かかりつけ医がいる人－年齢別

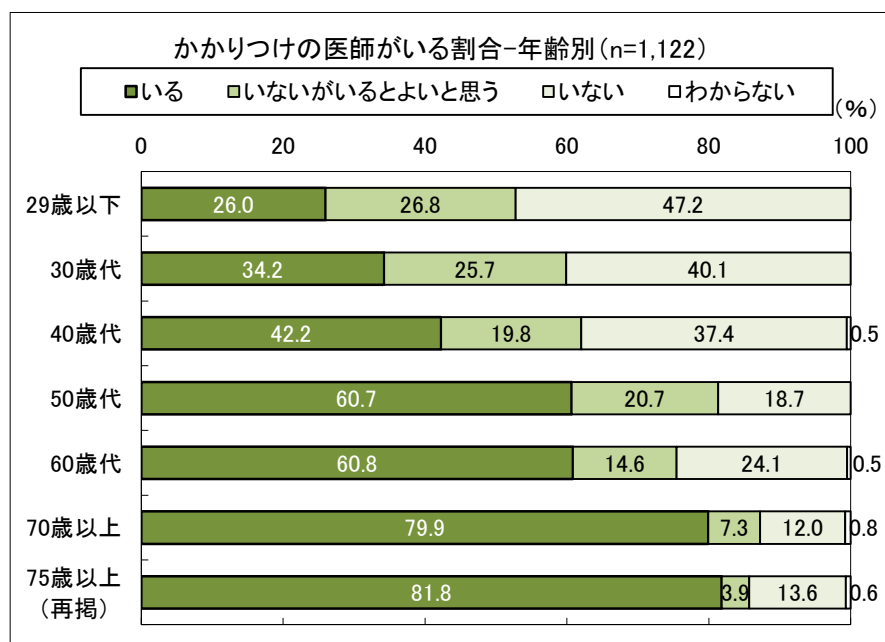
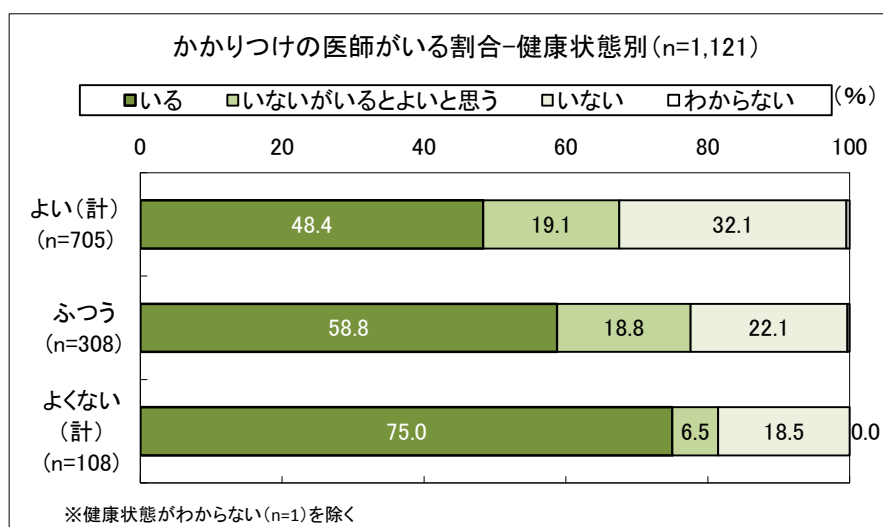


図 4-20 かかりつけの医師がいる割合 - 健康状態別



4-2-2 かかりつけ医の診療

国民が考えるかかりつけ医と医療側が考えるかかりつけ医の間に乖離がないか、常に確認しておくことが重要である。そこで、「かかりつけ医は、一般に健康のことを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関へ紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師」としたうえで、そのかかりつけ医が自身にとって具体的にどのようなタイプの医師か改めて尋ねた。選択肢は、①現在あるいは以前にかかった病気の主治医、②健康について何か心配があるときに幅広く診てもらう医師、③病気を限定せずに総合的に診てくれる医師、である（複数回答）。

その結果、「現在あるいは以前にかかった病気の主治医」だけとした人が約半数を占めた。その一方で、「病気の主治医ではない」が、「健康に心配があるときに幅広く診る医師」あるいは「総合的に診る医師」という回答は合わせて 35.7% (18.7+11.8+5.1) であった。「主治医でもある」ケースを含めると 50.4% (35.6+7.6+4.5+2.7) で、約半数にのぼった。

これらの割合は、医師が専門性を持って開業（あるいは勤務）していることを表していると同時に、幅広く、あるいは総合的に診るというかかりつけ医機能も一定の割合で機能していることを示している。国民の間では、幅広く診ることを望む人が8割を占めており（次節）、今後、このニーズをさらに満たしていくことが望まれる。

図 4-21 あなたのかかりつけ医のタイプ別分類

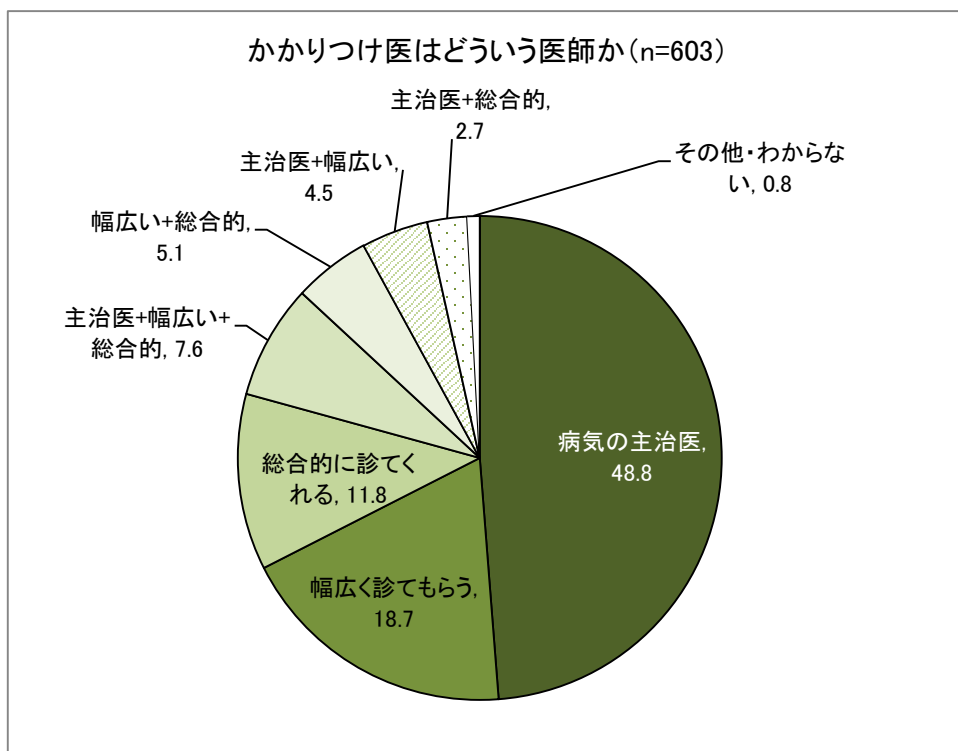
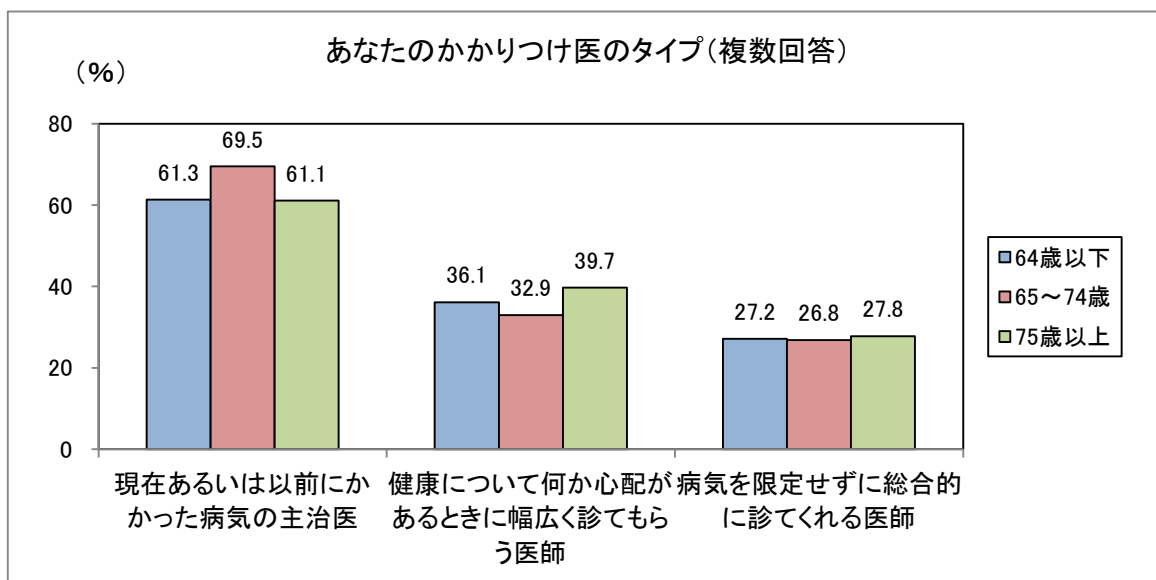


図 4-22 かかりつけ医のタイプ (複数回答)

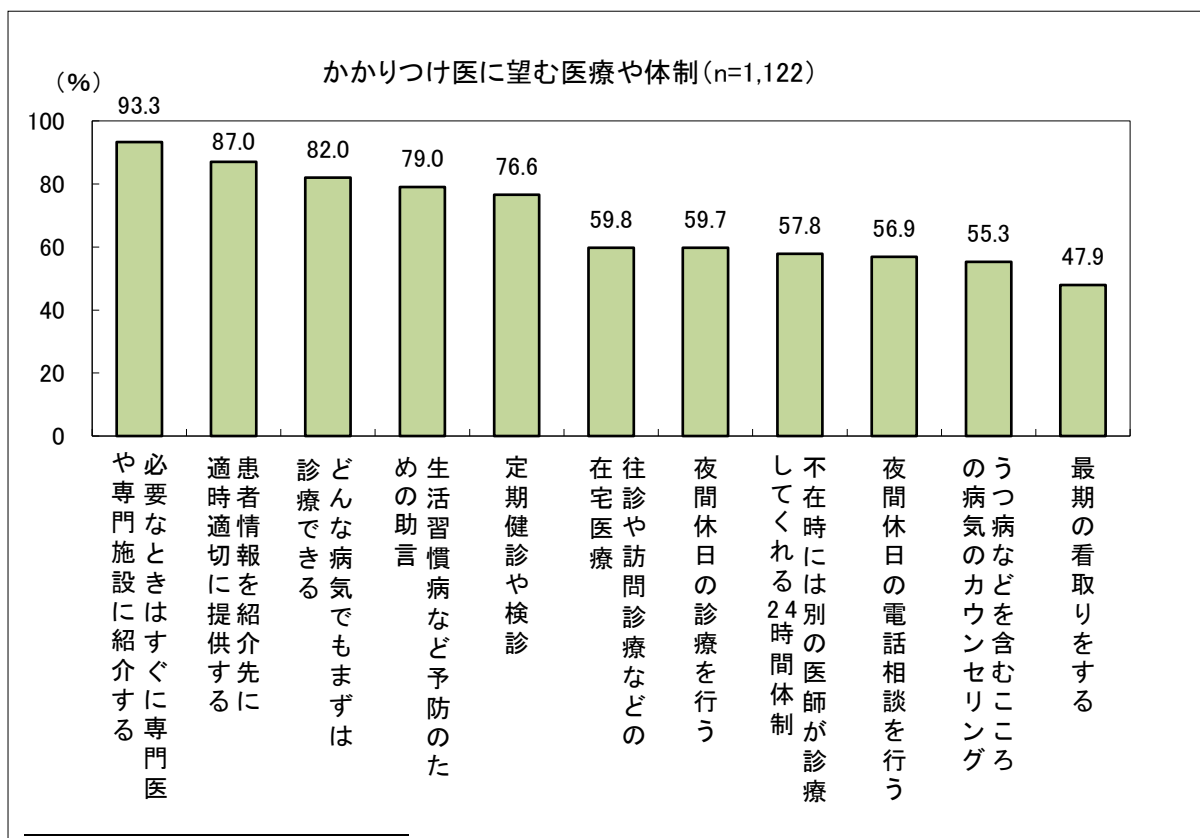


4-2-3 かかりつけ医への期待

国民がかかりつけ医に期待していることは(複数回答)、①専門医への紹介(93.3%)、②紹介先への情報提供(87.0%)が高く、③どんな病気でもまずは診療できる(82.0%)、④疾病予防(79.0%)、⑤健診・検診(76.6%)と続いた⁷。在宅や夜間対応も6割を占め、看取りも47.9%に上った。特に、専門医への紹介は9割で、ゲートキーパー機能のニーズは高く、また、幅広い診療や予防などの健康管理へのニーズが高いことにも注目すべきである。

第2回調査(2006年)との比較を行うと、専門医への紹介、在宅医療、こころの病気のカウンセリングなどへの割合の増加がみられた。また、年齢別にみると、高齢者の間では在宅医療へのニーズと看取りのニーズが高い傾向がみられる。

図 4-23 かかりつけ医に望む医療や体制(複数回答)(日常的な病気の診療以外)



⁷ 既存調査でも示されている。「医療に関する国民意識調査」(健保連,2011)、「かかりつけ医機能の強化に向けた調査研究」(日医総研ワーキングペーパーNo.294,2013)など。日医総研調査では、40代以上の国民の83.1%が「専門医や病院への紹介」をかかりつけ医に望んでいた。

図 4-24 かかりつけ医に望む医療や体制（複数回答）

（第2回（2006年）と第5回の比較）

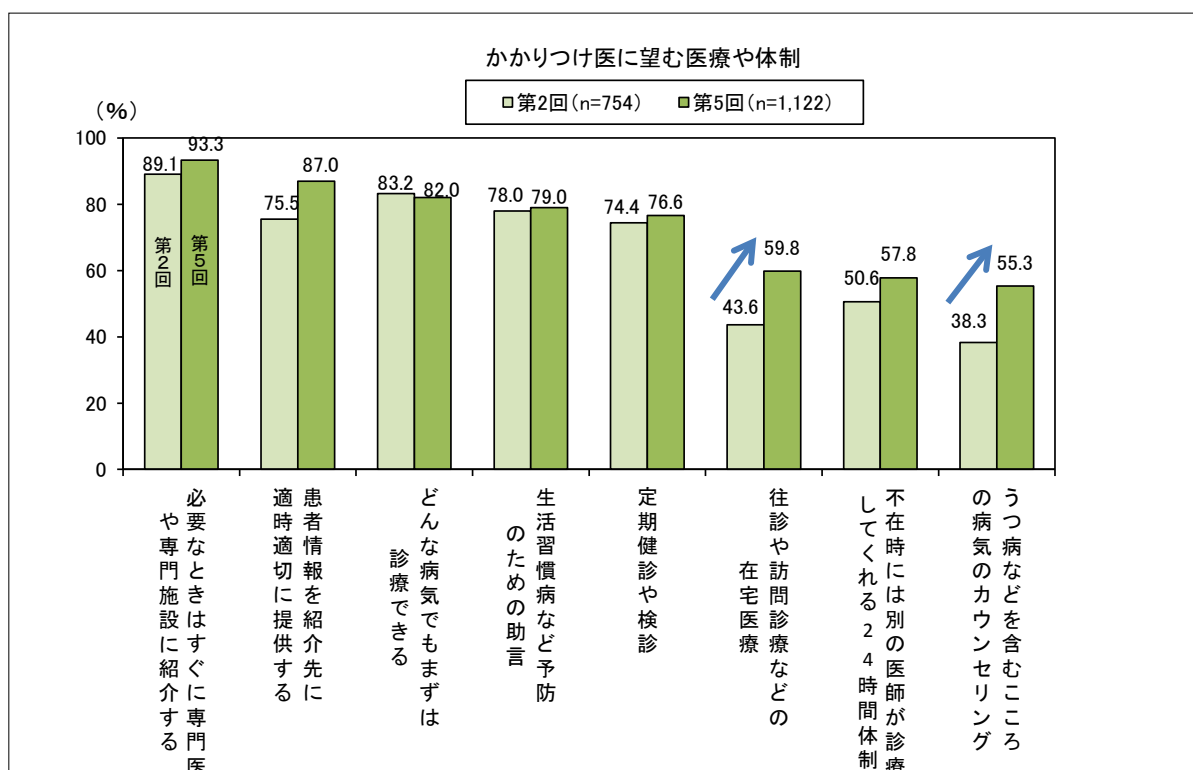
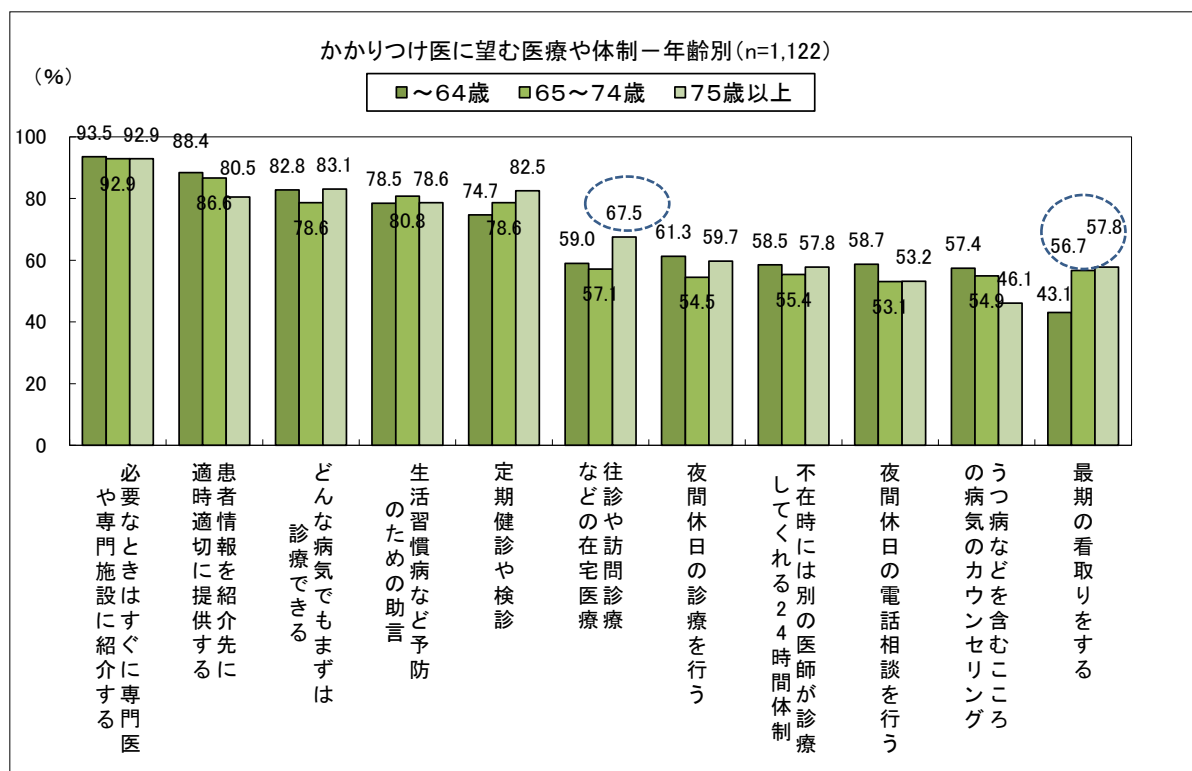


図 4-25 かかりつけ医に望む医療や体制一年齢別



かかりつけ医に望む医療や体制をかかりつけ医の有無別にみると、かかりつけ医がいる人は、病気の予防や健診など健康管理面での要望が高い傾向がみられる。またかかりつけ医はいないがいるとよいと思っている人については、夜間休日の対応への要望が高い傾向がみられた。

WEB調査で「かかりつけ医を探すときに役立つ情報」を尋ねたところ、「医師の診療方針や医療への考え方」と回答した人が52.8%で最も高く、次いで「医師の得意分野や経歴」が43.4%であった。国民がかかりつけ医を探す際に、一般的な診療内容よりさらに踏み込んだ医師の診療に関わる情報を求める傾向がみられる。

また、「かかりつけ医はいないがいるとよい」と思っている人については、より多くの割合の人が情報を要望していた。

図 4-26 かかりつけ医に望む医療や体制-かかりつけ医の有無別（3 区分）

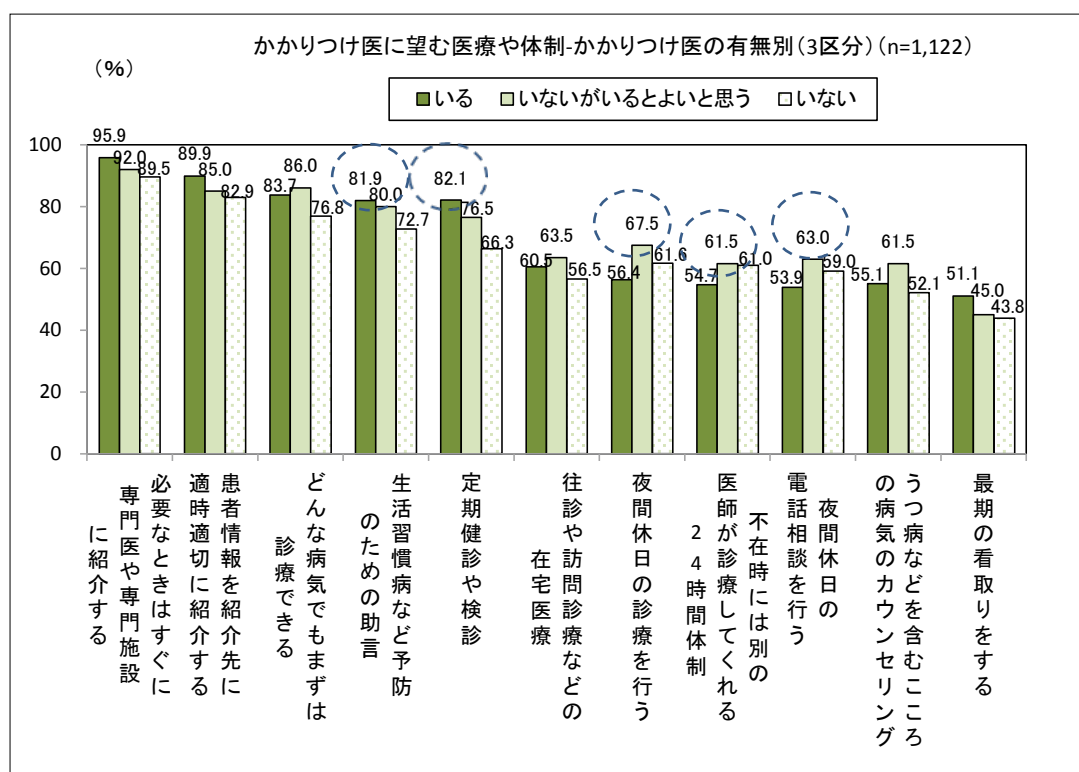
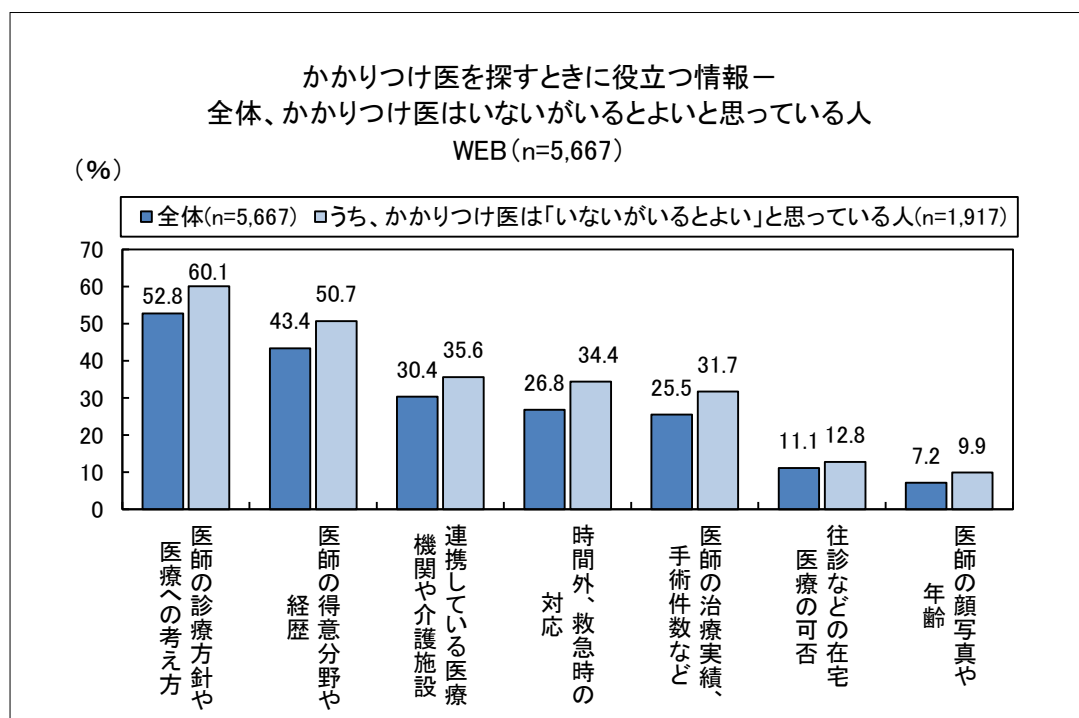


図 4-27 かかりつけ医を探すときに役立つ情報 - 全体、かかりつけ医はいないがいるとよいと思っている人（WEB 調査）



4-3. 医療満足度と医師患者関係

4-3-1 医療満足度

直近に受けた医療の満足度は、医療を受けた時期が影響しており、受けた時期が近いほど満足度が高い傾向がみられた。医療全般に対する満足度には、受けた時期は影響していなかった。一方、医療全般に対する満足度は、回答者の居住地による地域差がみられ、特に町村など都市規模の小さい地方部では都市部より満足度が低い傾向がみられた。受けた医療の満足度については地域差がみられなかった。

図 4-28 受けた医療の満足度と医療全般の満足度－受診の時期別

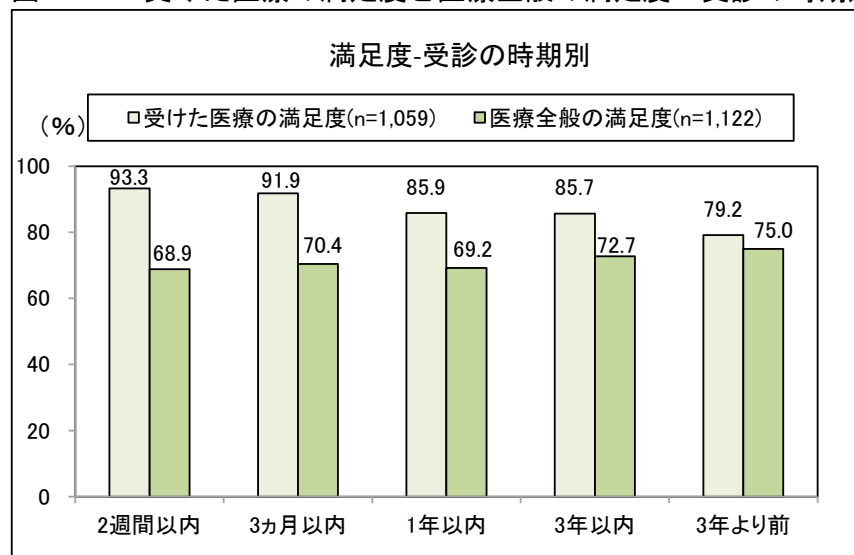
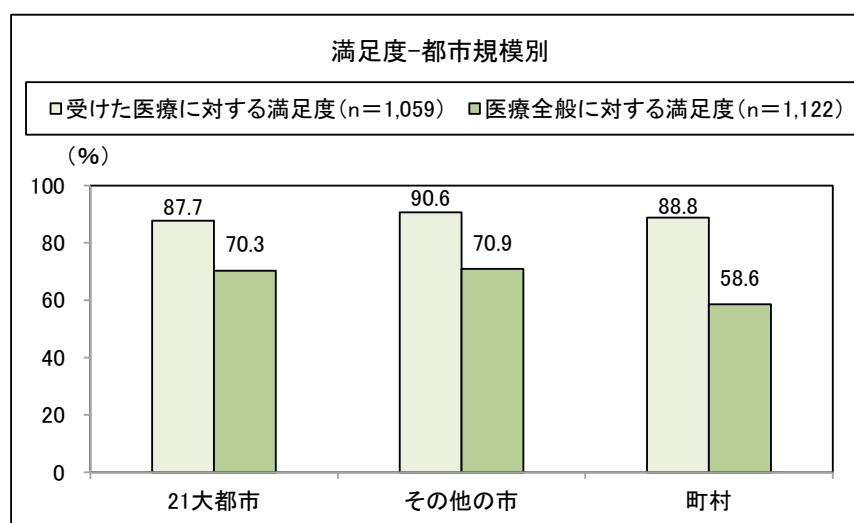


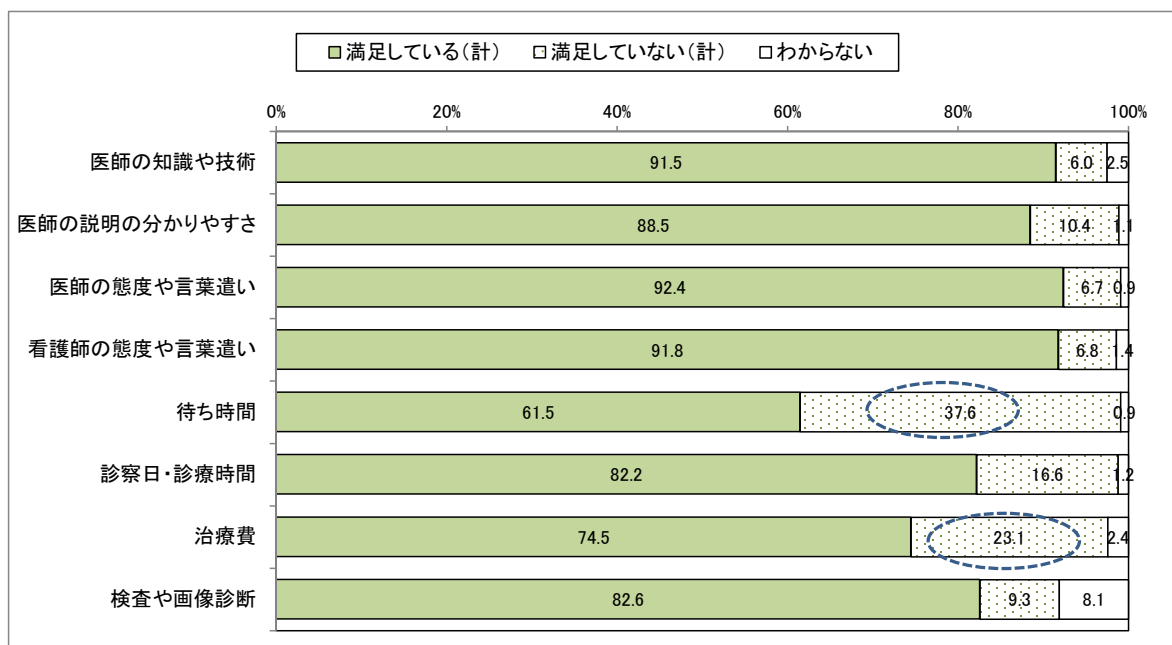
図 4-29 医療の満足度（受けた医療と医療全般）－都市規模別



4-3-2 受けた医療の個別の満足度

国民が直近に受けた医療について8つの項目別に満足度をみると、待ち時間についての満足度が最も低く、不満の人の割合が37.6%を占めた。続いて治療費で23.1%、診察日・診療時間16.6%であった。

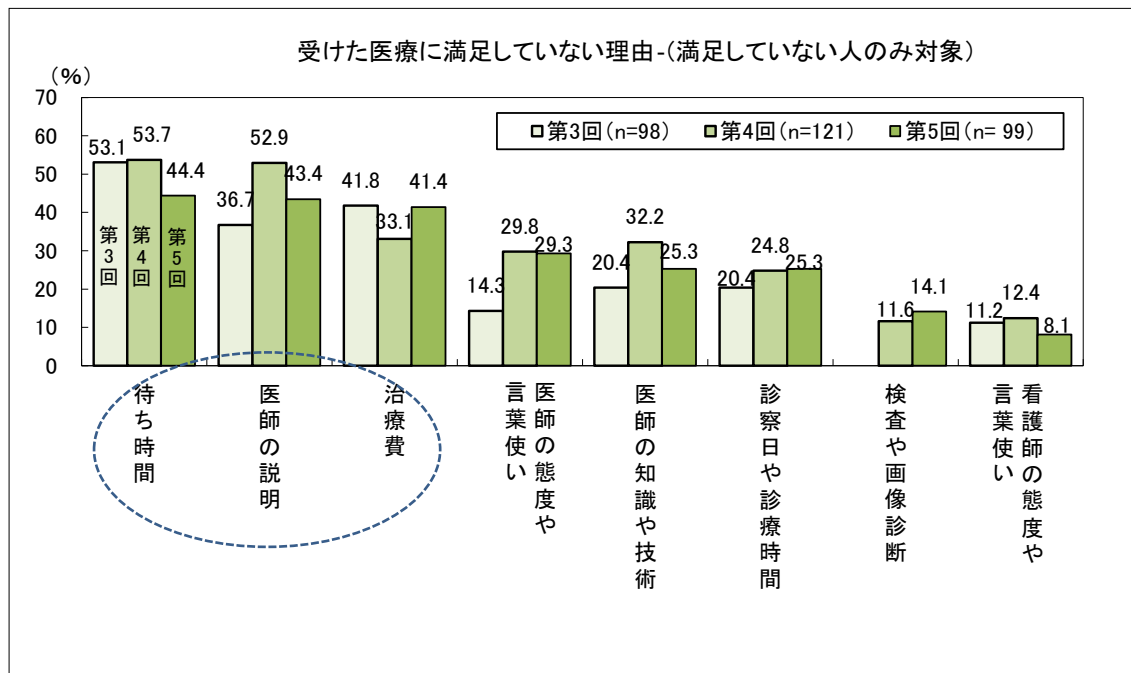
図 4-30 受けた医療の個別満足度 (n=1,122)



4-3-3 医療に不満の理由

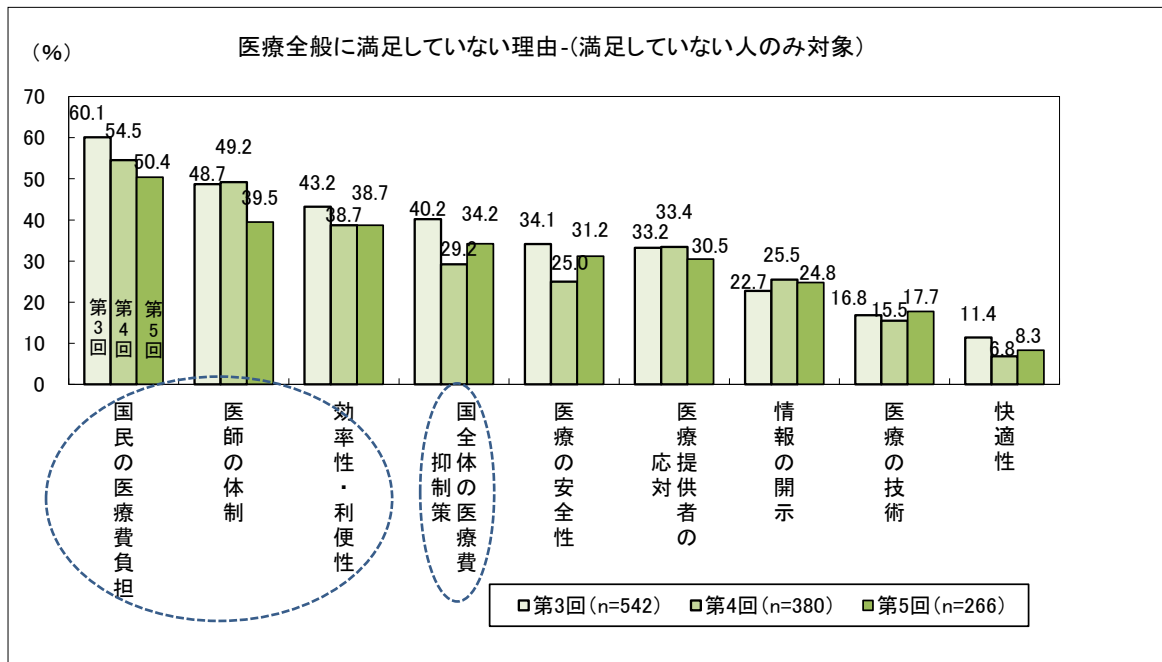
受けた医療に不満な国民（n=99）にその理由を尋ねると、上位3項目は「待ち時間」（44.4%）、「医師の説明」（43.4%）、「治療費」（41.4%）であった。これらの上位3位については、第3回調査以降同じ傾向がみられた。

図 4-31 受けた医療に満足していない理由（複数回答）



医療全般に満足していない理由は、国民の医療費負担(50.4%)、医師の体制(39.5%)、効率性・利便性(待ち時間など)(38.7%)の順であった。第3回以降、同様の傾向であった。国全体の医療費抑制策がそれに続き、医療全般に不満な人の34.2%がその理由としていた。

図 4-32 医療全般に満足していない理由（複数回答）



4-3-4 医療満足度と生活満足度

医療の満足度が回答者の生活満足度に影響されることは第4回調査で示した。本調査でも、受けた医療の満足度と医療全般の満足度ともに、生活に満足している人のほうが高い傾向を示している。

図 4-33 受けた医療の満足度と生活満足度

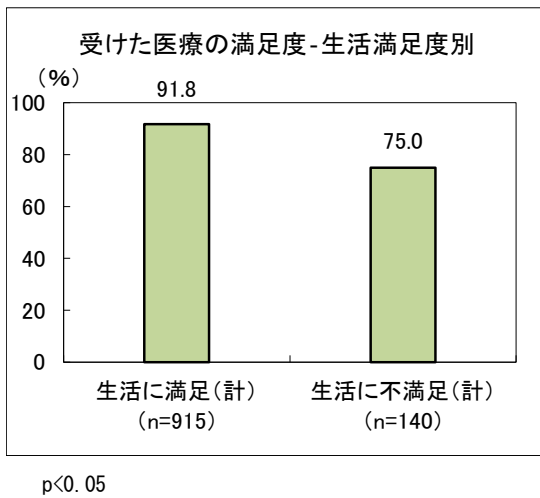
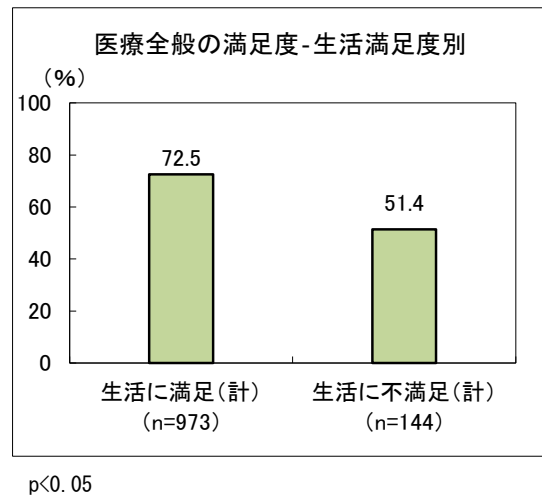
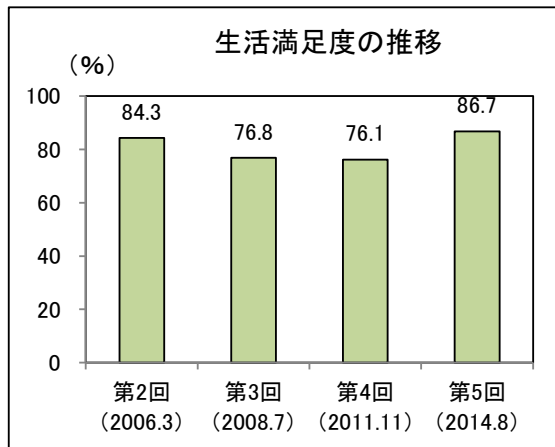


図 4-34 医療全般の満足度と生活満足度

図 4-35 生活満足度の推移⁸

⁸ 本調査では生活満足度が 86.7%であった。「国民生活に関する世論調査」(内閣府 2014 年)では 2010 年まで生活満足度は 6 割台前半で推移していたが、2011 年からは 6 割後半～7 割弱で推移している。
(2002 年 : 60.9% 2005 年 : 59.5% 2008 年 : 60.5% 2011 年 : 65.6% 2014 年 : 70.3%)

4-3-5 医師患者関係

「受けている医療について、患者一人ひとりの生活や立場、本人の希望といった個別状況に応じた医療が行われているか」という質問に対して、66.8%が「そう思う」（計）と回答した。前回調査に比べて 13.6 ポイント増加している。医師から心のケアも受けているかについては、「受けている」が 41.4%で、前回調査と近似していた。直近の受診時期別に割合をみると、受診時期に近いほど、個別状況に応じた医療や、心のケアを受けていると考える割合が高い傾向がみられた。

図 4-36 個別状況に応じた医療が行われていると思う人の推移

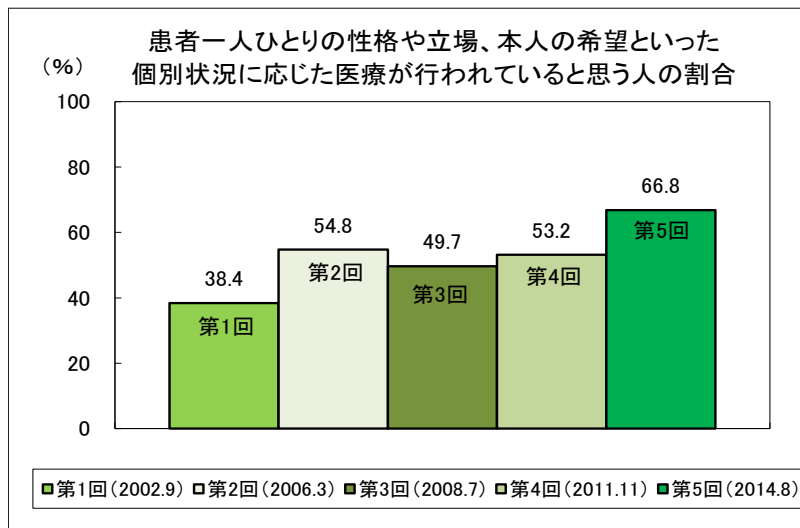


図 4-37 医師が心のケアまで行っていると思う人の推移

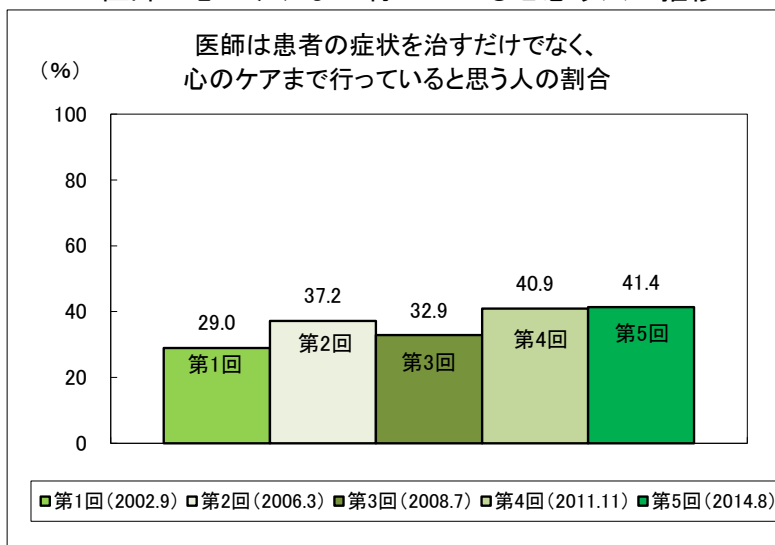


図 4-38 個別状況に応じた医療が行われていると思う人の割合-受診の時期別

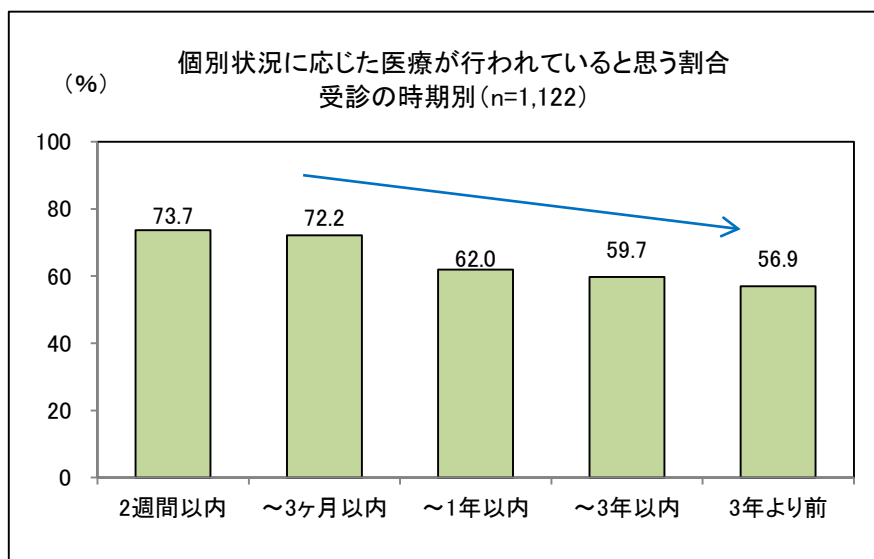
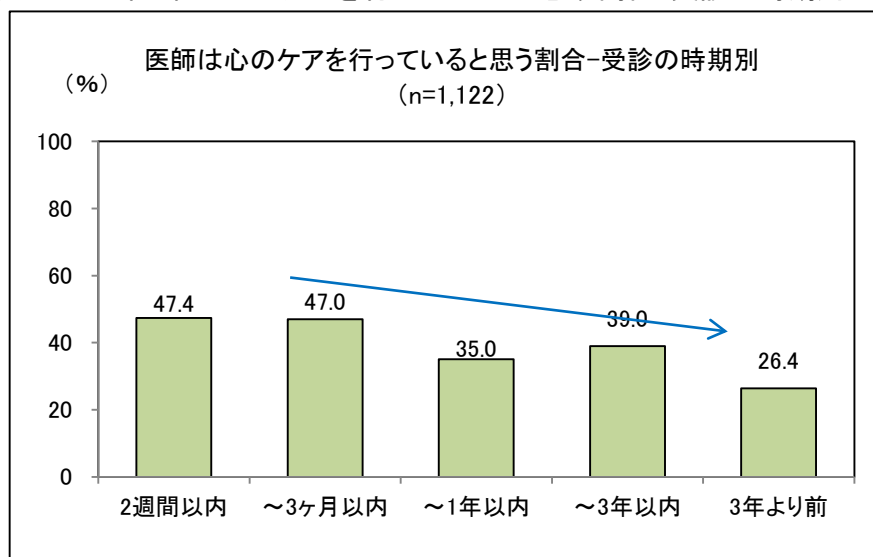


図 4-39 医師は心のケアを行っていると思う割合-受診の時期別



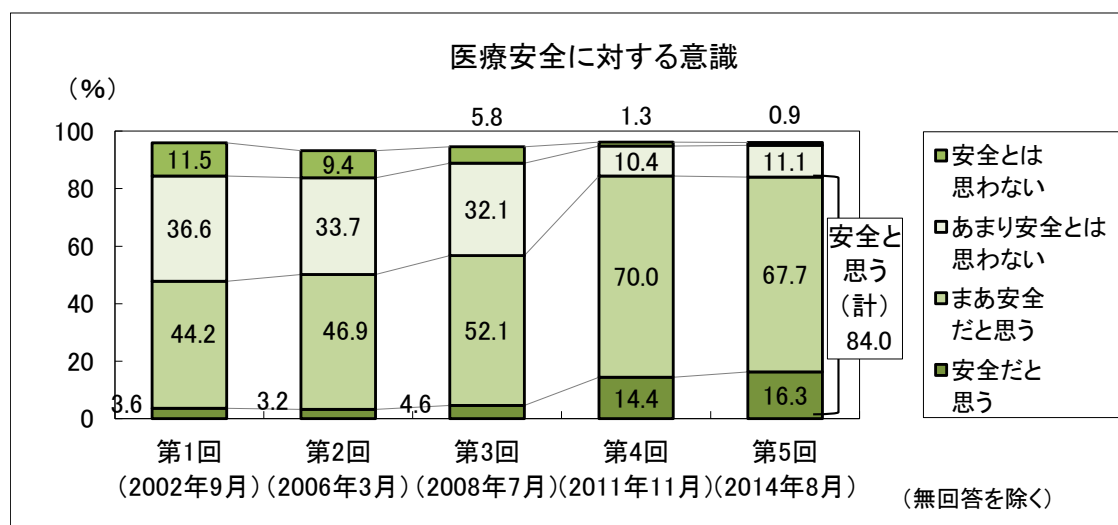
4-3-6 医療安全

「全般的に見て日本の医療機関の安全性をどう思いますか」という設問に対して、国民の84.0%が「安全である（計）」と回答し、前回調査の84.4%と同水準であった。

医療の安全性に関しては、医療訴訟の件数が2004年の1,110件をピークに減少傾向にあり、2011年には769件にまで減少し、2013年は809件であった⁹。また、全国5大紙の医療過誤報道件数をカウントすると、第3回調査時期の510件（2008年）から199件（2011年）、165件（2013年）と大幅に減少している。

国民は医療現場での安全面での変化を感じると同時に、新聞などのメディアから得られる医療訴訟や医療安全に関わる情報によって、医療機関の安全性について判断している可能性がある。

図 4-40 医療機関の安全性について



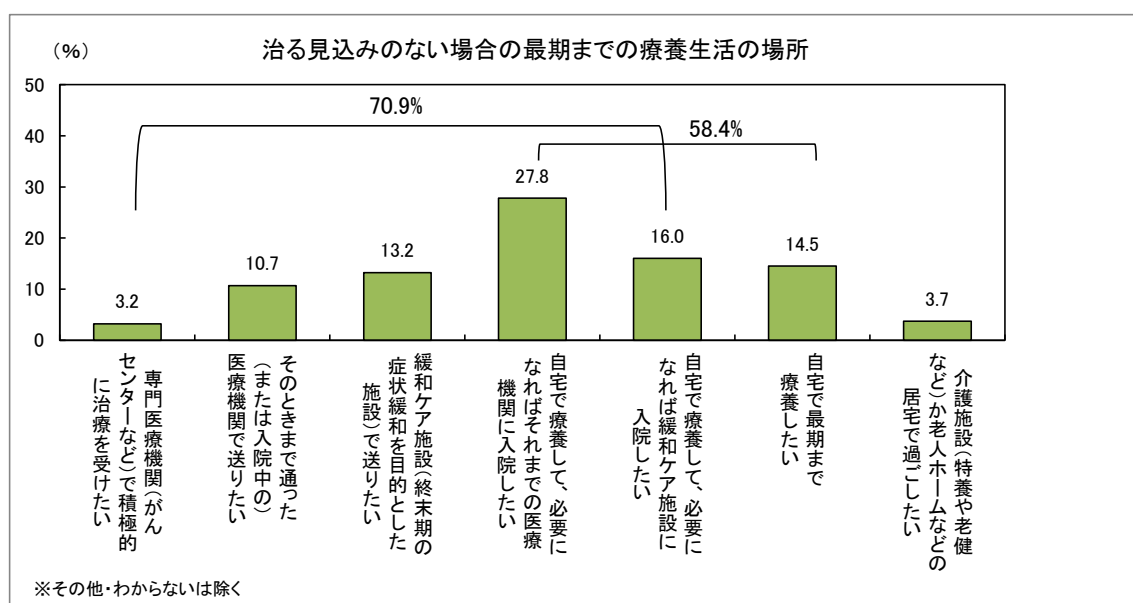
⁹ 「医事関係訴訟事件の処理状況及び平均審理期間」（最高裁判所）

4-4. その他の項目

4-4-1 療養の場への意見

仮に治る見込みがない疾病となったときの最期までの療養生活の場として、医療機関等に移るまでは自宅、あるいは、最期まで自宅、という回答は合わせて 58.4% を占めた。その一方で、43.9% の人は「必要になれば自宅から医療機関・緩和ケア施設に移りたい」と考えている。そのため、医療機関や緩和ケア施設で最初から、あるいは途中から過ごしたいと考える人は、合わせて 70.9% に上る。在宅医療のニーズと医療機関の後方支援のニーズの両方への対応が求められていることを示している¹⁰。

図 4-41 治る見込みがない疾病となったときの最期までの療養生活の場所



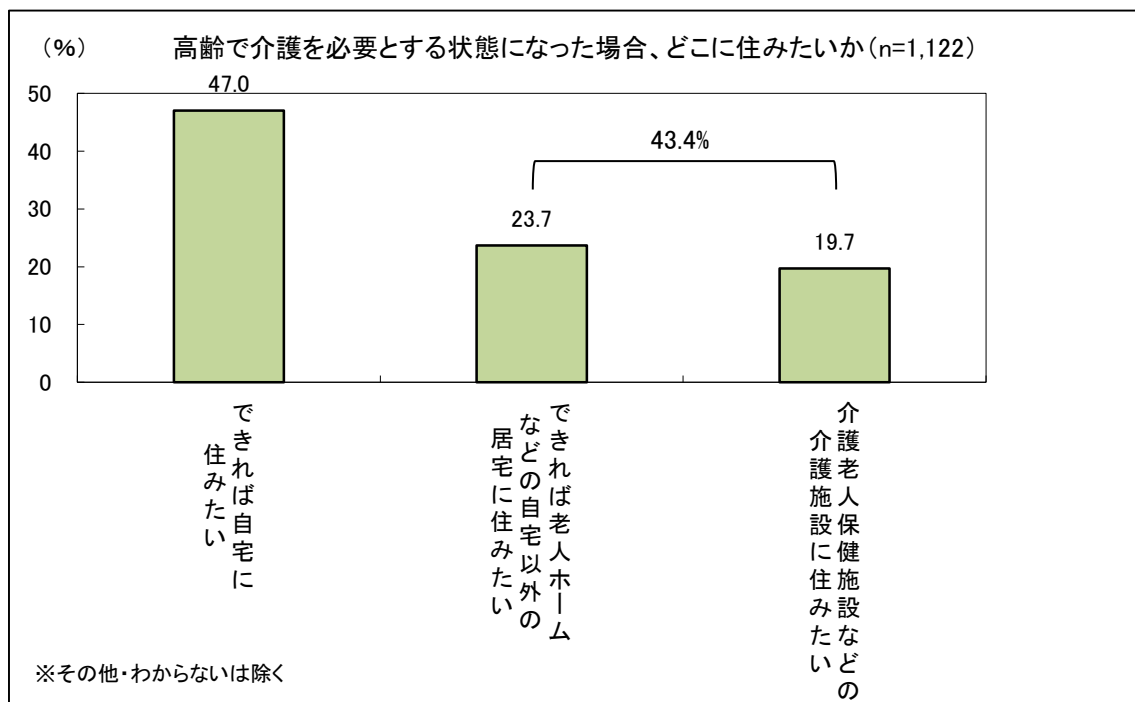
¹⁰ 「終末期医療に関する調査」(厚生労働省)では、自宅で最期まで療養したい割合は、9.0% (1998) → 10.5% (2003) → 10.9% (2008) で推移。

4-4-2 希望する介護の場とサービス提供者

高齢で介護を必要とする状態になった際どこに住みたいか、という質問に対して、できれば自宅に住みたいと回答した人が 47.0%にのぼった。高齢になるほど自宅を望む割合は高くなり、75 歳以上では 55.8%であった。一方、老人ホームなどの居宅は 23.7%、介護施設は 19.7%で、これらを合わせると 43.4%であった。

介護を受ける場合に望むサービス主体者が「家族」か「外部介護サービス」かについては、望む介護の場が自宅の人の間でも、外部の介護サービスを中心あるいは外部の介護サービスだけを望む人が 42.5%を占めた。家族主体の介護の負担感の重さや家族構成の変化等に起因して、外部の介護サービスのニーズが高いことが推測される。今後の独居世帯の増加とあいまって、介護サービスのニーズの急増が予想される¹¹。

図 4-42 介護を受けたい場所



¹¹ 平成 25 年国民生活基礎調査（厚生労働省）によると、「主な介護者」のなかで「事業者」が占める割合は全体の 14.8%に過ぎず、家族介護が大半を占めている。

図 4-43 介護を受けたい場所-年齢3区分

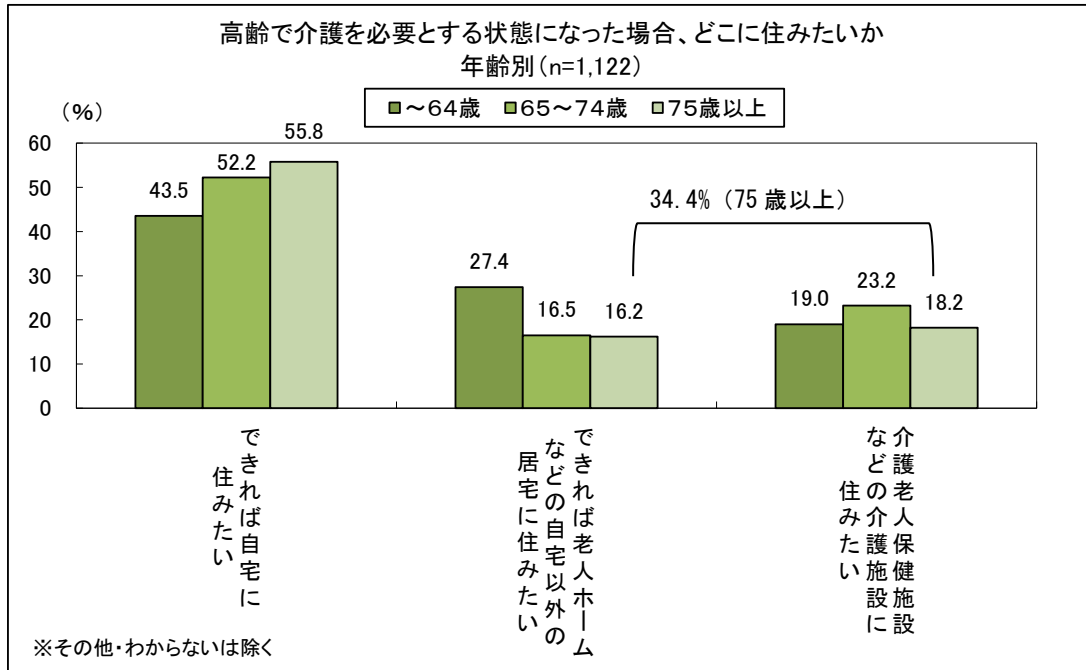
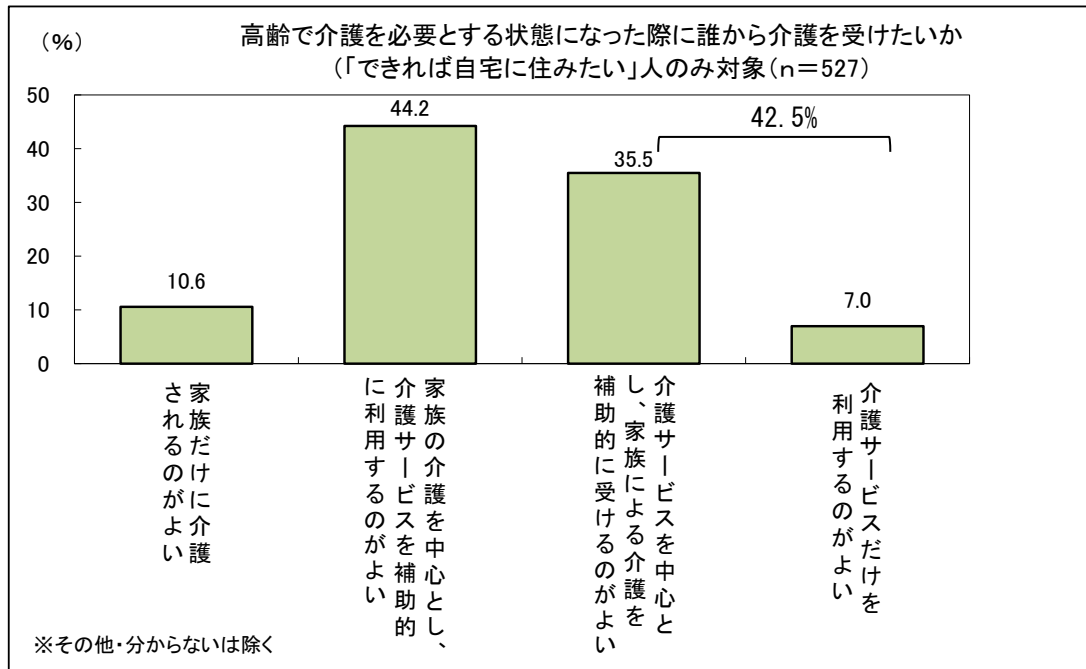


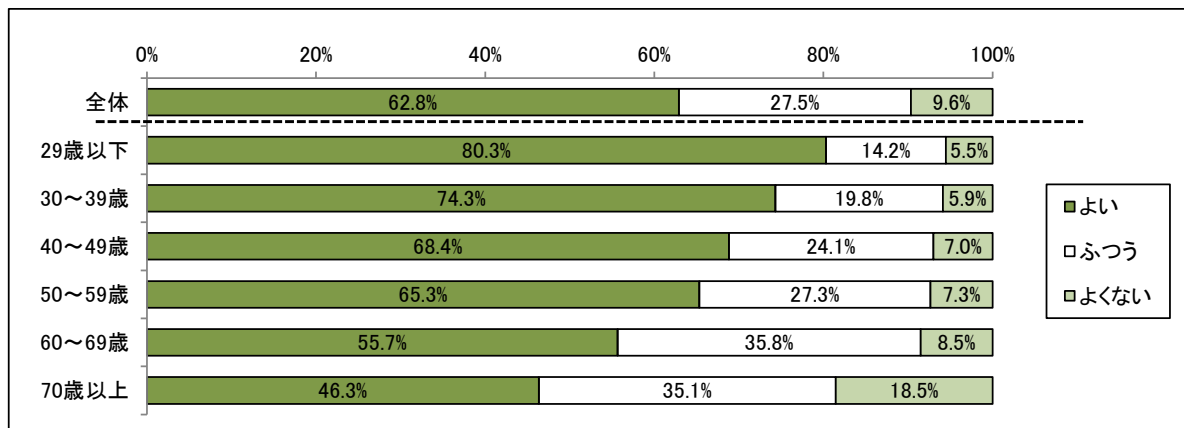
図 4-44 望む介護サービスの主体者



4-4-3 健康状態

国民に現在の健康状態を尋ねると(「あなたの現在の健康状態はいかがですか」)、「よい(計)」は62.8%、「ふつう」は27.5%、「よくない(計)」が9.6%であった¹²。20歳代では「よい」が80.3%、「ふつう」が14.2%であるが、年齢が上がるにつれて「よい」が減少、「ふつう」が増加して、70歳以上ではそれぞれ46.3%、35.1%となっている。一般に、日本人は比較的あいまいな中間回答を多く選ぶ傾向が強く、国際比較調査などでは正確な比較が行えないケースが生じている。

図 4-45 現在の健康状態一年齢別



¹² 厚生労働省「国民生活基礎調査(平成25年)」(面接聞き取り調査法)の健康意識の結果は、よい(計)38.5%、ふつう46.9%、よくない(計)13.4%、不詳1.2%であった(対象は6歳以上)。質問文は「あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください→1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない」。

4-4-4 医療制度等に関する知識・関心

地域包括ケアについて言葉も内容も知っている人は全体の 21.6%に過ぎなかった。聞いたことはあるが内容は知らない人が 25.8%を占め、聞いたことが無い人が 52.0%と半数を占めた。高額療養費制度については、知っている人が全体の 78.1%を占めた。

図 4-46 地域包括ケアについての認知度

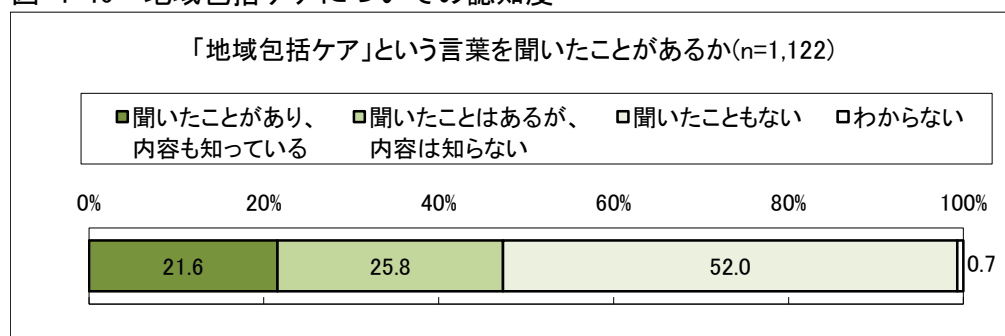
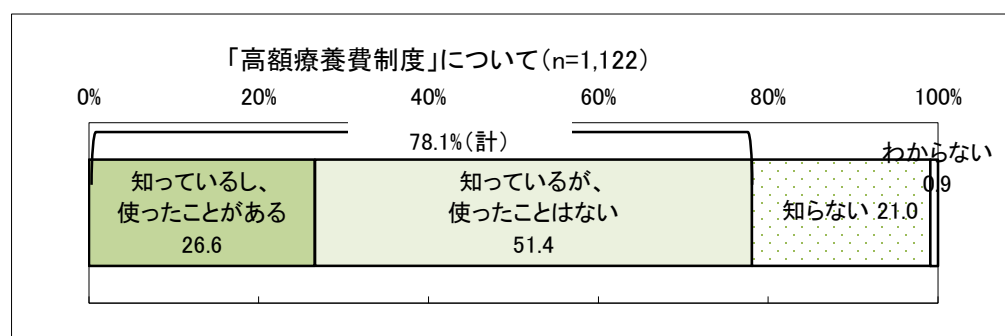


図 4-47 高額療養費制度について



一方、医療保険の保険料が健康保険によって異なることを知っている人は全体の約6割であり、また、保険料の格差について問題意識がある人は全体の4割弱であった。

図 4-48 医療保険の保険料についての知識

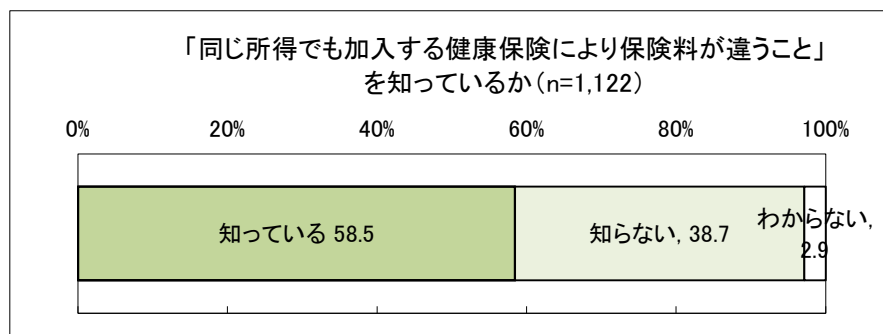
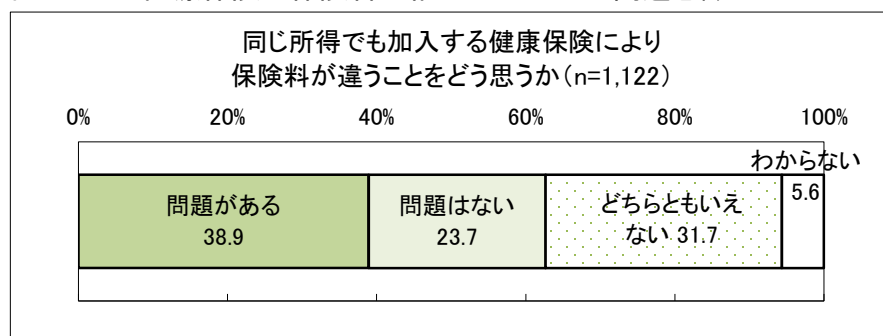
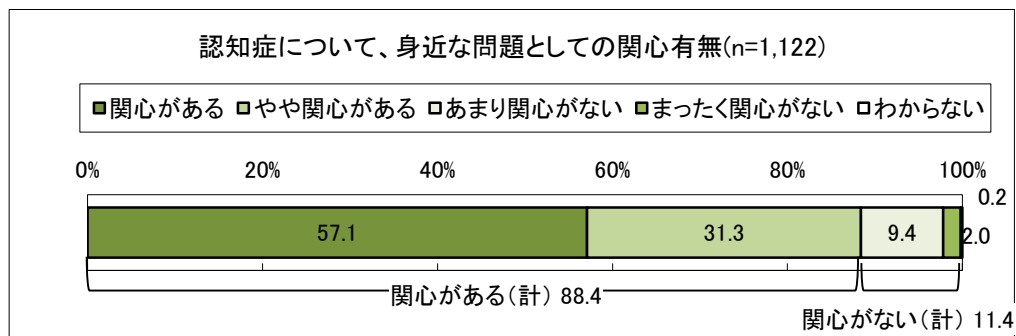


図 4-49 医療保険の保険料の格差についての問題意識



認知症への関心は 88.4%が「身近な問題として関心がある」と回答している。特に 50 歳以上では 92.8%であった。

図 4-50 認知症への問題意識



5. 分析とまとめ

5-1. 医療満足度

待ち時間など受けた医療の各項目が、受けた医療（全体）の満足度にどのような影響を与えているかを把握した。受けた医療に満足していない理由の割合を横軸に、各項目と受けた医療の相関関係を縦軸に示し、それらの関係をみた。その結果、「医師の説明」は不満の理由として割合が高く、受けた医療（全体）の満足度への影響も高いことがわかった。「待ち時間」は不満の理由としては高いが、受けた医療（全体）への影響は低かった。「待ち時間」はしばしば不満の理由として挙げられるが、実際には医師が行う説明が、満足度への影響が強いことを示唆している。「治療費」は、不満の理由として一定の割合で高く、また満足度との相関関係もやや高いことがわかった。

一方、医療に関する個別項目の満足度が、日本の医療全般（医療制度など）の満足度にどのような影響を与えているかも把握した。個別項目のスコアを横軸に、個別項目と日本の医療全般への満足度との相関関係を縦軸に示し、それらの関係を把握した。その結果、「医療の安全性」に対する評価は、個別項目の中で最も高く、また、医療全体の満足度にも強い影響を与えていた。患者一人ひとりの性格や立場、希望などを考えた「個別状況に応じた医療」も満足度に強い影響を与えていた。

これらは、並行して行った WEB 調査でも同様の傾向がみられた。

図 5-1 受けた医療の満足度と不満の理由(面接調査)

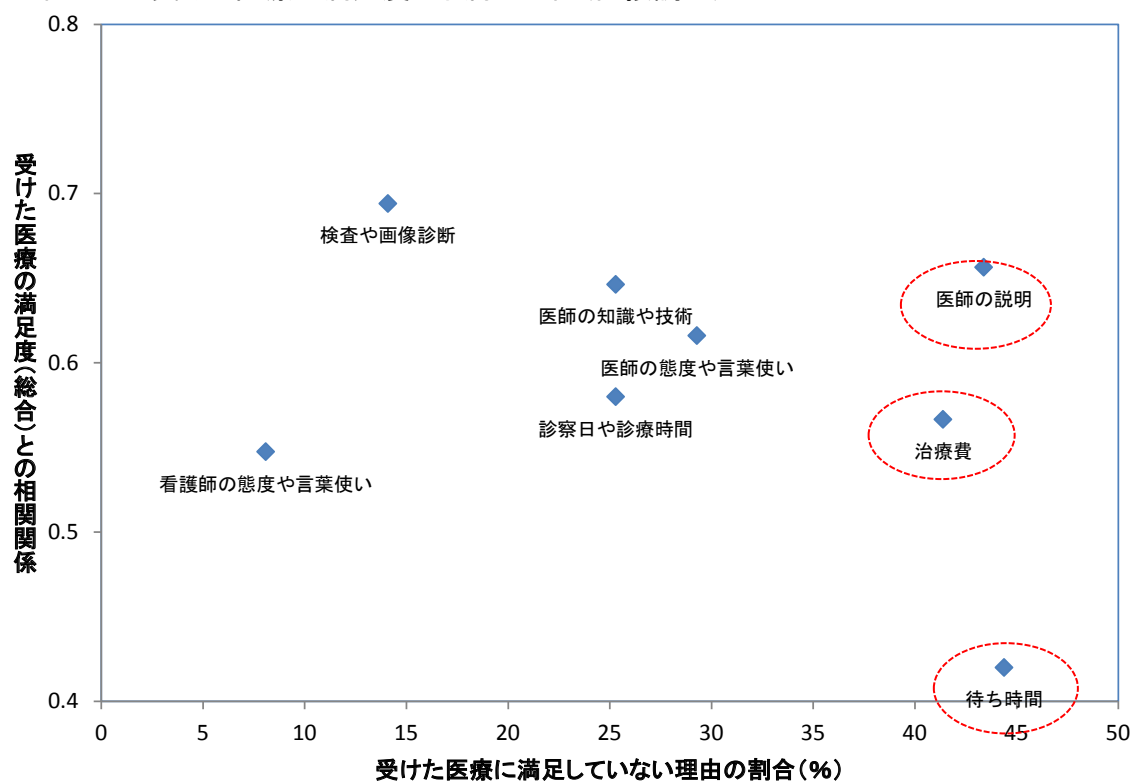


図 5-2 日本の医療全般への満足度と平均満足度の関係(面接調査)

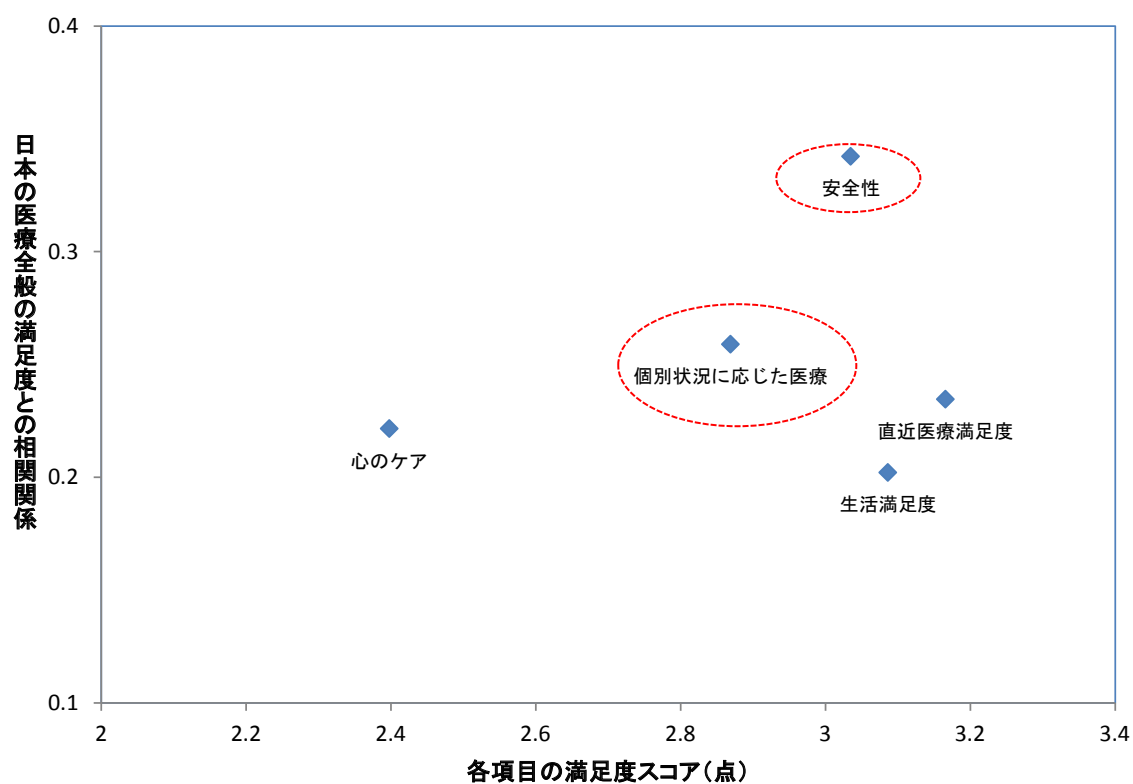


図 5-3 【参考】受けた医療の満足度と不満の理由(WEB 調査)

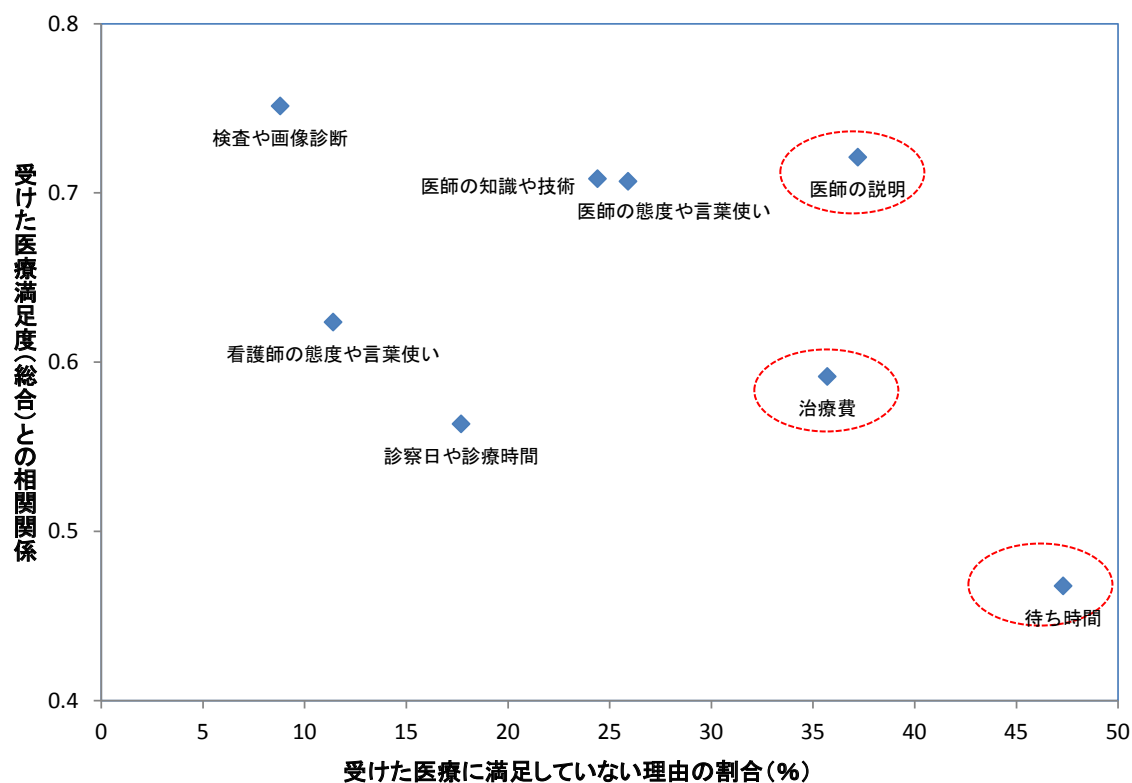
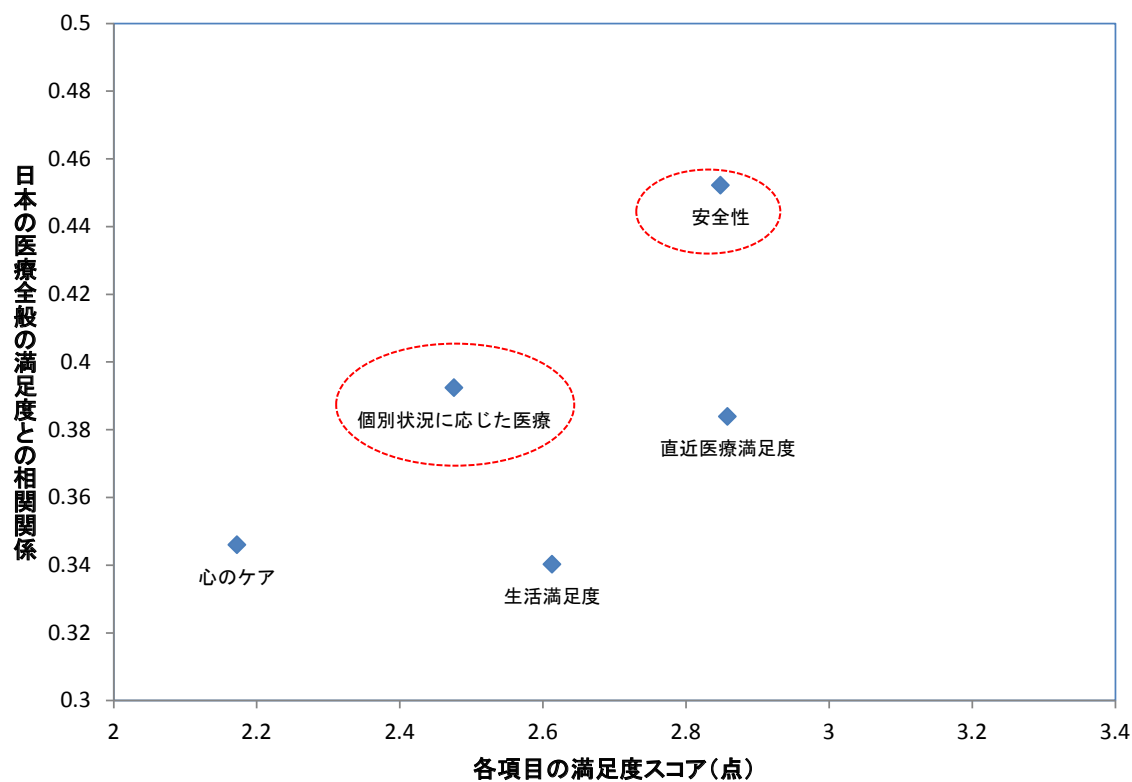


図 5-4 【参考】日本の医療全般への満足度と平均満足度の関係(WEB 調査)



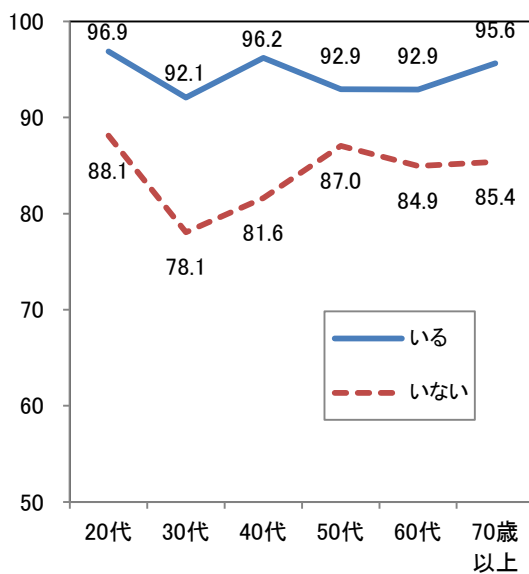
5-2. かかりつけ医を持つ人と持たない人の比較

かかりつけ医を持つ人は高齢者の間でその割合が高いが、若年層も含めて、持つ人と持たない人の中では医療に関する意識の違いがみられる。受けた医療の満足度、健康管理、医療に関する不安感について、年齢階層別に比較した。かかりつけ医がいる人は満足度が高く、健康に留意し、不安感が低い傾向がみられた。単相関の関係であるが、かかりつけ医がいることの一定の効用としてとらえることができる。

1. 医療満足度

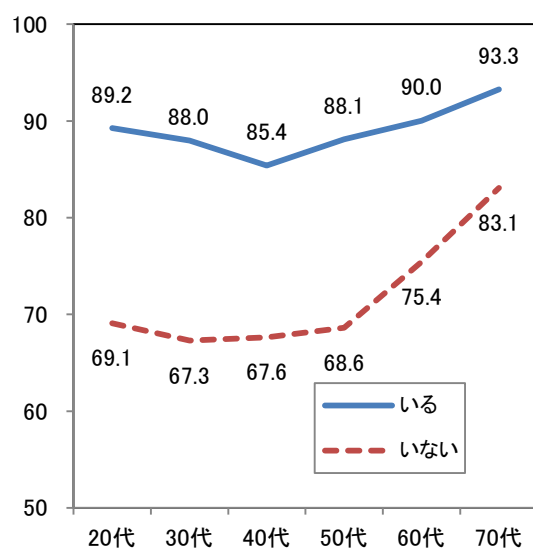
面接調査

受けた医療に満足している割合-かかりつけ医の有無別 (n=1,056)



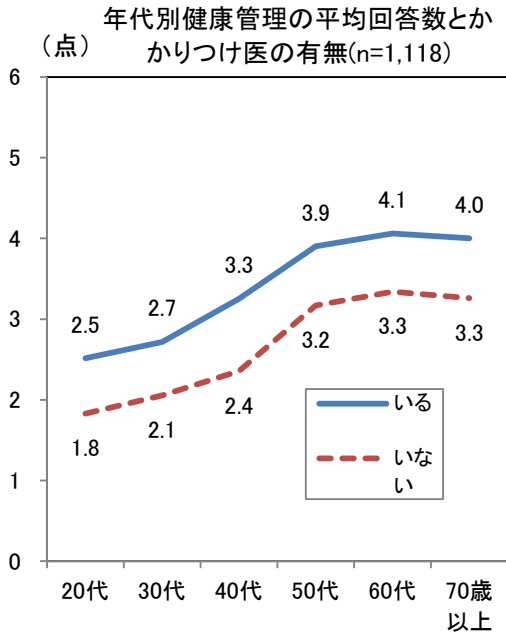
【参考】WEB 調査

受けた医療に満足している割合-かかりつけ医の有無別 (n=5,216)

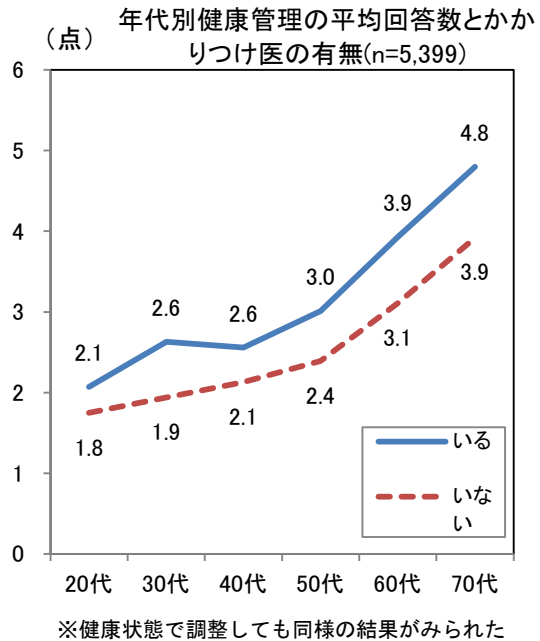


2. 健康管理の項目数

面接調査（全数）

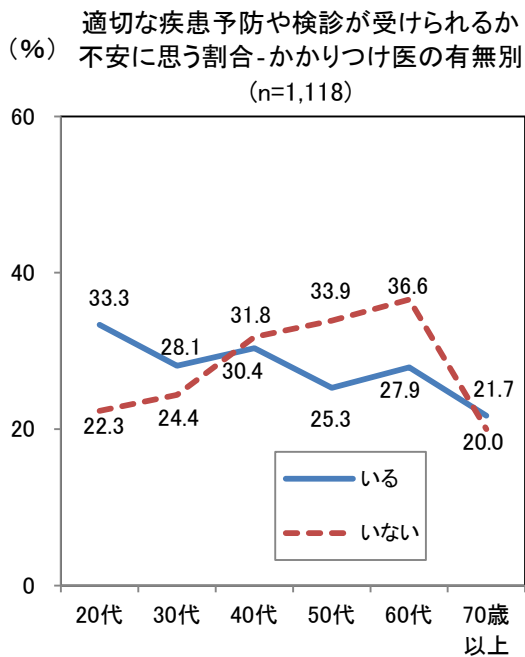


【参考】WEB 調査

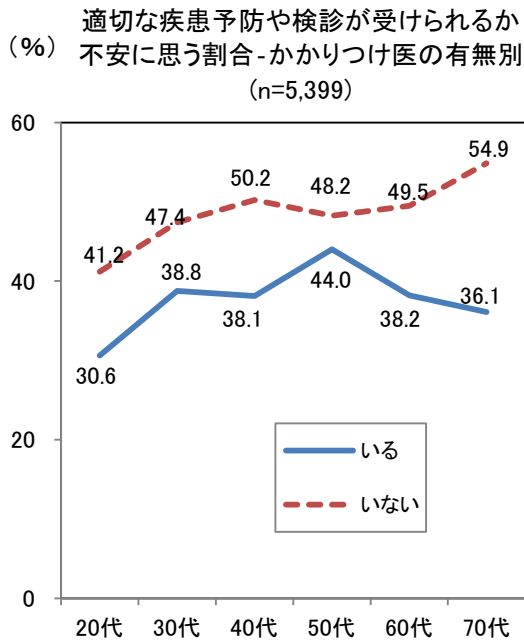


3. 地域の医療に関する不安感

面接調査



【参考】WEB 調査



5-3. まとめ

- 経年的にみた変化と今後の対応

第1回から第5回までの調査結果に基づいて、国民の医療に対する意識の変化を継時的に把握することができた。受けた医療への満足度は高く、日本の医療全般への満足度も上昇していた。患者を尊重する、個別性のある医療を受けていると回答する割合も増加した。これらは、国民の理解と医療現場の努力による医師患者関係の一定の向上を示すものと思われる。現在進められているさまざまな医療制度改革によって、今まで築いてきた医師患者関係や信頼関係が損なわれないよう留意する必要がある。

- かかりつけ医への国民の期待と医療側の今後の対応

受療のあり方として、国民の7割が身近な医療機関をまず受けることを望んでいることが改めて示された。かかりつけ医がいる人は、いない人よりも身近な医療機関をまず受診する要望が強い傾向がみられ、かかりつけ医の紹介機能への満足度を示すものともいえる。また、多くの国民が、専門医への紹介に加え、予防などの健康管理、幅広い診療、在宅医療、看取りなどの要望を持っている。かかりつけ医がいない人は、夜間休日の対応をより多く期待していた。今後の地域医療の構築にあたって、地域住民のこのようなかかりつけ医への期待に医療側が応えていくことが課題である。かかりつけ医を持つことの効用は高く、より多くの人がかかりつけ医を持てるように、地域で情報提供を徹底して行う必要がある。

- 医療に関する不安の解消

国民が考える医療の最重点課題は、長期入院できる施設の整備（56.4%）で、前回調査に比べて割合が増加した。また、地域医療に関するさまざまな不安については、町村などの地方部の住民は、都市部に比べて不安の度合いが強い傾向がみられた。特に、夜間や休日の医療、高水準のがん治療、医療介護の一貫サービスで不安がより強い傾向がみられ、居住地における医療介護の地域格差を示している。地域医療構想の策定など、これからの地域医療提供体制の整備において、住民の不安の解消に向けた対応が行われることが望まれる。

- 治療方針の自己決定と医師の説明

比較的重い病気の治療方針の決定において、自身が積極的にかかわることを望む人が 77.5%を占めた。高齢者も自己決定意識は高く、70 歳以上で 61.0%を占めた。一方、診療における医師の説明は、待ち時間よりも、受けた医療の満足度に強く影響していた。医師が患者に十分に説明を行うための医学教育の強化と同時に、余裕を持って患者の診療にあたり説明を行うことができる現場の環境整備も重要と推測される。

- 健康増進のために社会が行うこと

国民が日常生活で健康のために心がけていることは、年齢や健康度で調整しても、かかりつけ医がいる人のほうがいない人より、より多く実践する傾向がみられた。地域住民の健康増進のために、医療者や行政による積極的な情報提供や働きかけが必要と考えられる。

- 面接調査と WEB 調査

一般に、WEB 調査の満足度等が低い傾向が見られることから、本調査では、設問を同一にして面接調査と WEB 調査の結果を比較・検証した。その結果、回答傾向は同様であったが、年齢や居住地域などの調整後も、数値割合に有意差がみられる設問が多くみられた。医療における面接調査と WEB 調査それぞれの回答者は、異なる特性や価値観を持つことを示しており、今後の医療に関する意識調査手法の検討における重要な情報が得られた。面接調査で継続的な変化を把握することの重要性を踏まえつつ、手法の違いによる結果分析（傾向スコア分析）を行い、今後の調査手法の検討を行う予定である。

- 調査の制約

アンケート調査の限界で、生活に支障のある低所得層や病弱な高齢者など、経済・健康面で厳しい状況にある国民は調査対象から外れている。WEB 調査についても同様である。従って、これらを含む一定の割合の国民の意識が含まれていないことに留意する必要がある。

6. 【参考】WEB 調査結果

6-1. 面接調査と WEB 調査の比較

本調査では、第1回より継続してきた面接調査を主軸とし、WEB調査も並行して実施することで、その結果を検証した。両者の調査結果からは、多くの設問で調査結果の「傾向」が同様であることが判明した。その一方で、回答の数値割合などについては差異が生じているケースがみられた。そこで、年齢などの調整を行い、その差異が縮小するかを検証したところ、多くの項目で差異は縮小したが、有意な差が残るケースもみられた。従って、既存調査で指摘されているように¹³、医療に関わる2つの調査の回答者についても、特性や価値観に違いがあることが推測される。以下、分析結果を示す。

面接調査とWEB調査の回答者の間には、年齢、健康状態、居住地の都市規模等の属性に相違がみられる（(参考) 表 7-1）。そこで、「年代別・健康状態別回答者割合」と「年代別・居住都市規模別回答者割合」を補正して、面接調査の結果とWEB調査の結果が等しくなるかを検証した。具体的には、WEB調査結果の属性分布（年代別・健康状態別分布、および年代別・居住都市規模別分布）を、面接調査結果の分布と同一にするようウェイト調整を行い、WEB調査結果が面接調査結果にどの程度近づくかを確認した。

その結果、多くの設問においてWEB調査結果が面接調査結果に近づく方向に補正が行われることが確認された。特に、「年齢・健康状態」の回答者属性分布を面接調査結果と同一にするウェイト調整は、多くの設問項目において、面接調査とWEB調査の回答比率差を大きく縮めた。

¹³石田浩 他「信頼できるインターネット調査法の確立に向けて」2009年（東京大学社会科学研究所 SSJDA-42）ではWEBモニターを用いた調査結果と従来型の調査の結果の差を詳細に分析している。WEB調査に参加する人の属性は、意識面では「批判的な」傾向が強いとされ、面接調査に参加する人は「他人への信頼度が高い」ことが指摘されている。栗山喬行 他「インターネットを利用した科学技術に関する意識調査の可能性」2010年（文部科学省科学技術政策研究所 DISCUSSION PAPER No.62）でも、WEB調査と面接留置き調査の一般的回答傾向は同様であるが、自分自身の意見や意向に関わる設問の結果が異なることを明らかにしている。

例えば、医療満足度の受けた医療の満足度は、面接調査では 89.6%、WEB 調査では 76.2%であった。WEB モニターの属性の年齢・都市規模調整後は 81.6%となっている。同様に、医療全般の満足度は面接が 69.5%、WEB 調査調整後は 58.9%であった。属性による調整後も一定の乖離があることから、年齢・健康状態などの属性だけでは説明できない、WEB 調査回答者に固有の属性（特性）が存在している可能性を示唆している。

そこで、全データを用いた回帰分析を行い、WEB 調査回答者に存在する固有影響の有無を確認した。その結果、多くの調査項目において、WEB 調査ダミー変数は、統計的に有意な影響を与えていた。つまり、面接調査回答者と WEB 調査回答者は、さまざまな背景により、異なる意識や価値観を持っており、その結果、回答割合に差が生じていることが推測される。特に、それぞれの調査に参加する時点で、すでに参加者の間に特性の相違があることが考えられる。

いずれにしても回答傾向は類似していることから、本調査研究の結論に変化は生じない。今後、2 調査間の結果についてさらに傾向スコア分析等を実施する予定である。

面接調査結果とウェイト調整前後のWEB調査結果

図 6-1 医療満足度

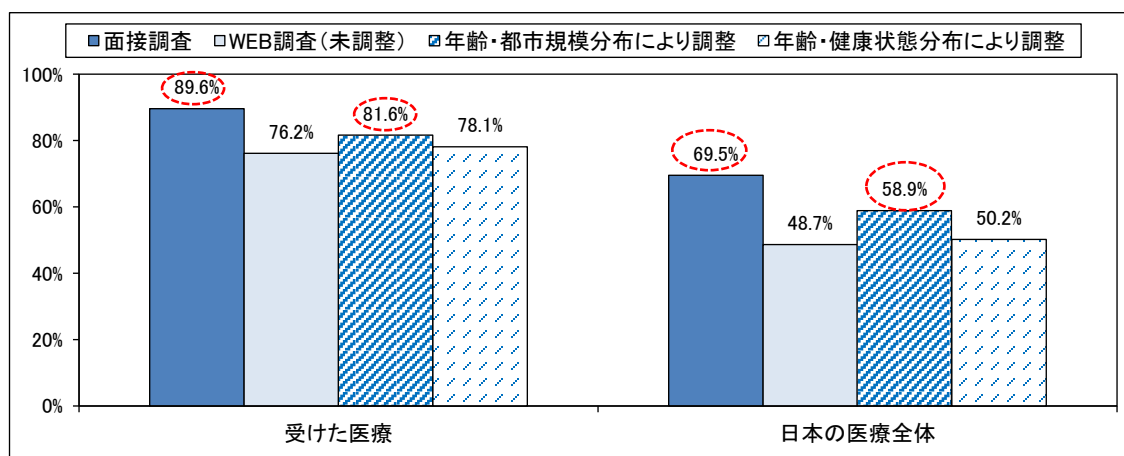


図 6-2 受けた医療の項目別満足度

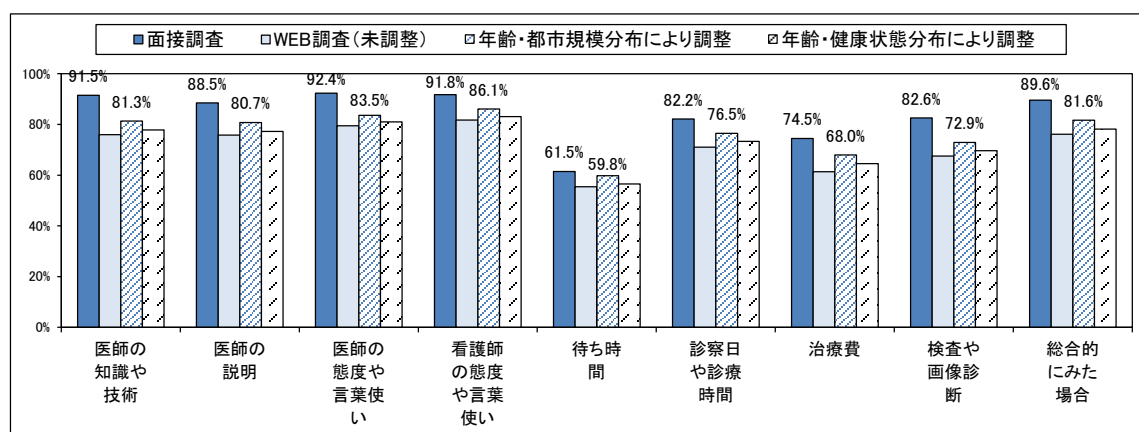


図 6-3 医療に不安を感じる人の割合

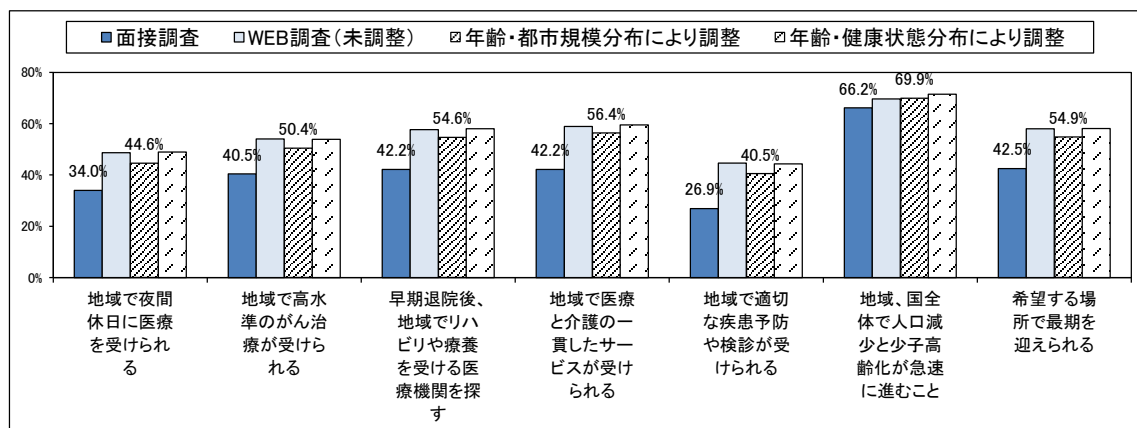
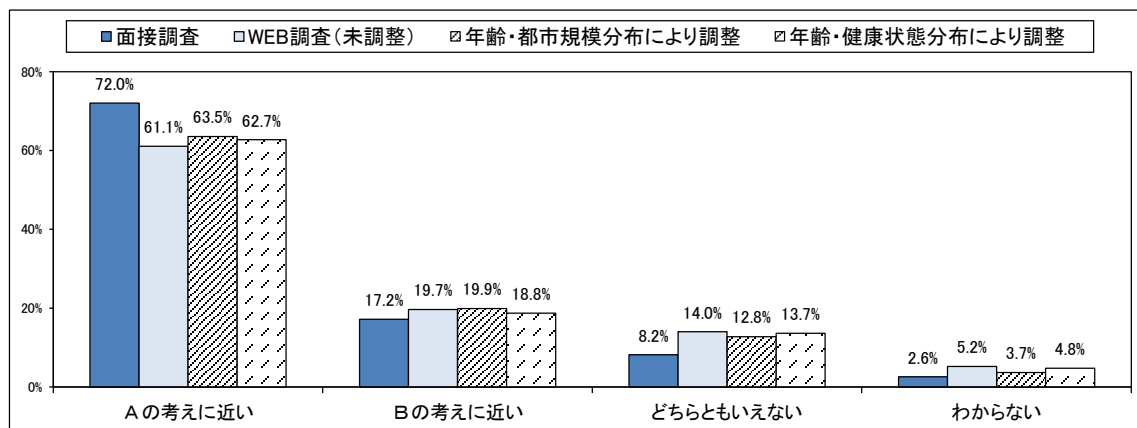


図 6-4 所得と医療の中身



A：所得の高い低いにかかわらず、受けられる医療の中身（治療薬・治療法）は同じであるほうがよい

B：所得の高い低いによって、受けられる医療の中身（治療薬・治療法）が異なることはやむを得ない

図 6-5 治療方針の決定方法

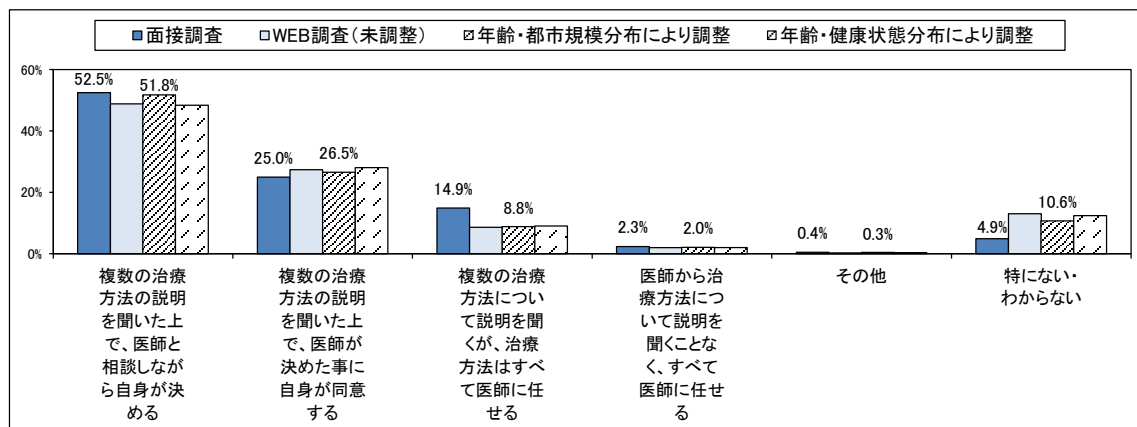


図 6-6 健康のために日常的に気をつけていること

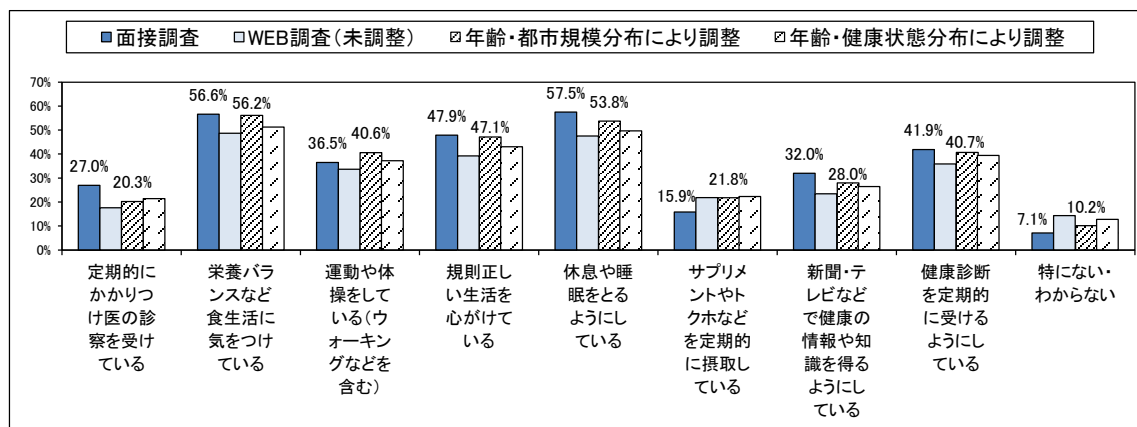


図 6-7 かかりつけ医の有無

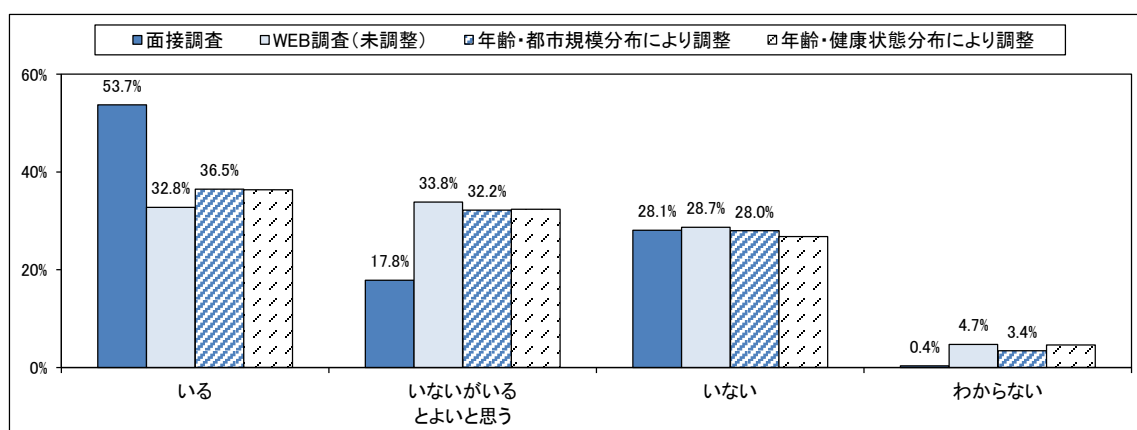


表 6-1 各回帰分析における WEB 調査ダミー変数に関する推定結果

被説明変数	偏回帰係数	t値	P値
医院・診療所や病院の満足度（１）医師の知識や技術について	-0.3310	-12.29	[.000]
医院・診療所や病院の満足度（２）医師の説明のわかりやすさについて	-0.3074	-11.06	[.000]
医院・診療所や病院の満足度（３）医師の態度や言葉使いについて	-0.3177	-11.38	[.000]
医院・診療所や病院の満足度（４）看護師の態度や言葉使いについて	-0.2745	-10.42	[.000]
医院・診療所や病院の満足度（５）待ち時間について	-0.0975	-2.67	[.008]
医院・診療所や病院の満足度（６）診察日・診療時間について	-0.1732	-5.66	[.000]
医院・診療所や病院の満足度（７）治療費について	-0.2000	-6.01	[.000]
医院・診療所や病院の満足度（８）検査や画像診断について	-0.2693	-9.45	[.000]
医院・診療所や病院の満足度（９）それでは、総合的にみた場合	-0.1937	-7.30	[.000]
日本の医療全般への満足度	-0.2261	-7.86	[.000]
かかりつけ医の有無	-0.4479	-8.46	[.000]
医療保険のあり方について	0.2647	9.17	[.000]
不安感－地域で夜間休日に医療を受けられる	0.2494	7.83	[.000]
不安感－地域で高水準のがん治療を受けられる	0.2737	9.26	[.000]
不安感－早期退院後、地域でリハビリや療養を受ける医療機関を探す	0.3094	10.50	[.000]
不安感－地域で医療と介護の一貫したサービスを受けられる	0.2794	9.62	[.000]
不安感－地域で適切な疾患予防や検診を受けられる	0.0490	1.54	[.123]
不安感－地域、国全体で人口減少と少子高齢化が急速に進むこと	0.2793	9.09	[.000]
不安感－希望する場所で最期を迎えられる	0.1912	3.51	[.000]
医療機関の受診のあり方について	-0.2300	-3.90	[.000]
定期的にかかりつけ医の診察を受けている	-0.0621	-1.20	[.232]
栄養バランスなど食生活に気を付けている	0.1618	3.06	[.002]
運動や体操をしている（ウォーキングなどを含む）	-0.0367	-0.71	[.475]
規則正しい生活を心がけている	-0.1319	-2.59	[.010]
休息や睡眠をとるようにしている	-0.0230	-0.40	[.686]
健康を考えてタバコを控えている・やめた	-0.0108	-0.17	[.863]
健康を考えてお酒を控えている・やめた	0.2170	3.66	[.000]
サプリメントやトクホなどを定期的に摂取している	-0.2541	-4.77	[.000]
新聞・テレビなどで健康の情報や知識を得ようとしている	-0.0284	-0.55	[.583]
健康診断を定期的に受けるようにしている	0.2302	2.85	[.004]
その他	-0.2842	-4.78	[.000]
特になし・わからない	-0.1065	-2.08	[.038]

6-2. 回答者属性

n=5, 667

表 6-2 居住地域

	WEB	面接
北海道	4.6%	5.2%
東北	7.3%	7.5%
関東甲信越・北陸	26.0%	32.4%
東京	10.7%	10.0%
中部	14.5%	10.7%
近畿	16.8%	14.9%
中国・四国	9.0%	9.4%
九州	11.1%	10.0%

表 6-3 年齢（平均 49.5 歳）

	WEB	面接
29歳以下	11.6%	11.3%
30～39歳	17.1%	16.7%
40～49歳	22.1%	16.7%
50～59歳	19.0%	13.4%
60～69歳	17.5%	18.9%
70歳以上	12.7%	23.1%

表 6-4 性別

	WEB	面接
男性	49.2%	46.4%
女性	50.8%	53.6%

表 6-5 最近の受診時期

	WEB	面接
2週間以内	22.2%	24.1%
1ヵ月以内	21.5%	24.7%
3ヵ月以内	14.1%	11.5%
半年以内	10.4%	10.0%
1年以内	11.4%	10.9%
2～3年前	8.3%	6.9%
3年以上前	8.0%	6.4%
一度も受診なし	1.5%	5.1%
わからない	2.7%	0.5%

表 6-6 同居人数

	WEB	面接
1人	14.2%	12.5%
2人	31.3%	25.8%
3人	24.9%	21.6%
4人以上	29.6%	40.2%

表 6-7 職業

	WEB		面接
会社員・団体職員	27.8%	農林漁業	1.8%
公務員	3.9%	商工・サービス業	11.8%
会社・団体などの役員	1.1%	事務職	16.0%
自営業・自由業	8.8%	労務職	18.2%
契約社員・派遣社員	5.8%	自由業管理職	2.6%
パートタイマー・アルバイト	13.0%	専業主婦	26.3%
専業主婦（夫）	21.5%	学生	3.3%
学生	2.3%	その他の無職	20.1%
その他・無職	15.7%		

表 6-8 世帯年収

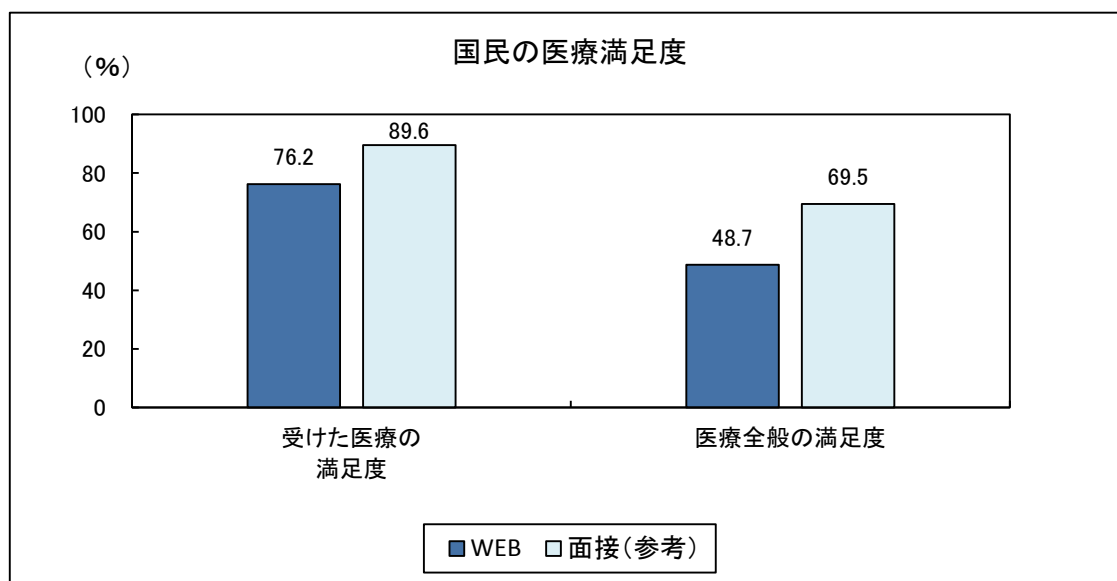
	WEB	面接
300万円未満	19.3%	24.8%
300万円～500万円未満	24.2%	19.4%
500万円～800万円未満	22.7%	17.6%
800万円～1,000万円未満	7.5%	3.5%
1,000万円以上	6.6%	2.9%
わからない	19.6%	31.9%

6-3. 受療に関わる意識

※以下の WEB 結果は全て未調整の数値である。

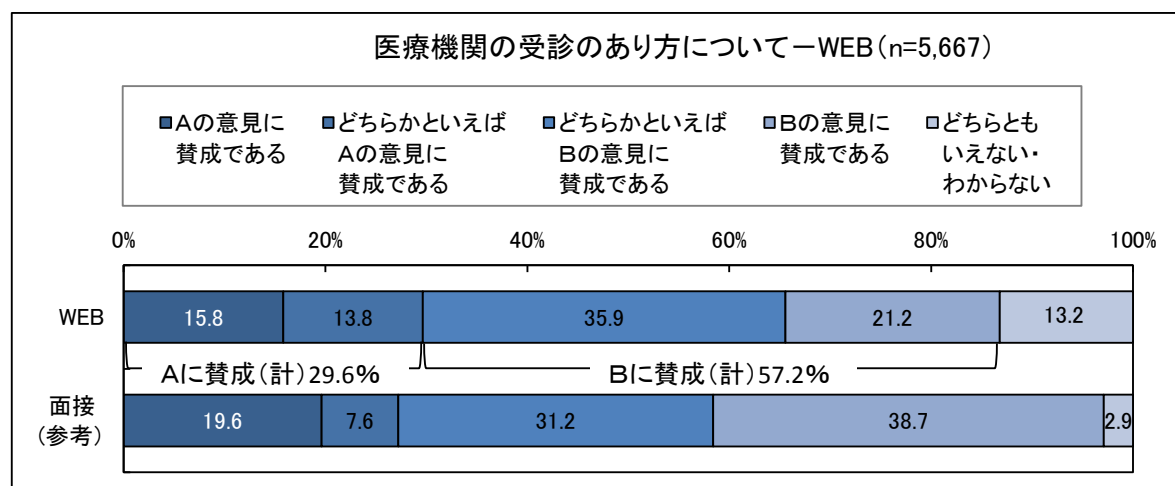
6-3-1 満足度（受けた医療、日本の医療全般）

図 6-8 国民の満足度



6-3-2 医療機関の受診について

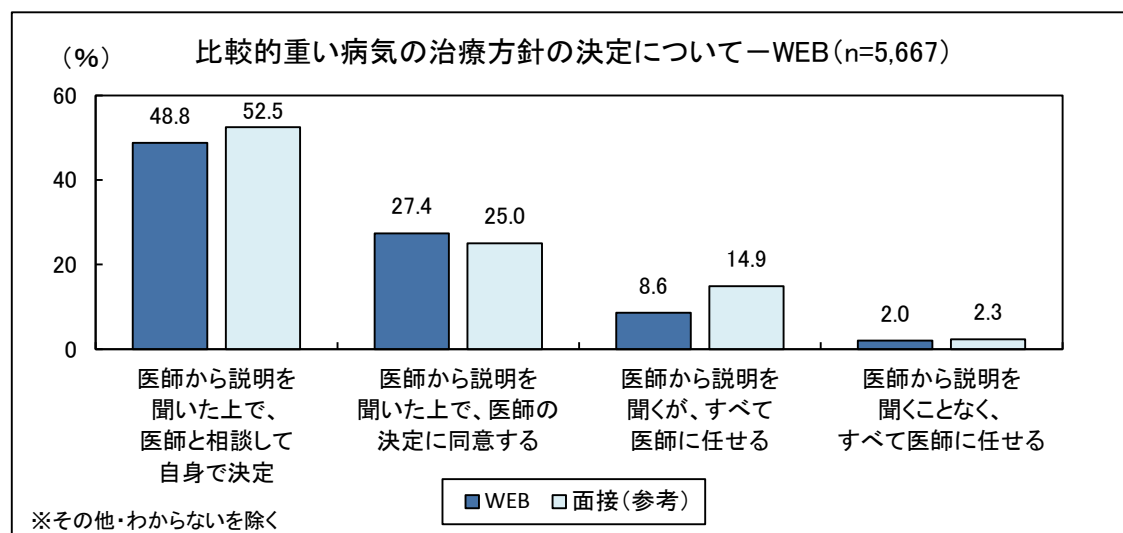
図 6-9 医療機関の受診のあり方



医療機関の受診のあり方として、次のAとBの2つの考え方について議論されています。あなたはどちらに賛成しますか。

- A 病気の程度に関わらず、自分の判断で選んだ医療機関を受診する
- B 最初にかかりつけ医など決まった医師を受診し、その医師の判断で必要に応じて専門医療機関を紹介してもらい受診する

図 6-10 比較的重い病気の治療方針の決定について



6-3-3 医療の重点課題

図 6-11 国民が考える重点課題（3つまで）

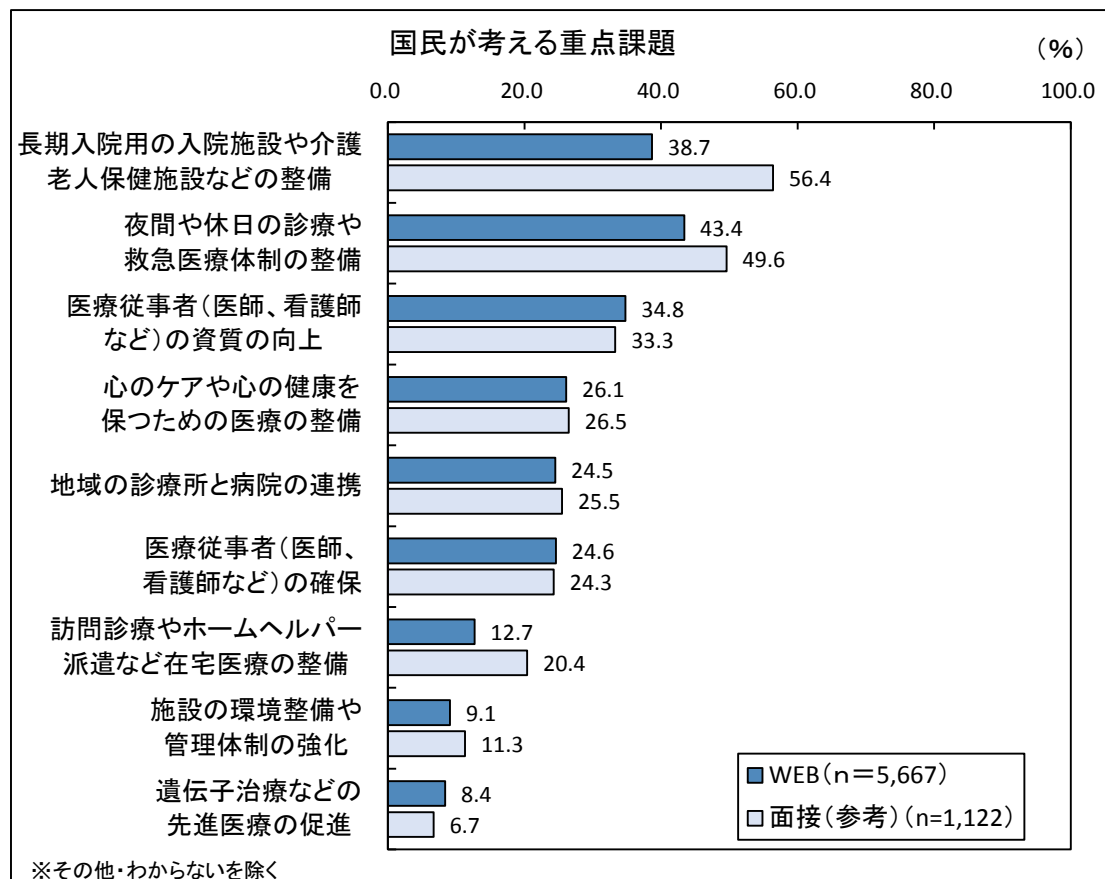
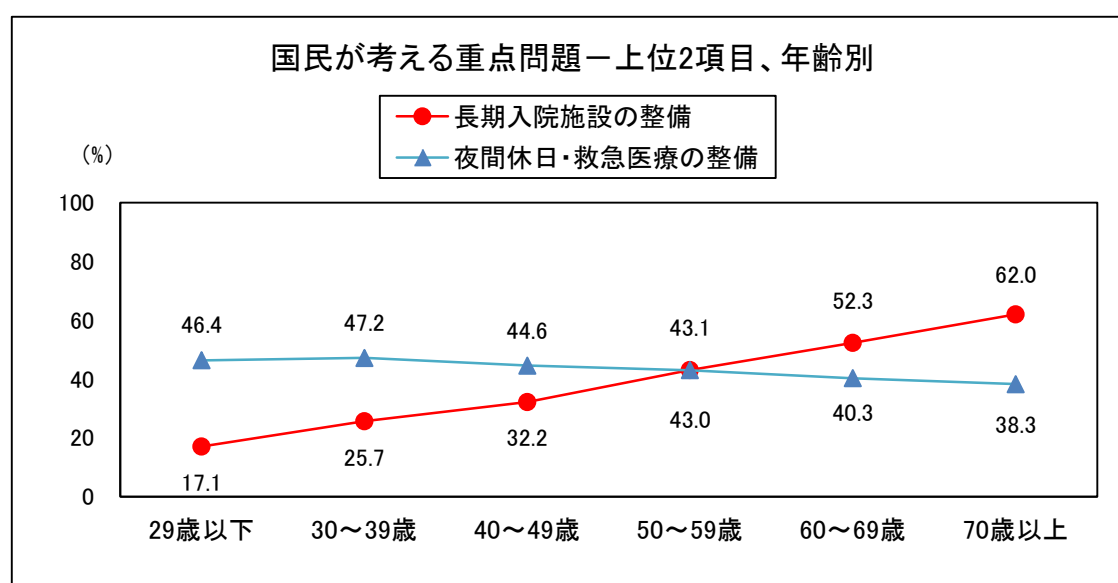


図 6-12 国民が考える重点課題 - 年齢別にみた上位2項目



6-3-4 地域医療に関する不安

図 6-13 不安に思う人の割合

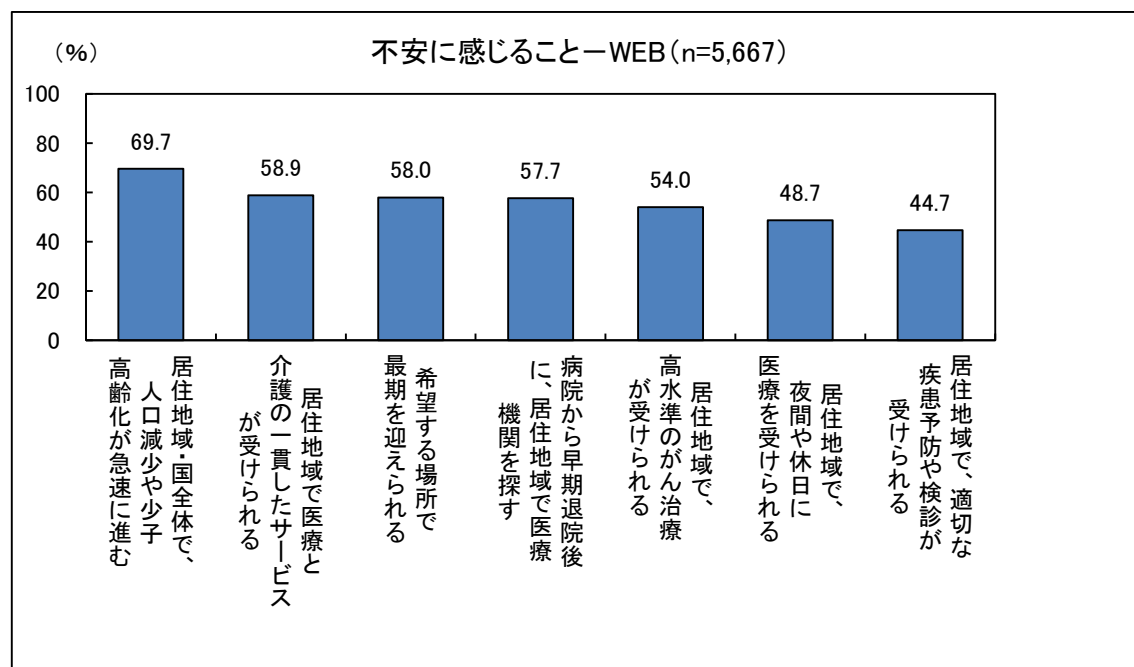


図 6-14 不安に思う人の割合 (年齢階層3区分別)

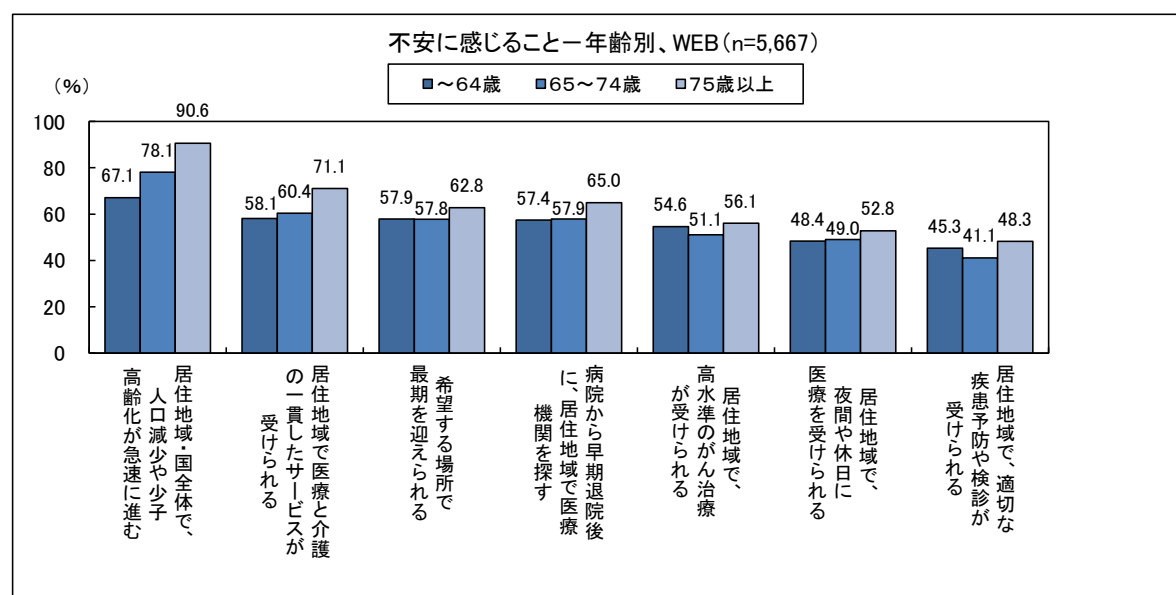


図 6-15 不安に思う人の割合の比較

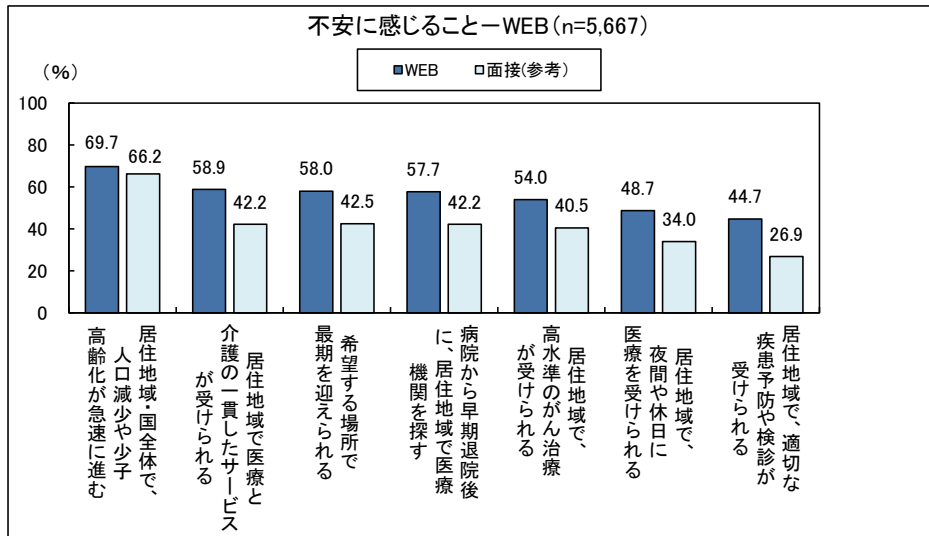


図 6-16 地域で医療と介護の一貫サービスを受けることに不安

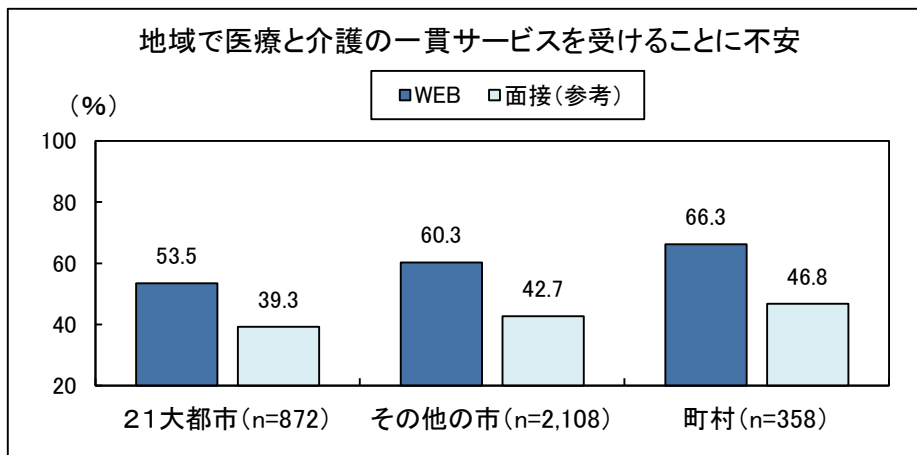
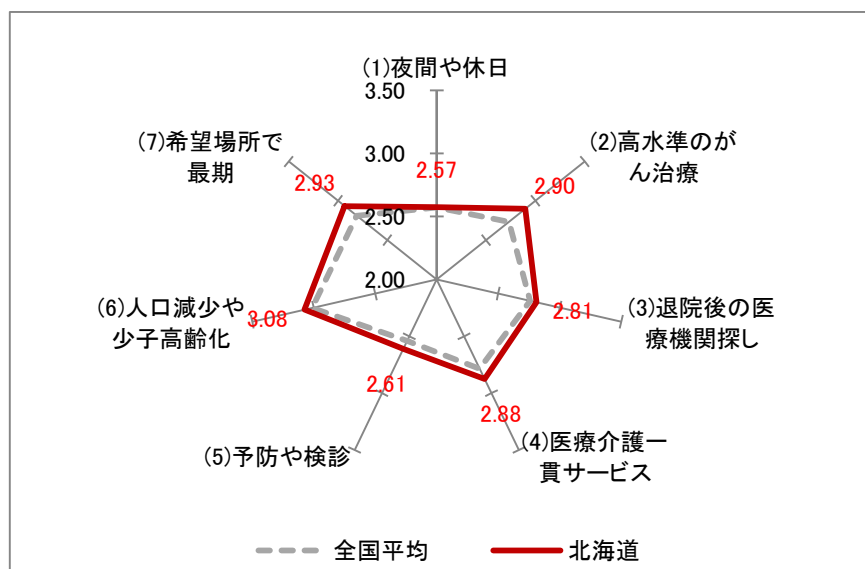
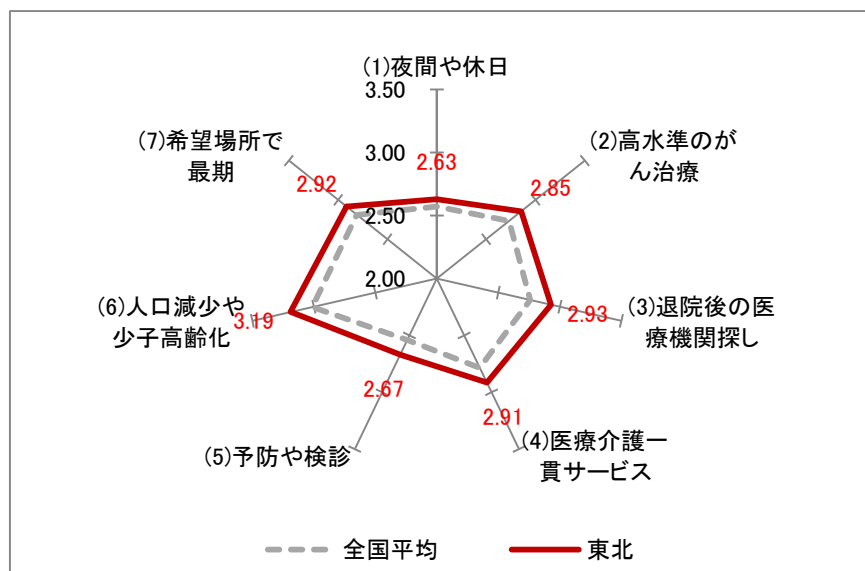


図 6-17 地域医療に関する不安（居住地域別）

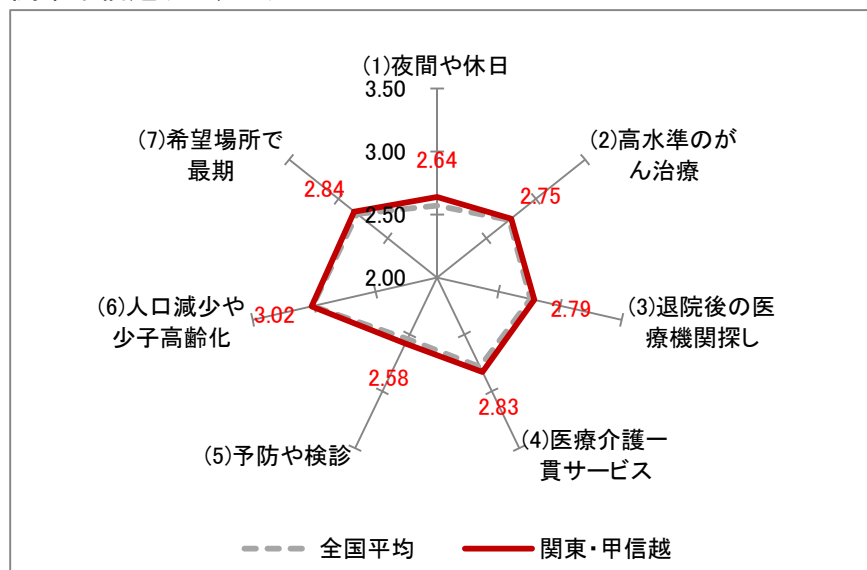
北海道(n=260)



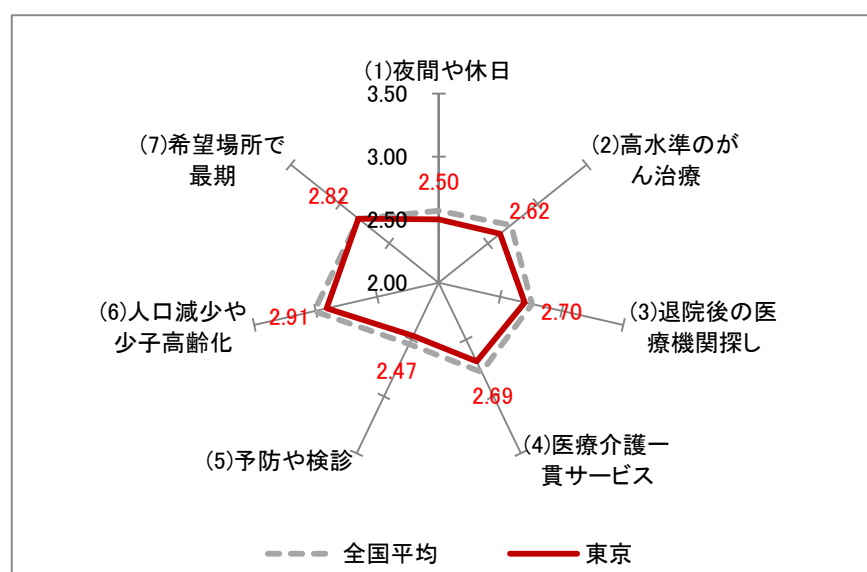
東北(n=416)



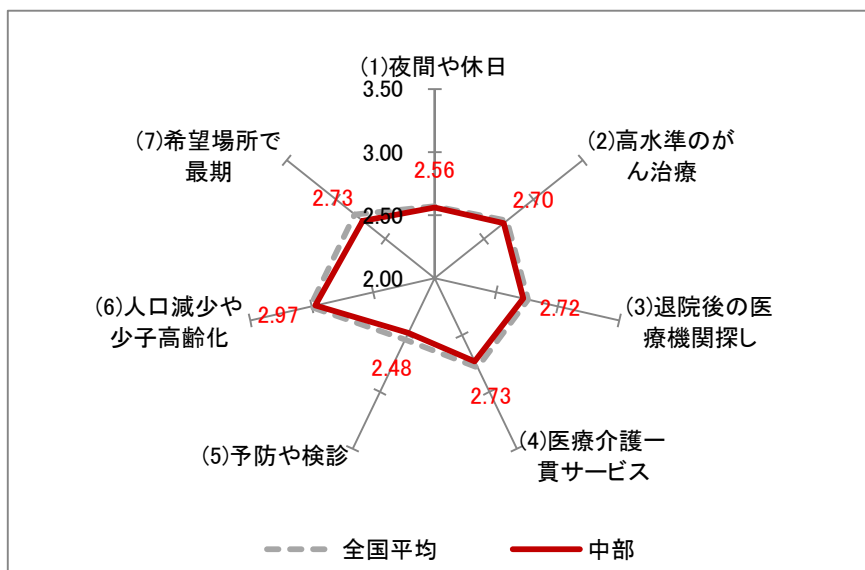
関東甲信越 (n=1,472)



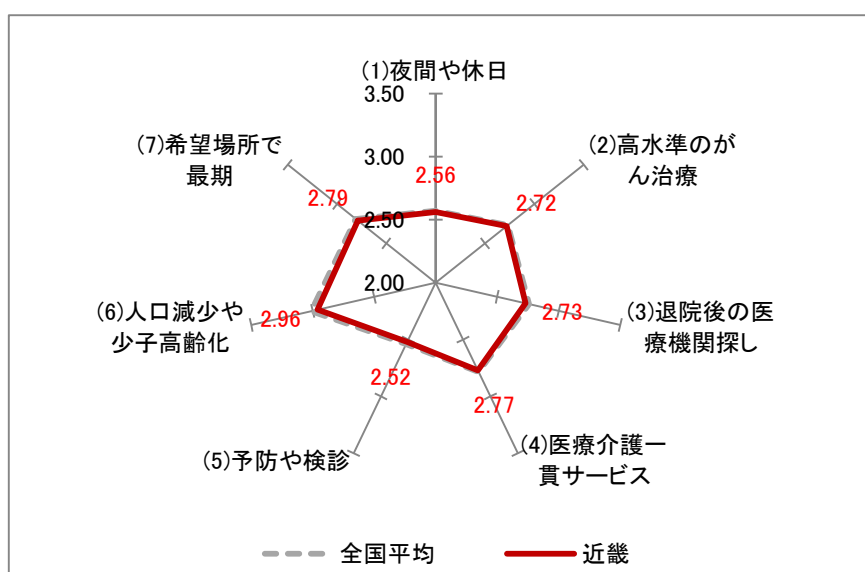
東京 (n=607)



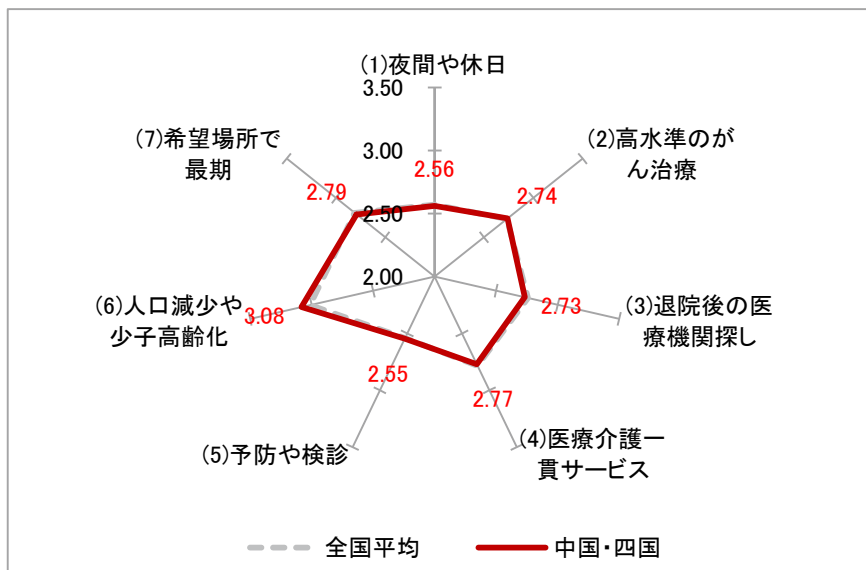
中部 (n=820)



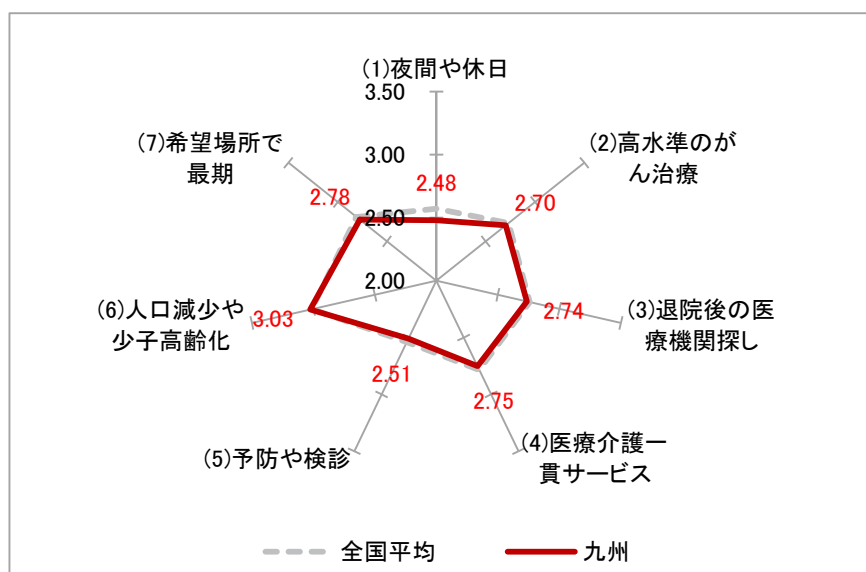
近畿 (n=951)



中国・四国(n=512)

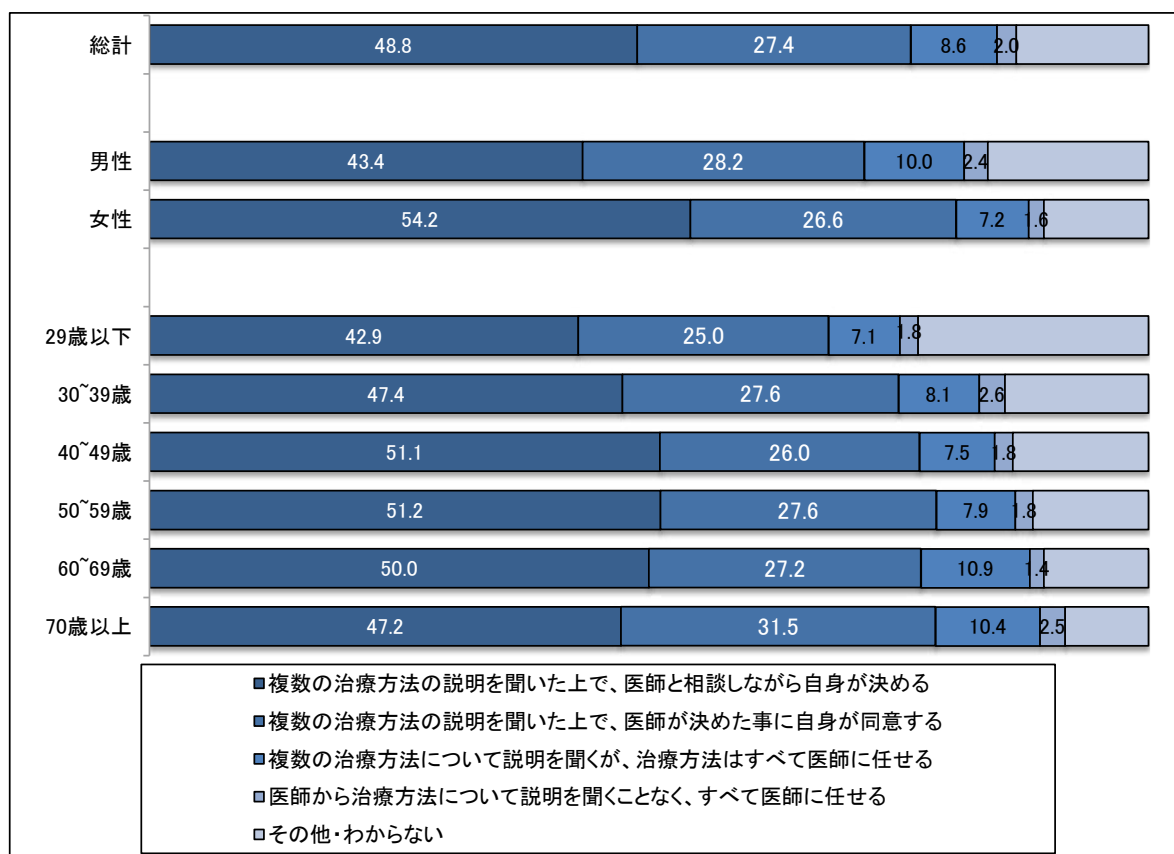


九州(n=629)



6-3-5 治療方針の自己決定に関する意識

図 6-18 治療方針の自己決定に関する意識



6-3-6 所得水準と医療の中身

図 6-19 医療保険のあり方についての考え方

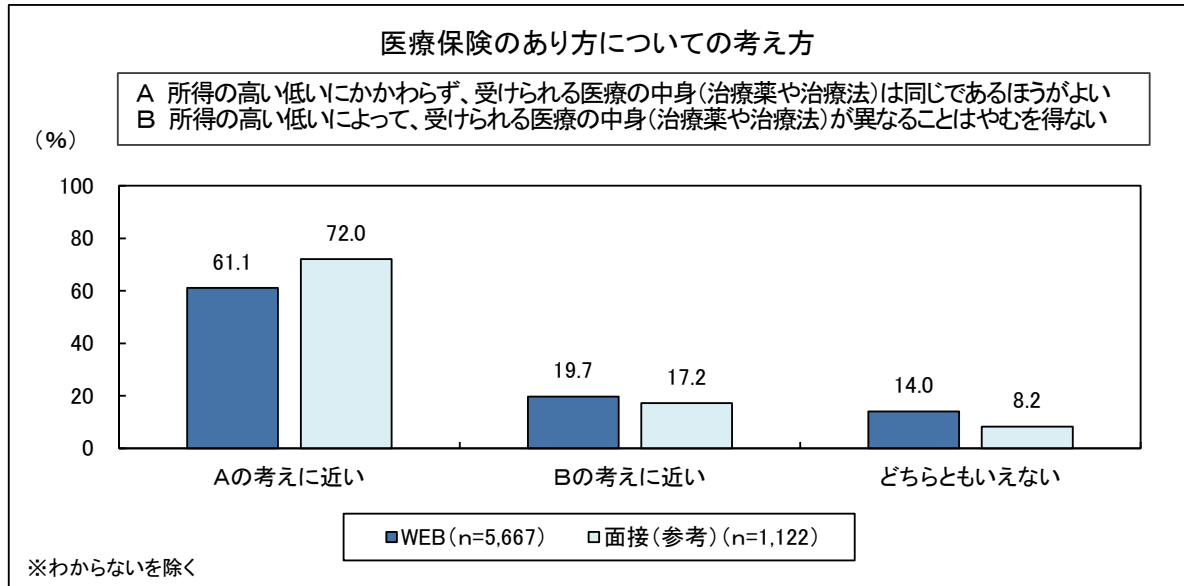
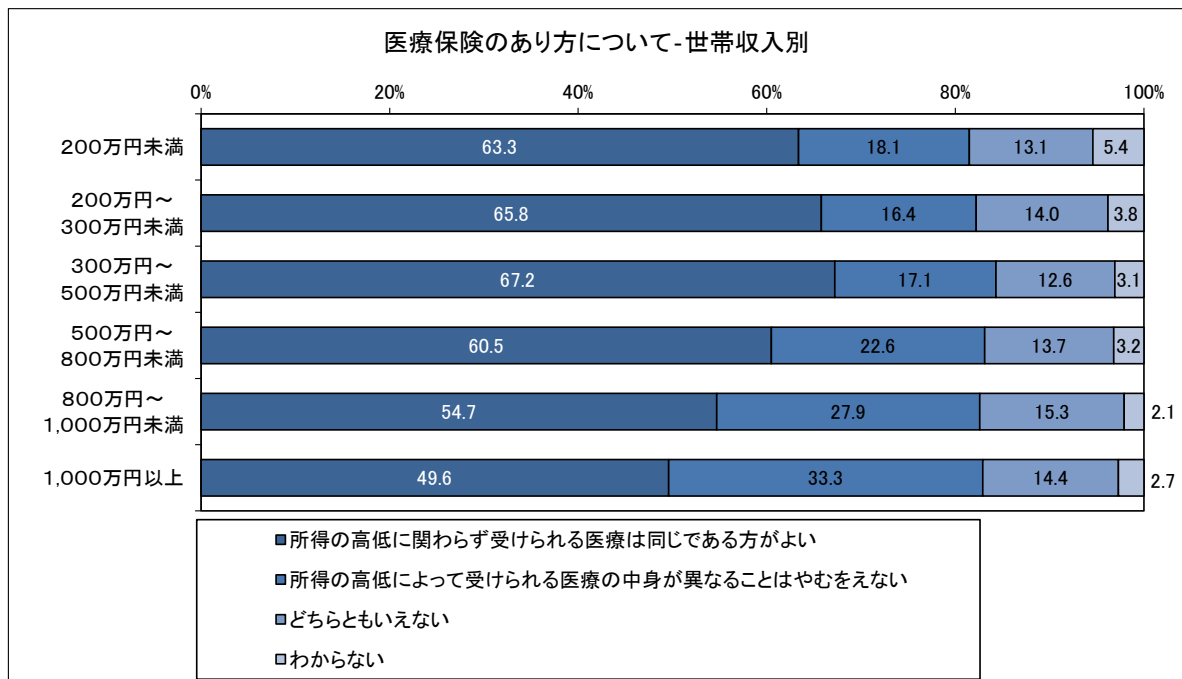


図 6-20 医療保険のあり方についての考え方ー世帯所得別



6-3-7 国民の健康管理

図 6-21 日常的に気を付けていること

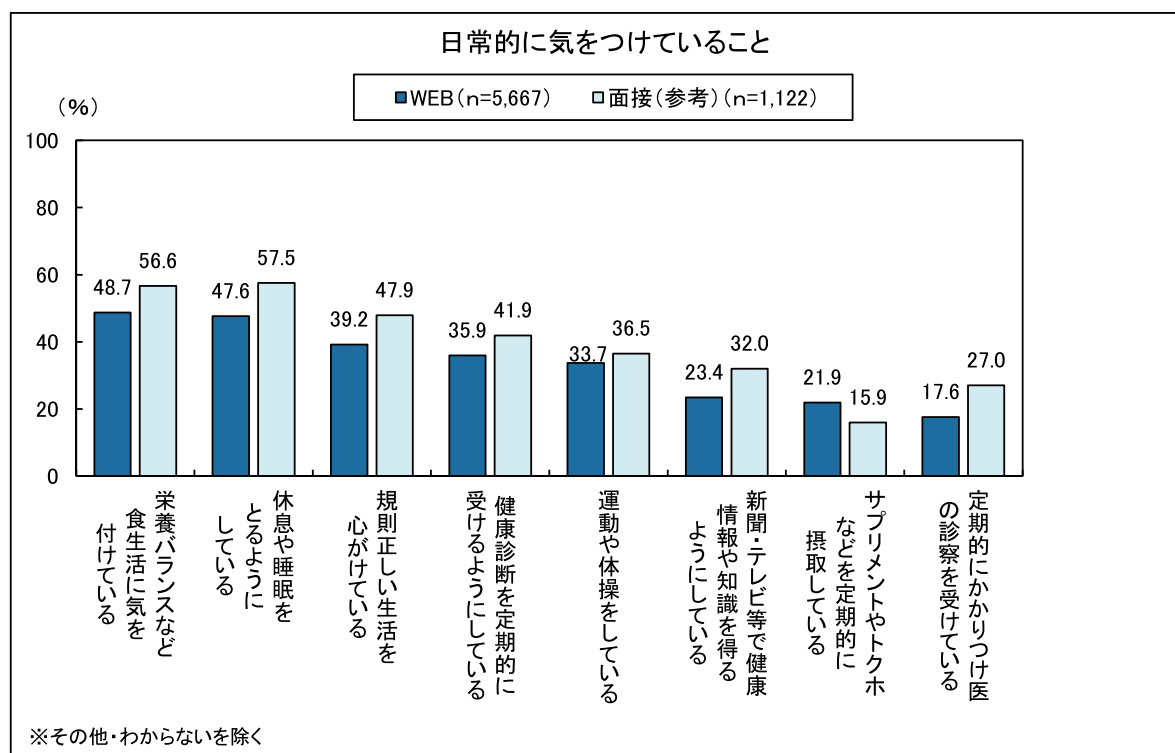
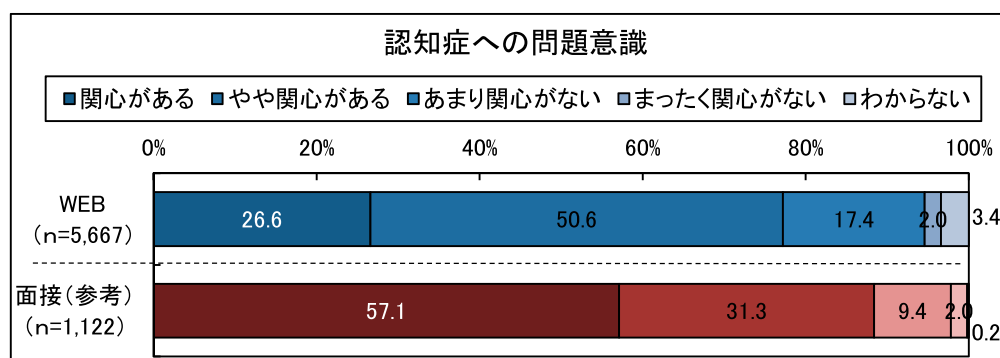


図 6-22 認知症への問題意識



6-4. かかりつけ医

6-4-1 かかりつけ医の有無

図 6-23 かかりつけ医の有無

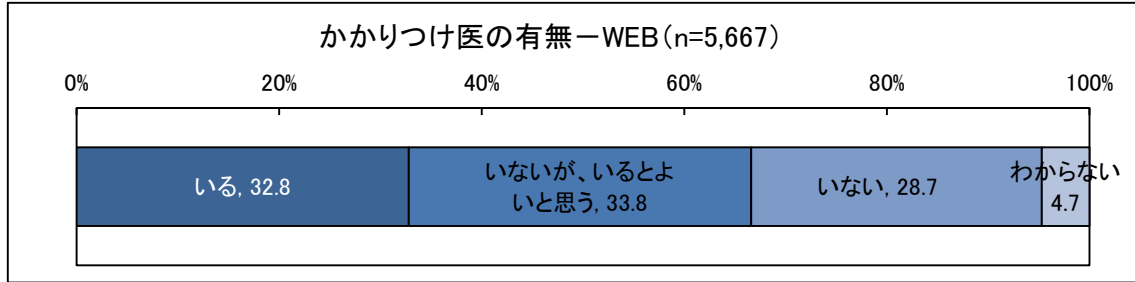


図 6-24 かかりつけの医師がいる人 - 年齢別、70 歳「以上」

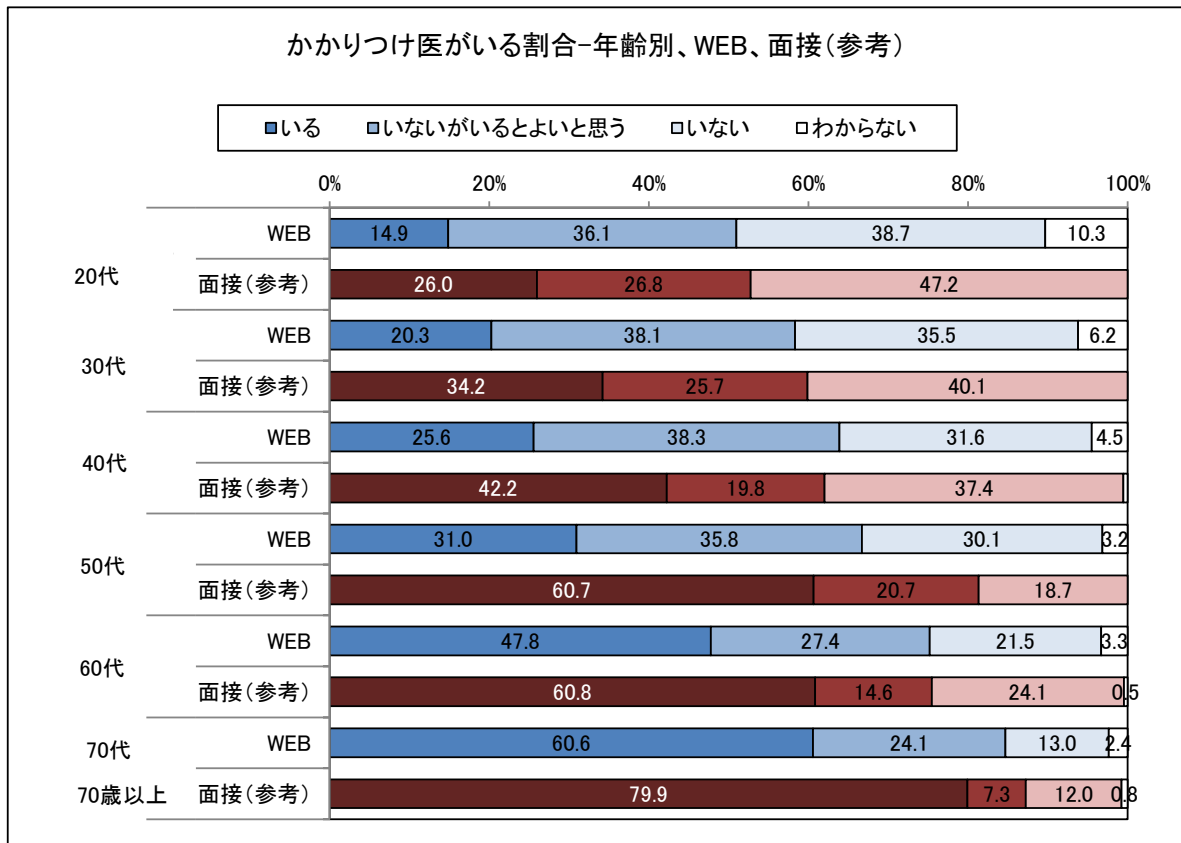


図 6-25 かかりつけ医の人数

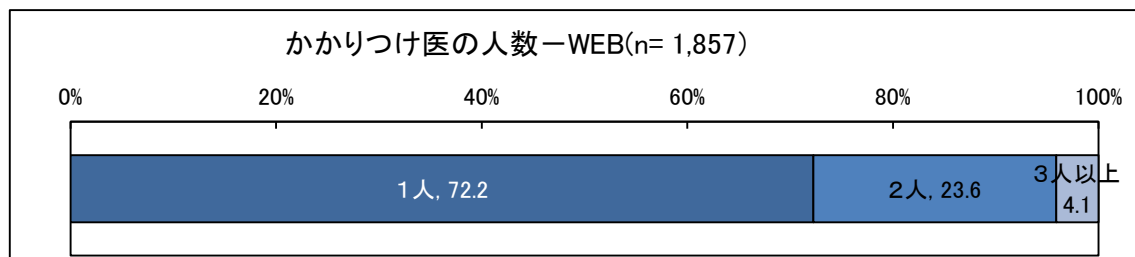
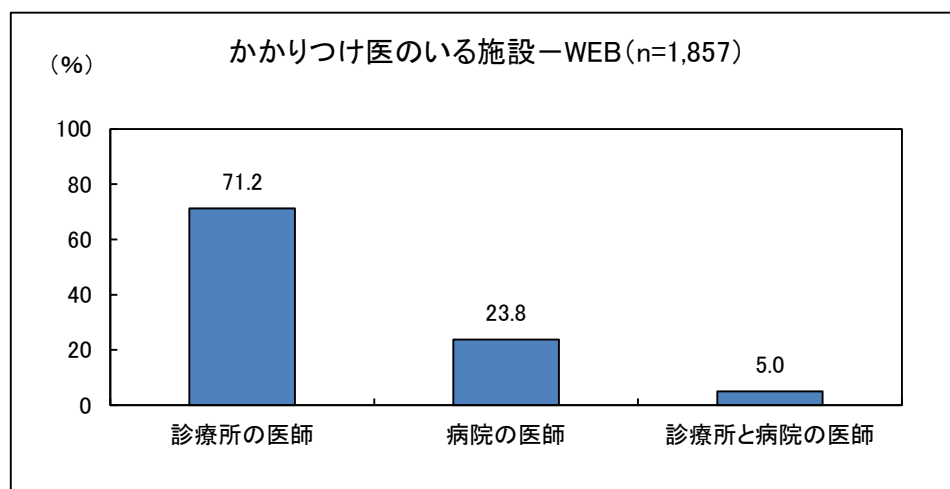


図 6-26 かかりつけ医のいる施設



6-4-2 かかりつけ医の診療

図 6-27 かかりつけ医のタイプ別分類

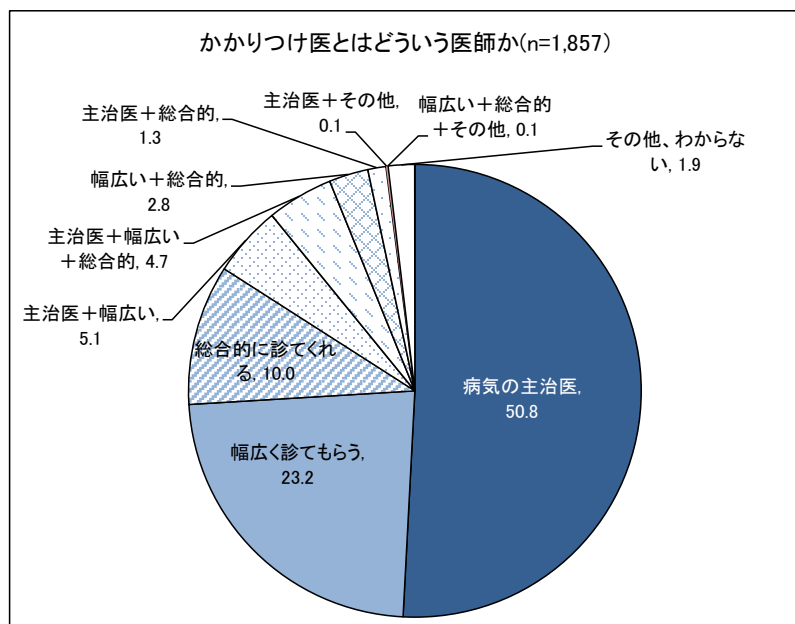
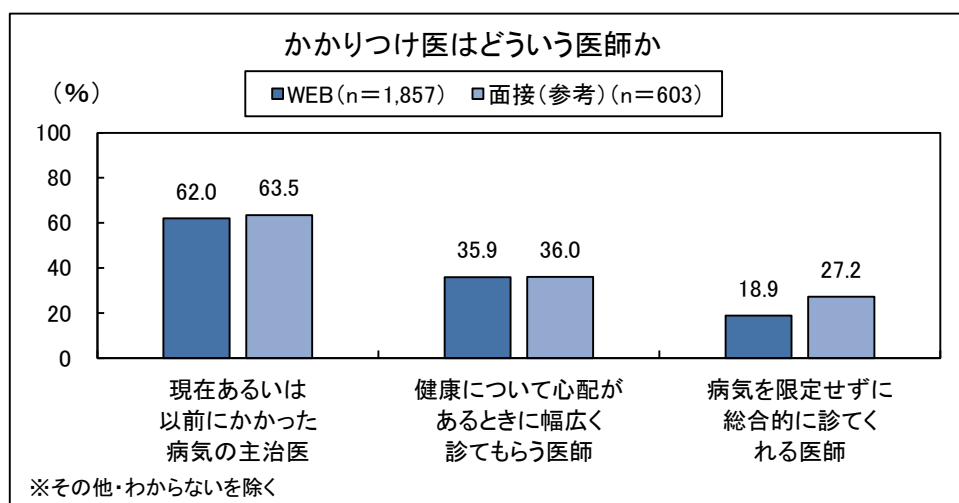


表 6-9 かかりつけ医のタイプ - かかりつけ医が勤務する医療機関種類別

	病気の主治医	幅広く診てもらふ	総合的に診てくれる	主治医+幅広い	主治医+幅広い+総合的	幅広い+総合的	主治医+総合的	主治医+その他	幅広い+総合的+その他	その他、わからない
全体	50.8	23.2	10.0	5.1	4.7	2.8	1.3	0.1	0.1	1.9
診療所の医師	47.7	25.3	10.7	5.6	5.1	2.8	1.4	0.1	0.1	1.4
病院の医師	62.7	17.6	7.9	3.2	2.7	2.0	0.7	0.0	0.0	3.2

図 6-28 かかりつけ医のタイプ（複数回答）



6-4-3 かかりつけ医への期待

図 6-29 かかりつけ医に望む医療や体制（複数回答）

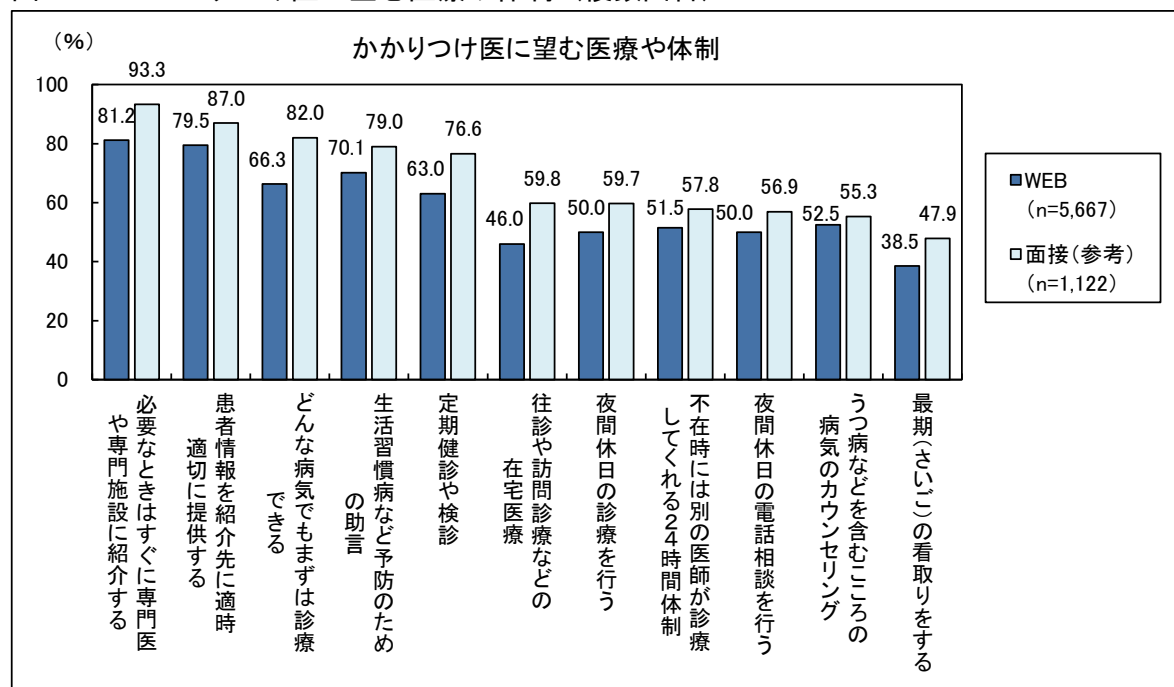
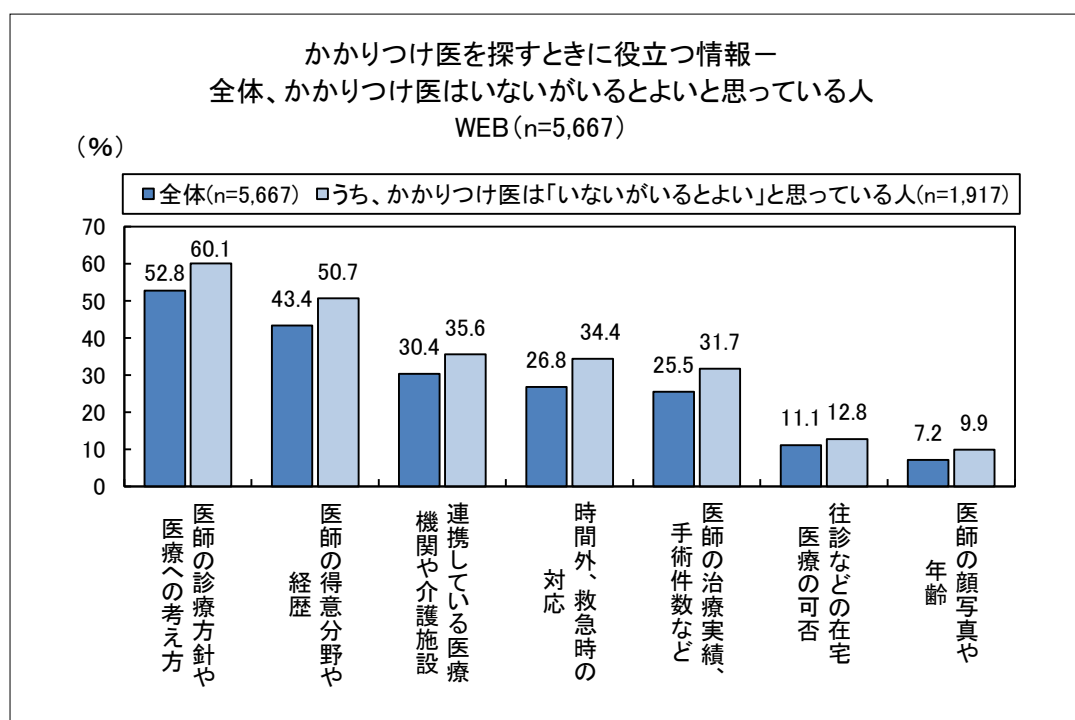


図 6-30 （再掲）かかりつけ医を探すときに役立つ情報 - 全体、かかりつけ医はいないがいるとよいと思っている人



6-5. 医療満足度と医師患者関係

6-5-1 医療満足度

図 6-31 医療の満足度（受けた医療と医療全般）一都市規模別

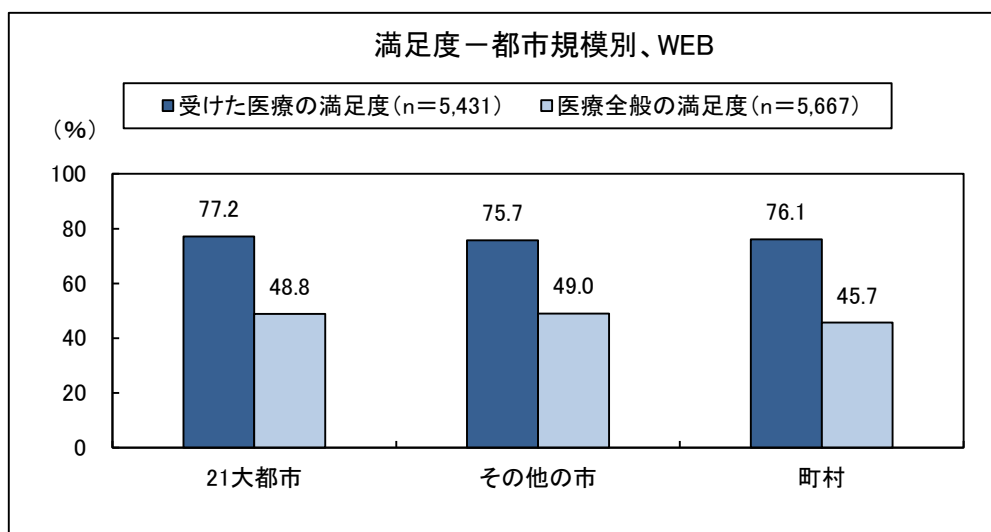


図 6-32 医療の満足度（受けた医療と医療全般）一年齢別

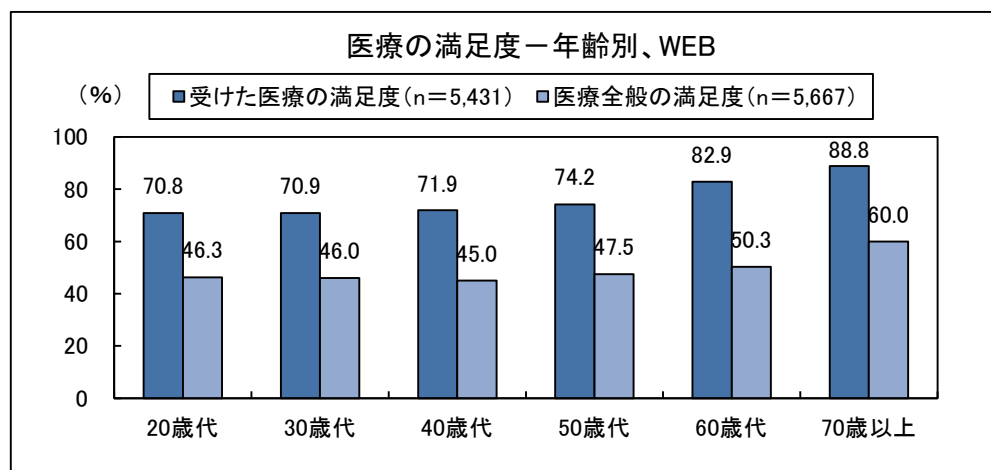


図 6-33 受けた医療に対する満足度-かかりつけ医有無

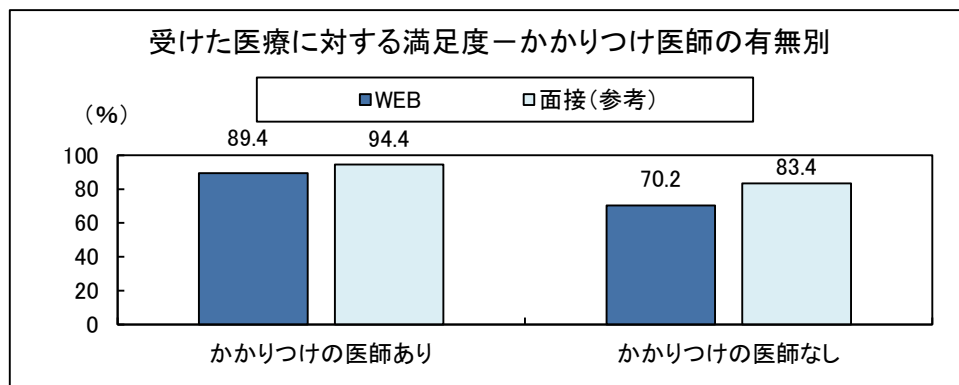
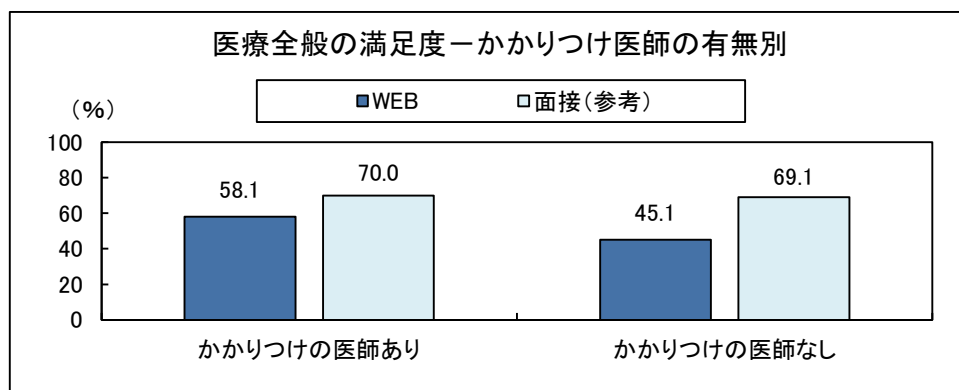
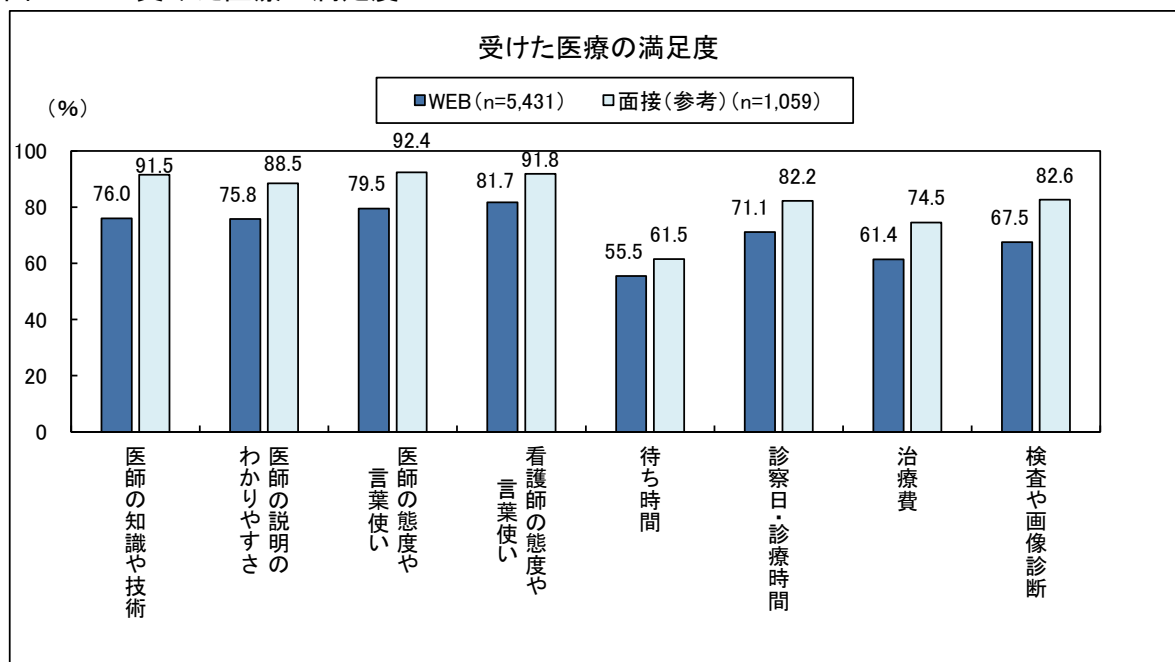


図 6-34 日本の医療全般への満足度-かかりつけ医有無



6-5-2 受けた医療の個別項目の満足度

図 6-35 受けた医療の満足度



6-5-3 医療に不満の理由

図 6-36 受けた医療に満足していない理由（複数回答）

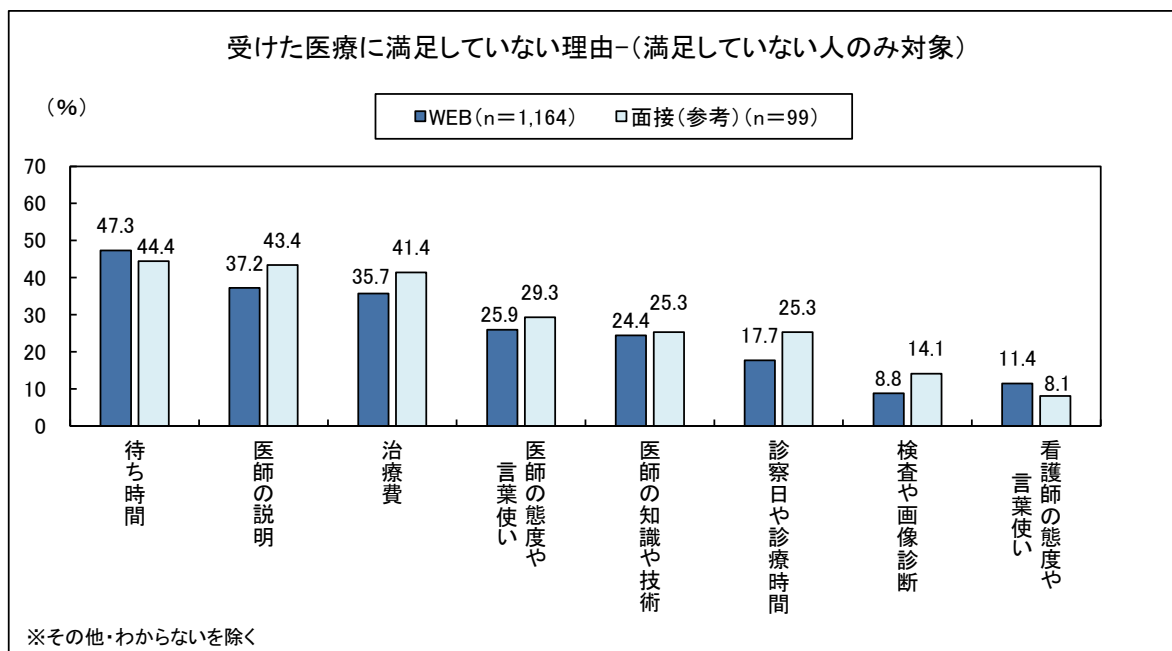
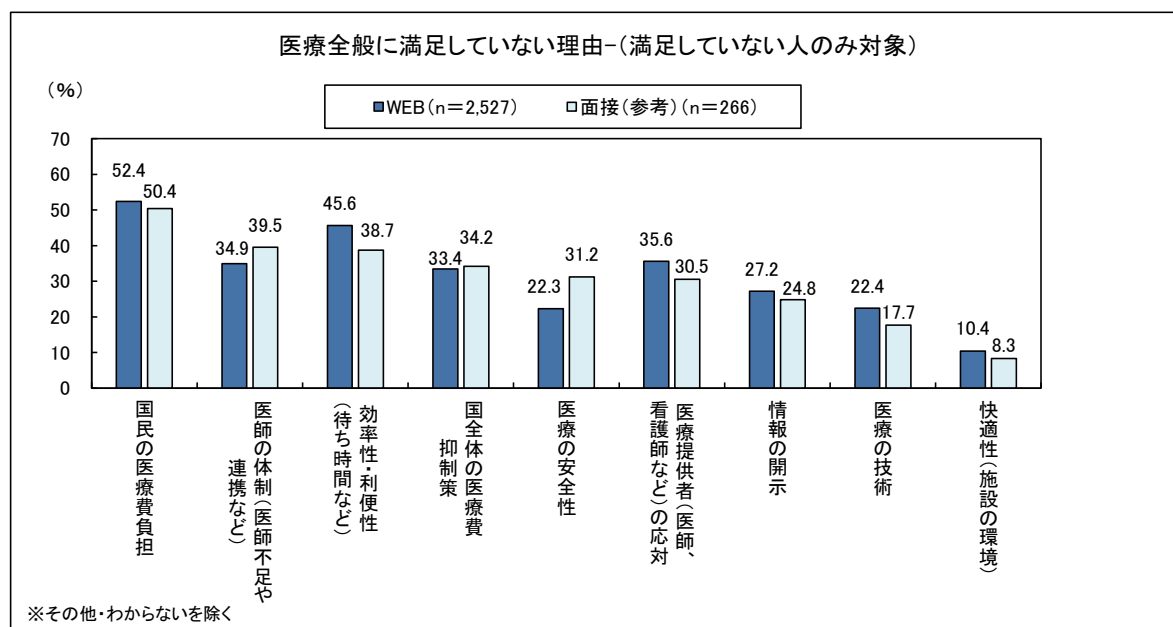


図 6-37 医療全般に満足していない理由（複数回答）



6-5-4 受けた医療と生活満足度

図 6-38 受けた医療の満足度と生活満足度

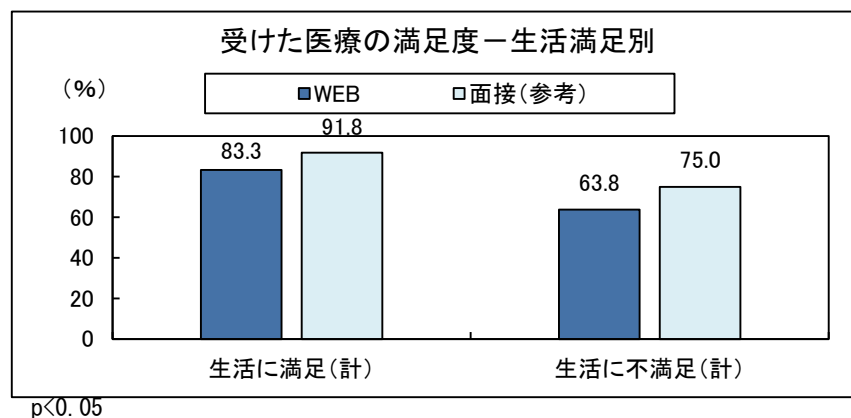


図 6-39 医療全般の満足度と生活満足度

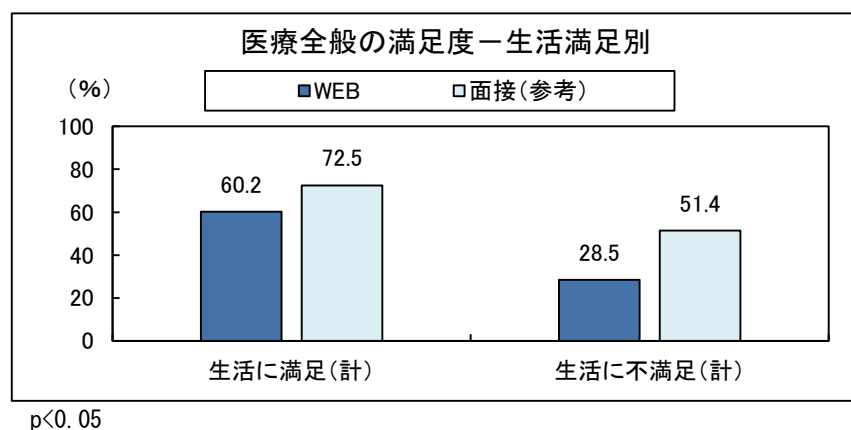
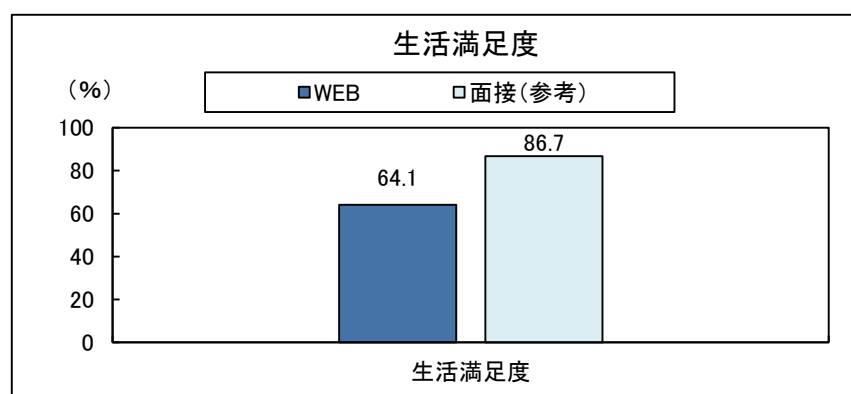


図 6-40 生活満足度



6-5-5 医師患者関係

図 6-41 個別状況に応じた医療が行われていると思う人の割合

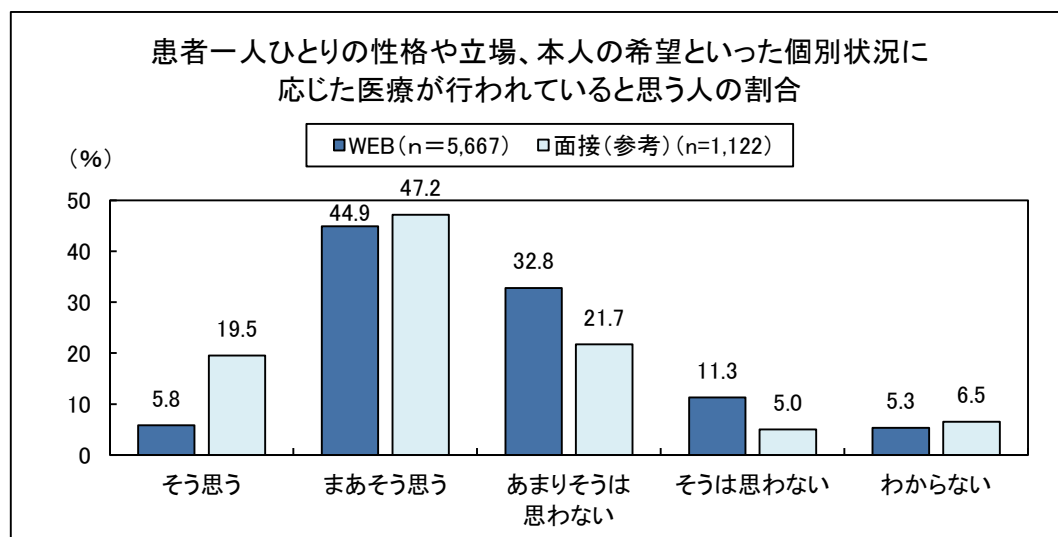
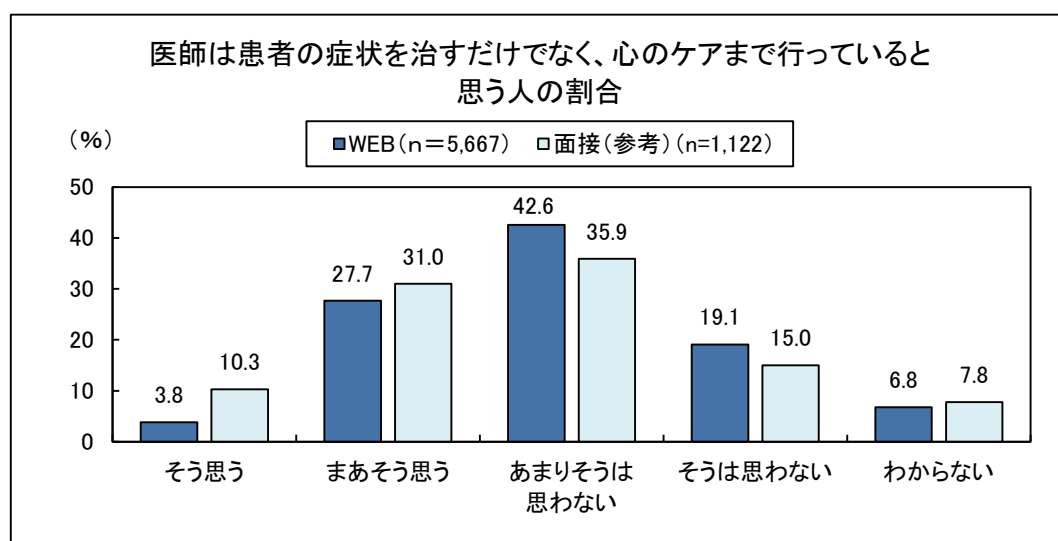
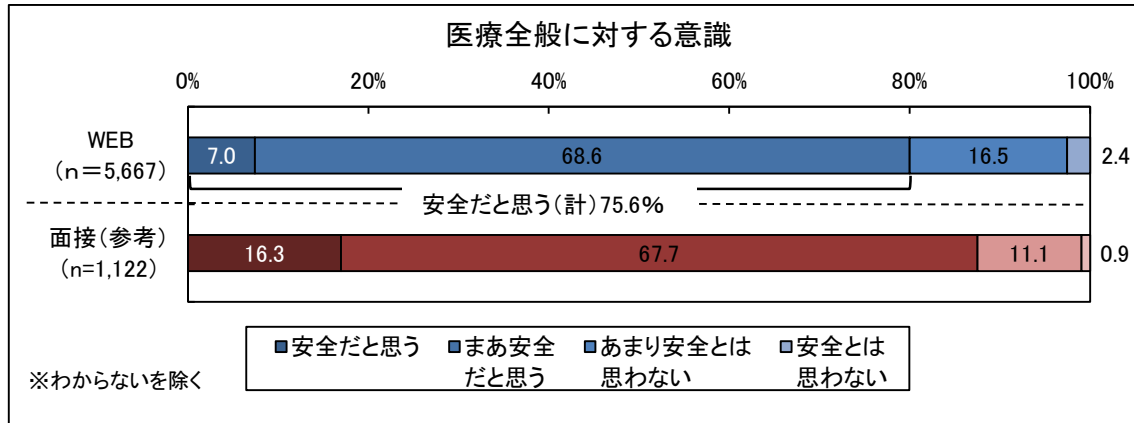


図 6-42 医師が心のケアまで行っていると思う人の割合



6-5-6 医療安全

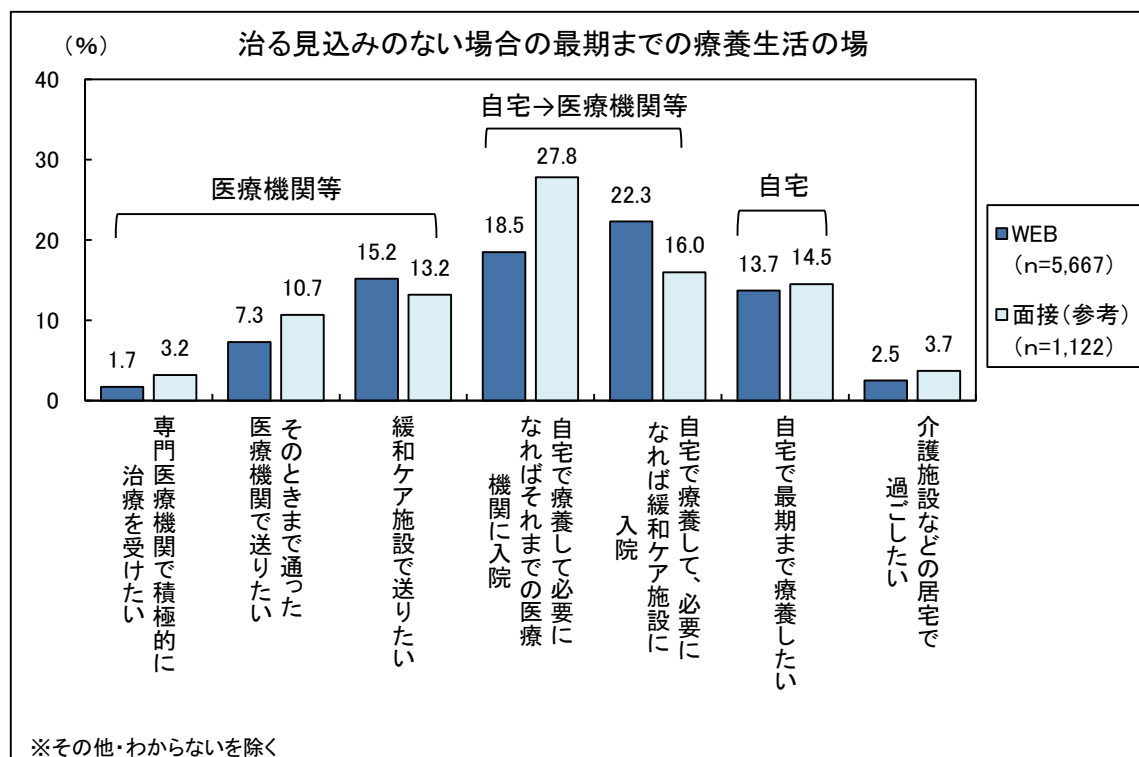
図 6-43 医療機関の安全性



6-6. その他の項目

6-6-1 療養の場所への意見

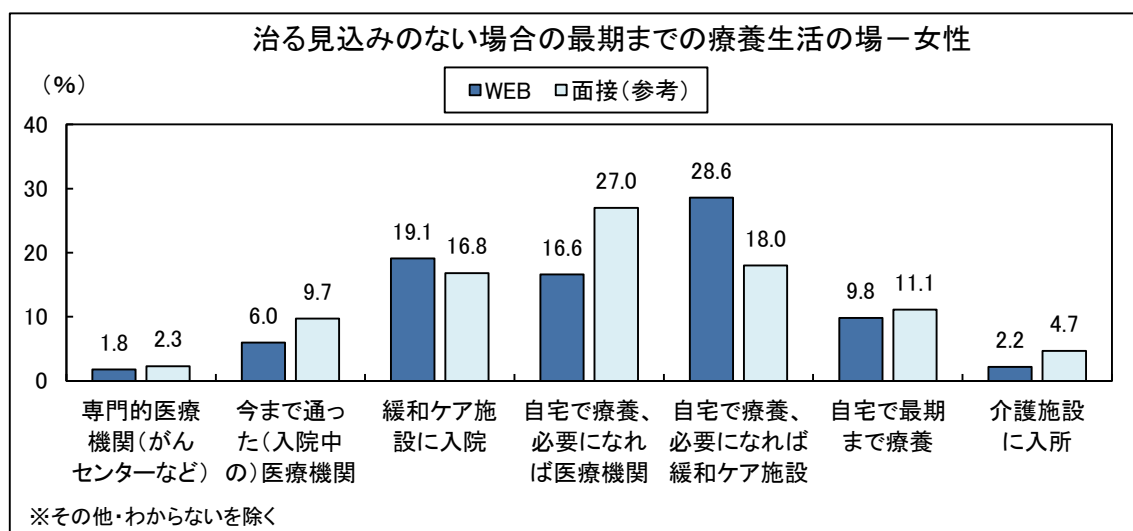
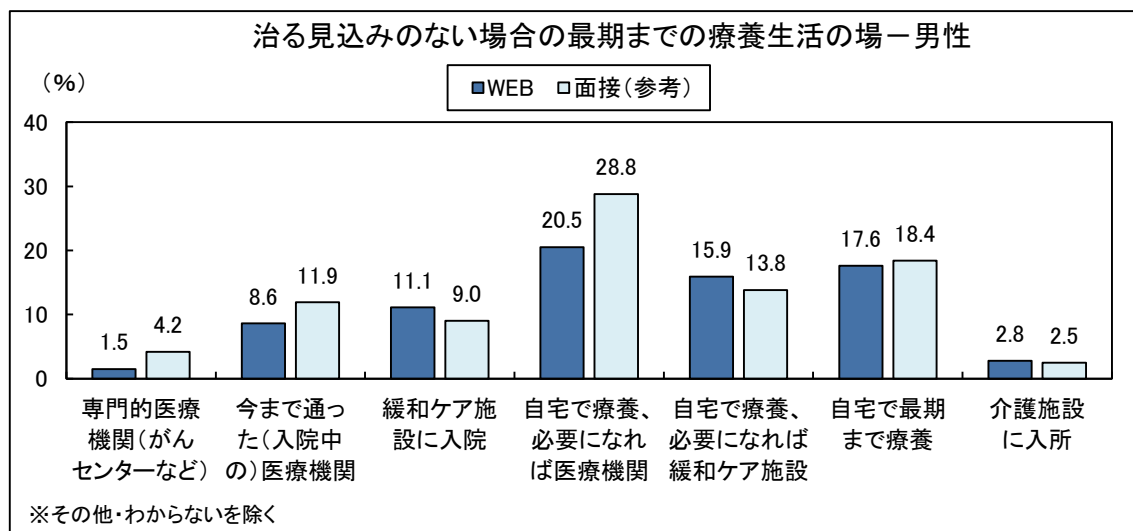
図 6-44 治る見込みがない場合に望む最期までの療養生活の場



設問: Q15 仮に、あなたご自身が治る見込みがなく、6 ヶ月程度あるいはそれより短い期間に死期が迫っていると告げられた場合、最期までの療養生活をどこで送りたいと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つお答えください。

- 1 今まで通った(または入院中の)医療機関で送りたい
- 2 緩和ケア施設(ホスピス緩和ケア病棟など終末期の症状緩和を目的とした施設)で送りたい
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア施設に入院したい
- 5 自宅で最期まで療養したい
- 6 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 7 介護施設(特養、老健)か老人ホームなどの施設に入所したい
- 8 その他() 9 わからない

図 6-45 治る見込みがない場合に望む最期までの療養生活の場—男女別



6-6-2 希望する介護の場とサービス提供者

図 6-46 介護を受けたい場所

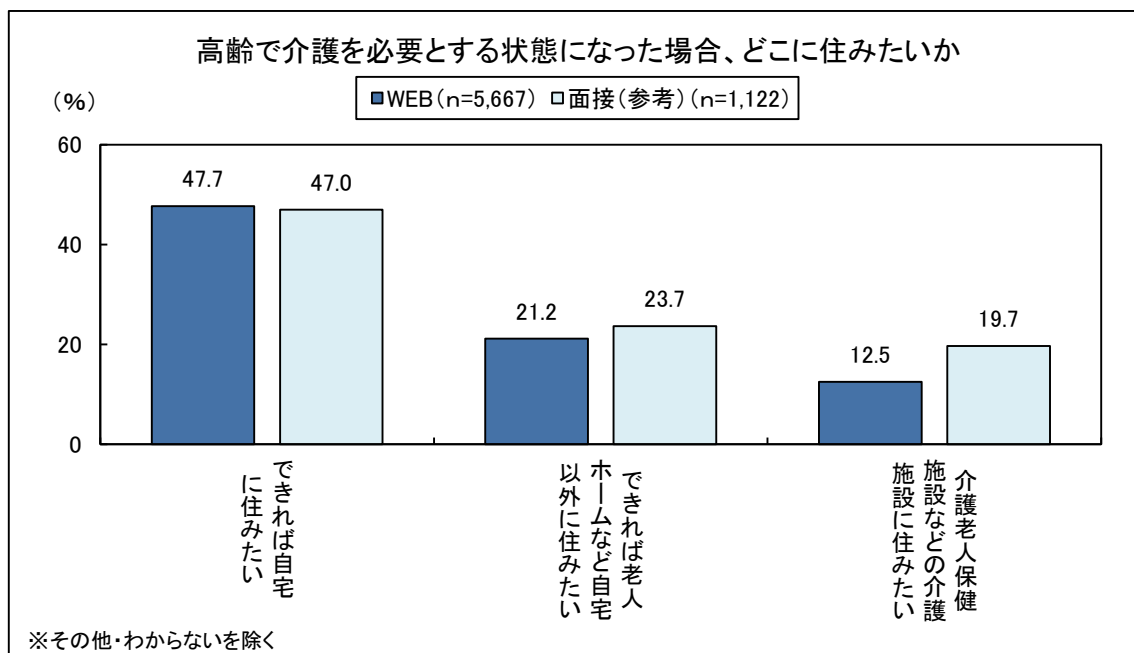
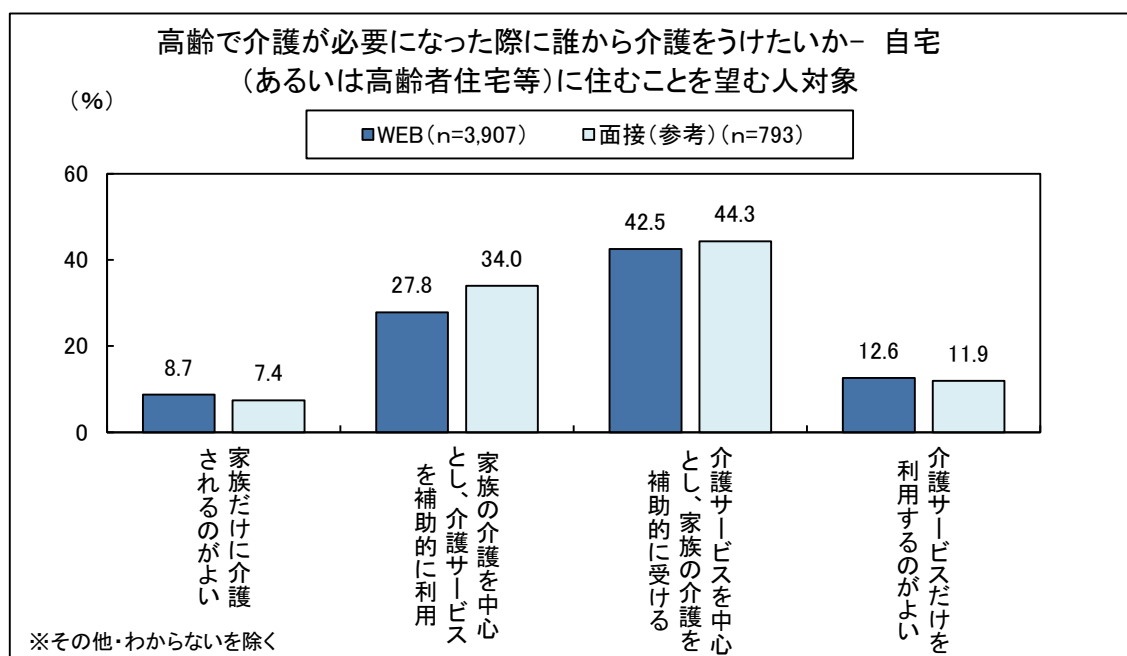
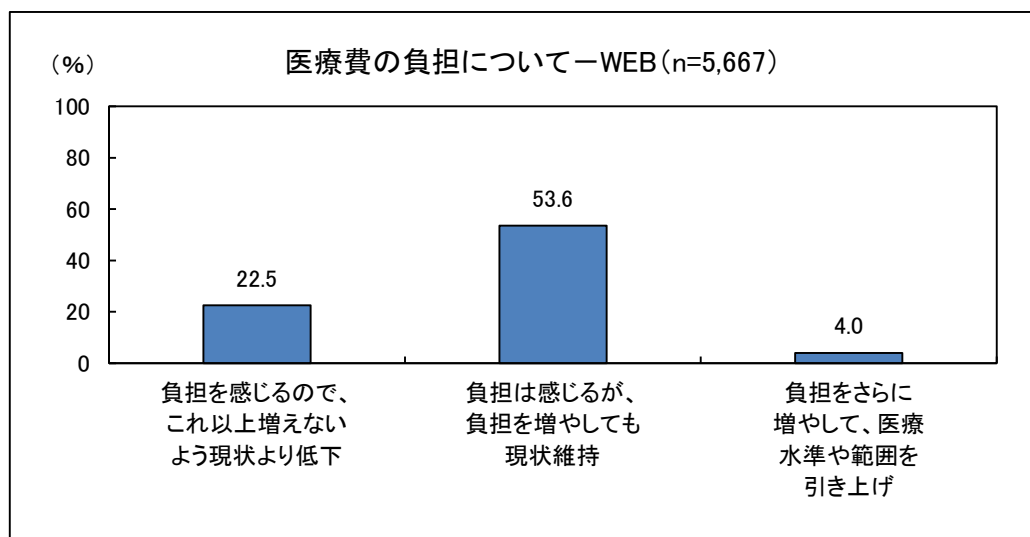


図 6-47 望む介護サービスの主体者



6-6-3 医療費の負担感

図 6-48 医療費の負担について



6-6-4 健康状態

図 6-49 現在の健康状態

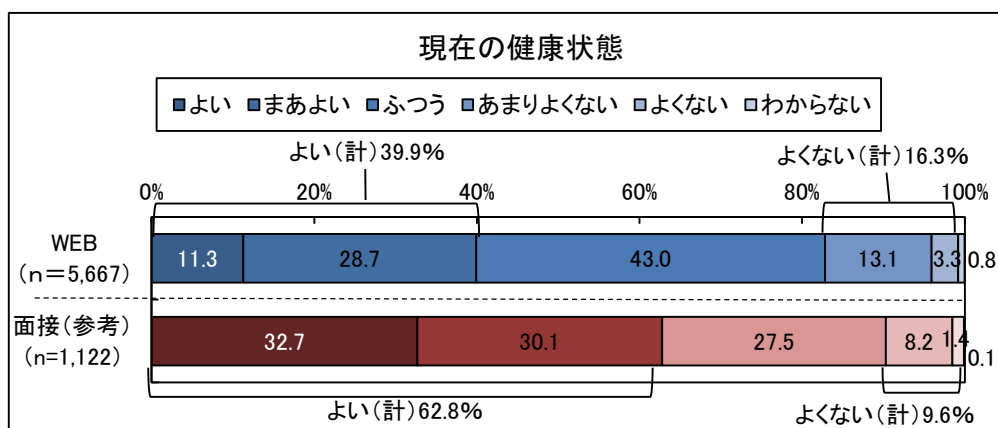
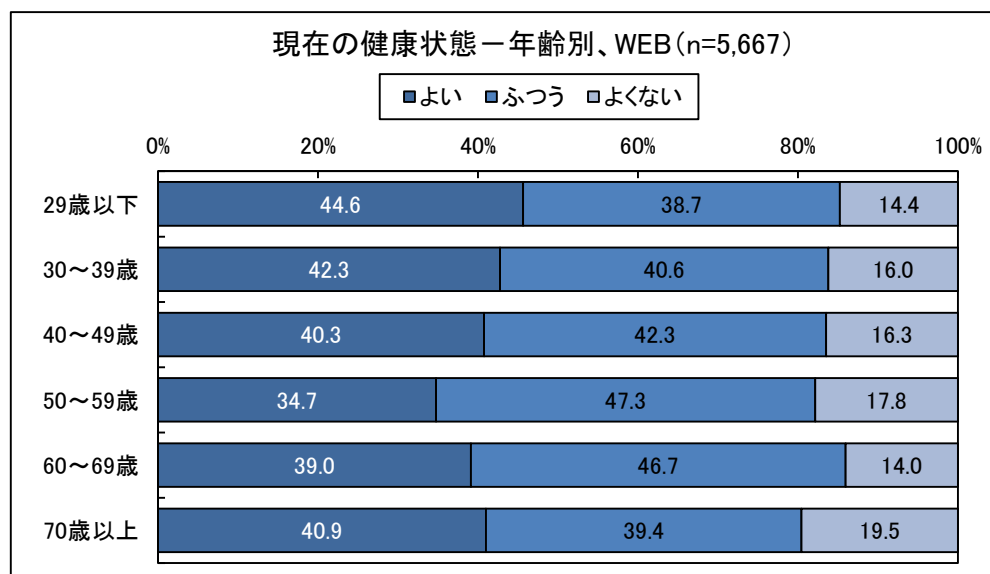


図 6-50 現在の健康状態一年齢別



6-6-5 医療制度等に関する知識

図 6-51 高額療養費制度について

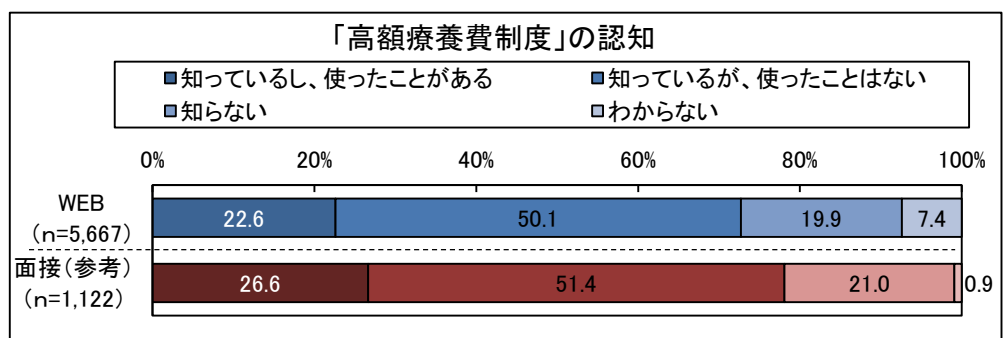


図 6-52 民間医療保険への加入

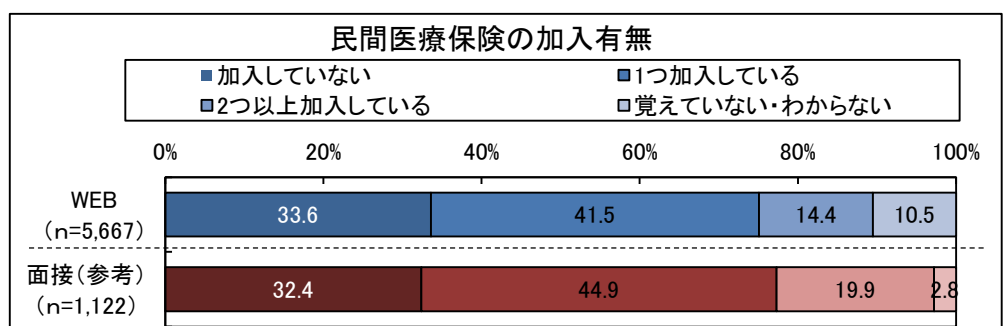


図 6-53 「地域包括ケア」についての認知度

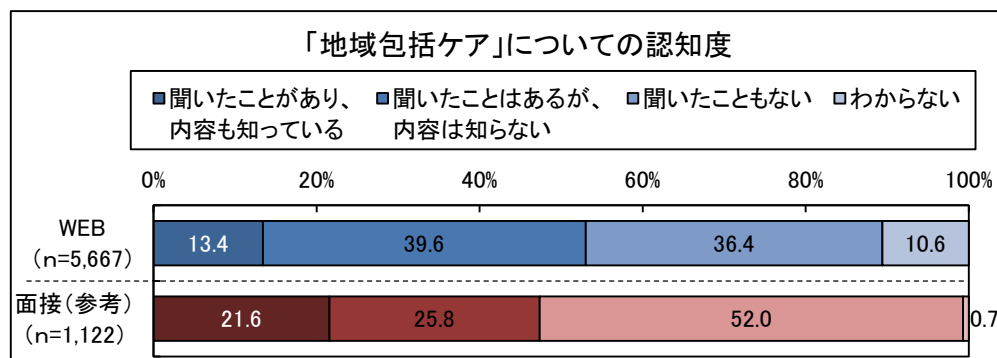


図 6-54 保険料の違いについての知識

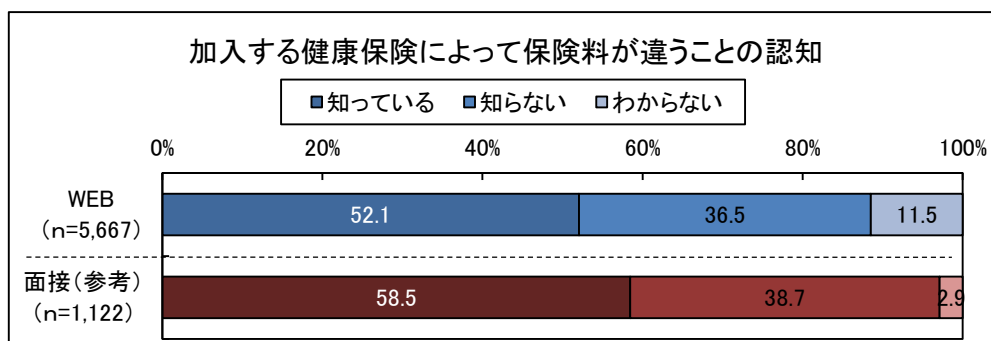
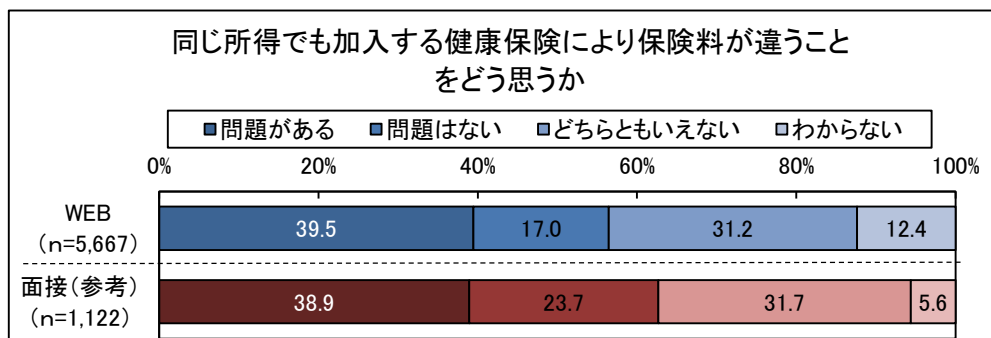


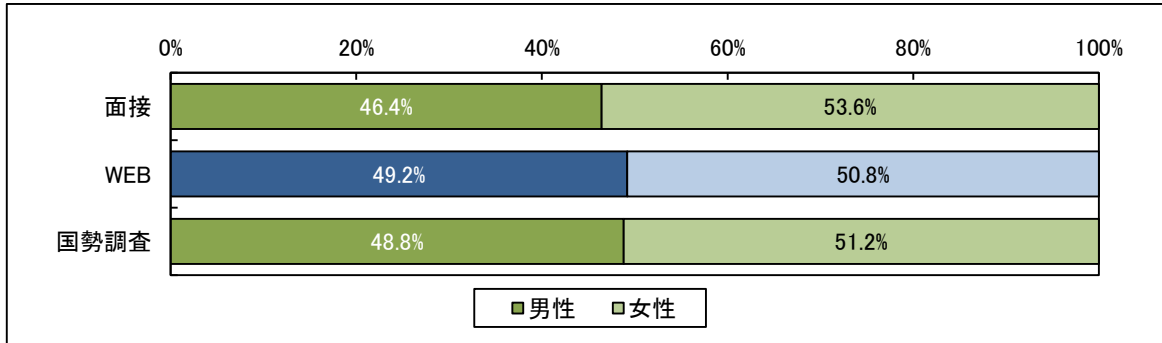
図 6-55 保険料率の格差について



7. 補足資料

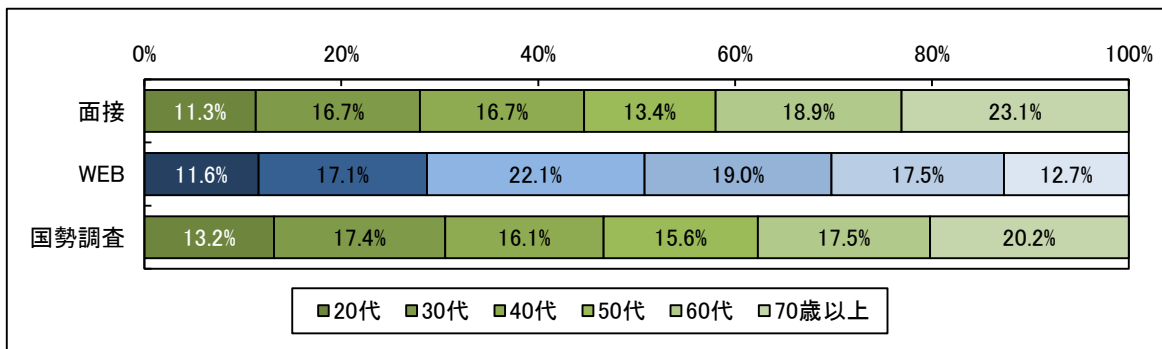
7-1.（参考）母集団との属性の比較

図 7-1 男女比



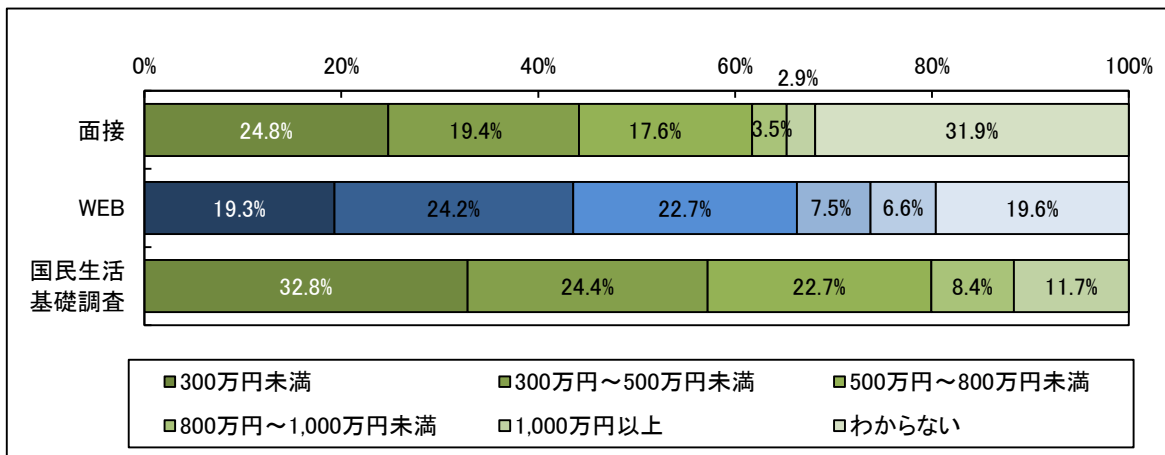
出所 総務省 「平成 22 年国勢調査」

図 7-2 年齢階級別構成比



出所 総務省 「平成 22 年国勢調査」

図 7-3 世帯収入



出所 総務省 「平成 23 年国民生活基礎調査」

図 7-4 居住地域

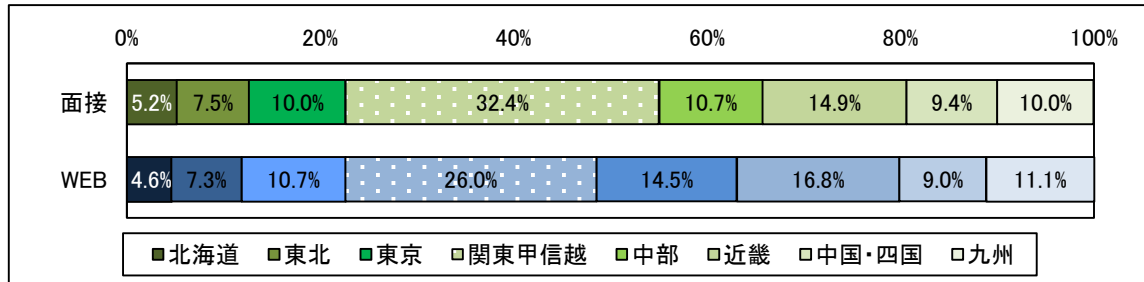


図 7-5 同居人数

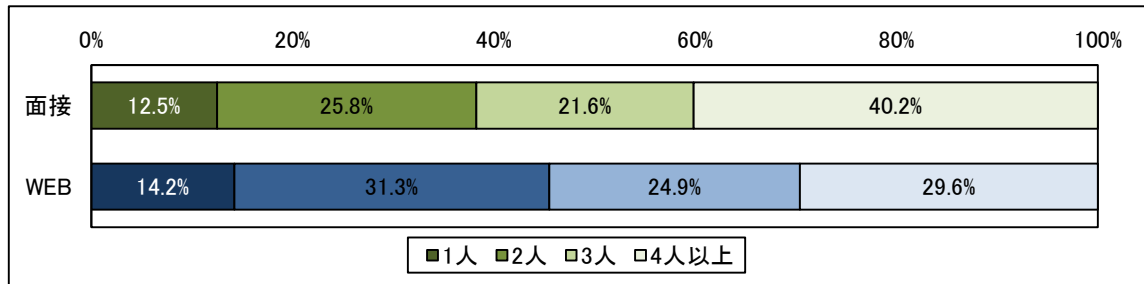


図 7-6 最近の受診時期

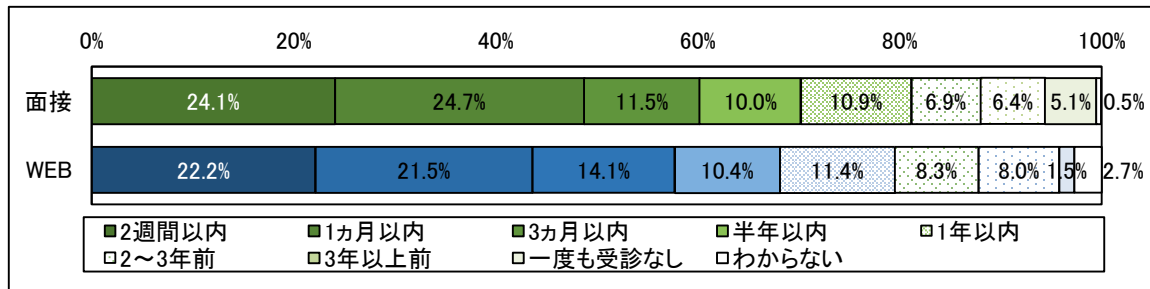
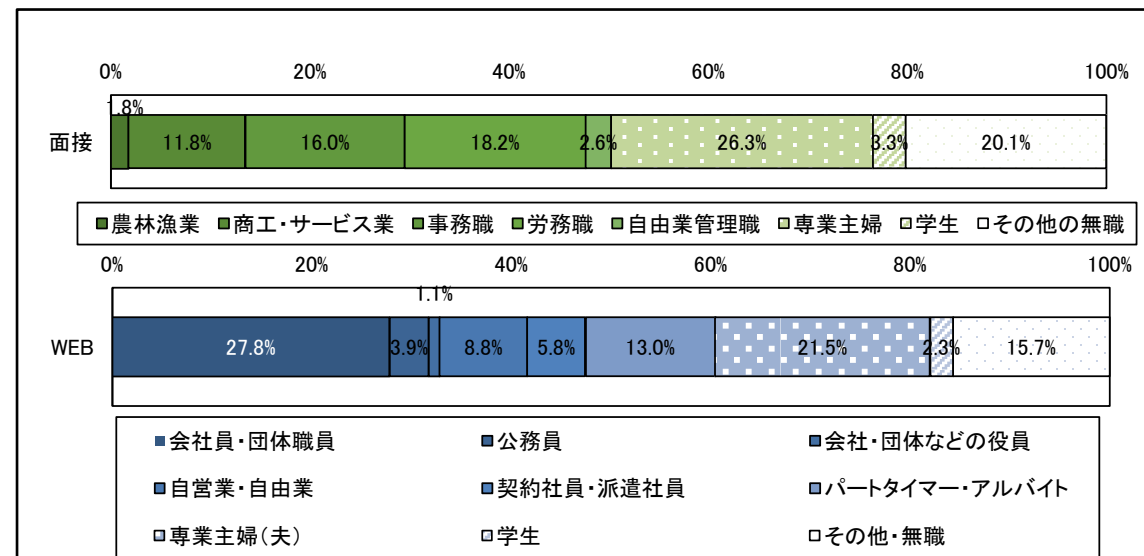


図 7-7 職業



7-2. (参考) 面接調査と WEB 調査統計分析結果

(参考) 表 7-1 分布の調整による補正結果

	面接調査	WEB調査		
		未調整	年齢・都市規模分布により調整	年齢・健康状態分布により調整
満足している人の割合				
医師の知識や技術	91.5%	76.0%	77.8%	81.3%
医師の説明	88.5%	75.8%	77.2%	80.7%
医師の態度や言葉使い	92.4%	79.5%	80.9%	83.5%
看護師の態度や言葉使い	91.8%	81.7%	83.1%	86.1%
待ち時間	61.5%	55.5%	56.5%	59.8%
診察日や診療時間	82.2%	71.1%	73.3%	76.5%
治療費	74.5%	61.4%	64.6%	68.0%
検査や画像診断	82.6%	67.5%	69.6%	72.9%
その他	89.6%	76.2%	78.1%	81.6%
治療方針の決定方法				
複数の治療方法の説明を聞いた上で、医師と相談しながら自身が決める	52.5%	48.8%	48.4%	51.8%
複数の治療方法の説明を聞いた上で、医師が決めた事に自身が同意する	25.0%	27.4%	28.0%	26.5%
複数の治療方法について説明を聞くが、治療方法はすべて医師に任せる	14.9%	8.6%	9.0%	8.8%
医師から治療方法について説明を聞くことなく、すべて医師に任せる	2.3%	2.0%	2.0%	2.0%
その他	0.4%	0.2%	0.3%	0.3%
特になし・わからない	4.9%	13.0%	12.4%	10.6%
健康状態				
よい	32.7%	11.3%	11.0%	32.7%
まあよい	30.1%	28.7%	29.4%	30.2%
ふつう	27.5%	43.0%	42.3%	27.5%
あまりよくない	8.2%	13.1%	13.3%	7.7%
よくない	1.4%	3.3%	3.3%	1.9%
わからない	0.1%	0.8%	0.8%	0.0%
満足 日本全体の医療全体への満足度				
	69.5%	48.7%	50.2%	58.9%

	面接調査	WEB調査		
		未調整	年齢・都市規模分布により調整	年齢・健康状態分布により調整
かかりつけ医の有無				
いる	53.7%	32.8%	36.3%	36.5%
いないがいたとよいと思う	17.8%	33.8%	32.4%	32.2%
いない	28.1%	28.7%	26.7%	28.0%
わからない	0.4%	4.7%	4.6%	3.4%
所得と医療の関係				
Aの考えに近い	72.0%	61.1%	62.7%	63.5%
Bの考えに近い	17.2%	19.7%	18.8%	19.9%
どちらともいえない	8.2%	14.0%	13.7%	12.8%
わからない	2.6%	5.2%	4.8%	3.7%
不安を感じる人の割合				
地域で夜間休日に医療を受けられる	34.0%	48.7%	49.0%	44.6%
地域で高水準のがん治療を受けられる	40.5%	54.0%	53.9%	50.4%
早期退院後、地域でリハビリや療養を受ける医療機関を探す	42.2%	57.7%	58.1%	54.6%
地域で医療と介護の一貫したサービスが受けられる	42.2%	58.9%	59.5%	56.4%
地域で適切な疾患予防や検診が受けられる	26.9%	44.7%	44.4%	40.5%
地域、国全体で人口減少と少子高齢化が急速に進むこと	66.2%	69.7%	71.5%	69.9%
希望する場所で最期を迎えられる	42.5%	58.0%	58.2%	54.9%
医療機関の受診のあり方				
Aの意見に賛成である	19.6%	15.8%	16.1%	17.7%
どちらかといえばAの意見に賛成である	7.6%	13.8%	13.3%	12.8%
どちらかといえばBの意見に賛成である	31.2%	35.9%	35.8%	35.9%
Bの意見に賛成である	38.7%	21.2%	22.8%	23.6%
どちらともいえない・わからない	2.9%	13.2%	12.0%	10.0%

	面接調査	WEB調査		
		未調整	年齢・都市規模分布により調整	年齢・健康状態分布により調整
日常的に気をつけていること				
定期的にかかりつけ医の診察を受けている	27.0%	17.6%	21.5%	20.3%
栄養バランスなど食生活に気をつけている	56.6%	48.7%	51.3%	56.2%
運動や体操をしている（ウォーキングなどを含む）	36.5%	33.7%	37.2%	40.6%
規則正しい生活を心がけている	47.9%	39.2%	43.1%	47.1%
休息や睡眠をとるようにしている	57.5%	47.6%	49.7%	53.8%
健康を考えてタバコを控えている・やめた	20.5%	19.2%	21.0%	21.9%
健康を考えてお酒を控えている・やめた	13.9%	13.5%	14.4%	15.1%
サプリメントやトクホなどを定期的に摂取している	15.9%	21.9%	22.3%	21.8%
新聞・テレビなどで健康の情報や知識を得るようにしている	32.0%	23.4%	26.5%	28.0%
健康診断（定期健診、特定健診など）を定期的に受けるようにしている	41.9%	35.9%	39.5%	40.7%
その他	0.1%	0.5%	0.6%	0.6%
特にない・わからない	7.1%	14.4%	12.8%	10.2%

(参考)図 7-8 年代別・健康状態別 回答者割合の比較

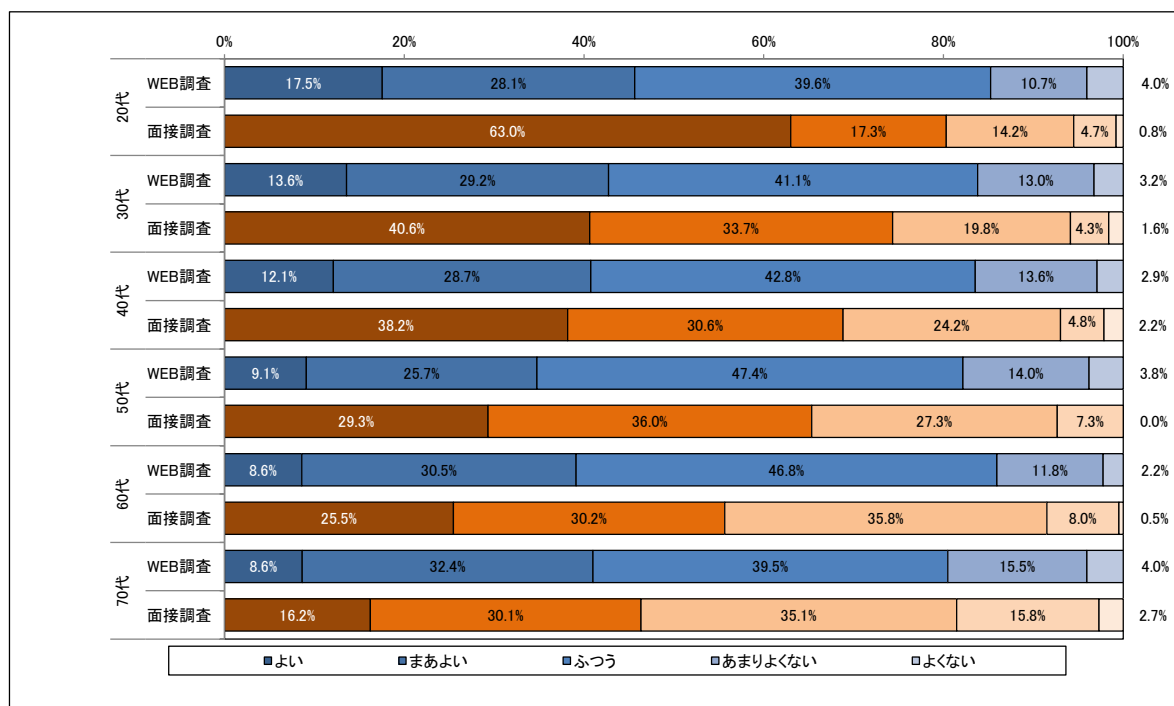
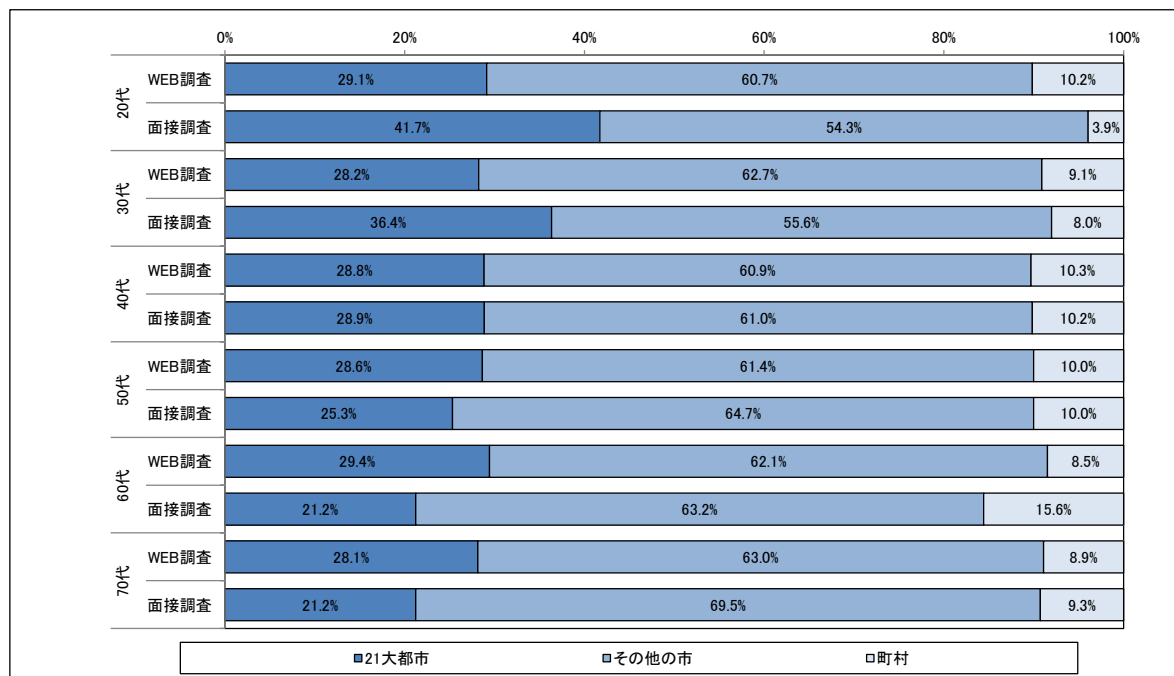


図 7-9 年代別・都市規模別 回答者割合の比較



7-3. 面接調査調査票

【全員に】

※基数表示のないものはn=1,122

健康や医療についておうかがいします。

Q 1. 【回答票 1】 あなたが一番最近、医療機関で受診されたのは、いつごろですか。けが、出産、健康診断を含みますが、歯科はのぞいてお答えください。

24.1 (ア) 2週間以内	10.0 (エ) 半年以内	6.4 (キ) 3年より前	} → (Q 2へ)
24.7 (イ) 1ヵ月以内	10.9 (オ) 1年以内	5.1 (ク) 一度も受診したことがない	
11.5 (ウ) 3ヵ月以内	6.9 (カ) 3年以内	0.5 わからない	

S Q 1. 一番最近に受診されたのは、医院や診療所でしたか。それとも病院でしたか。

n=1,059	55.3	43.3	1.3
	医院・診療所	病 院	忘れた・わからない

S Q 2. 【回答票 2】 一番最近に受診された医院・診療所や病院についておうかがいします。ここにあげた(1)～(9)のそれぞれの事柄に、どの程度満足していますか。それぞれについて、最もあてはまるものを1つずつお答えください。

【調査員注：(1)～(9)すべてについて聞くこと】

	(ア) 満足 している	(イ) まあ満足 している	(ウ) あまり 満足して いない	(エ) 満足して いない	わから ない
n=1,059					
(1) 医師の知識や技術について	36.6	54.9	5.0	1.0	2.5
(2) 医師の説明のわかりやすさについて	38.1	50.4	9.3	1.1	1.1
(3) 医師の態度や言葉使いについて	43.1	49.3	5.8	0.9	0.9
(4) 看護師の態度や言葉使いについて	41.8	50.0	5.9	0.8	1.4
(5) 待ち時間について	21.3	40.1	26.0	11.6	0.9
(6) 診察日・診療時間について	31.0	51.2	13.2	3.4	1.2
(7) 治療費について	23.9	50.6	18.2	4.9	2.4
(8) 検査や画像診断について	27.1	55.5	7.8	1.4	8.1
(9) それでは、総合的にみた場合	26.7	62.9	8.4	0.9	1.0

【Q 1 S Q 2 (9) で「3・4 満足していない」と答えた人に】

S Q 3. 【回答票 3】 あなたが、「満足していない」と感じるのは特にどのような点ですか。次の中から3つまで選んでください。(3 M.A.)

n=99	25.3 (ア) 医師の知識や技術	25.3 (カ) 診察日や診療時間
	43.4 (イ) 医師の説明	41.4 (キ) 治療費
	29.3 (ウ) 医師の態度や言葉使い	14.1 (ク) 検査や画像診断
	8.1 (エ) 看護師の態度や言葉使い	4.0 (ケ) その他(具体的に)
	44.4 (オ) 待ち時間	1.0 特にな
		— わからない

【全員に】

病院や医院・診療所で診療を受けられたときのことについておうかがいします。

Q 2. 【回答票 4】 あなたは、患者一人ひとりの性格や立場、本人の希望といった個別状況に応じた医療が行われていると思いますか。この中から1つだけお答えください。

19.5	47.2	21.7	5.0	6.5
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
そう思う	まあそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わない	わからない

Q 3. 【回答票 4】 あなたは、医師は患者の症状を治すだけではなく、心のケアまで行っていると思いますか。この中から1つだけお答えください。

10.3	31.0	35.9	15.0	7.8
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
そう思う	まあそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わない	わからない

Q 4. [回答票 5] 比較的重い病気の治療方針の決定に際して、あなたのお考えは次のうちどれに近いですか。

この中から 1 つだけお答えください。

- 52.5 (ア) 医師から複数の治療方法について説明を聞いた上で、医師と相談しながら自身が決める
 25.0 (イ) 医師から複数の治療方法について説明を聞いた上で、医師が決めたことに自身が同意する
 14.9 (ウ) 医師から複数の治療方法について説明を聞くが、治療方法についてはすべて医師に任せる
 2.3 (エ) 医師から治療方法について説明を聞くことなく、すべて医師に任せる
 0.4 (オ) その他 (具体的に)
 4.9 特にない・わからない

Q 5. [回答票 6] あなたの現在の健康状態はいかがですか。この中から 1 つだけお答えください。

- | | | | | | |
|------|------|------|---------|------|-------|
| 32.7 | 30.1 | 27.5 | 8.2 | 1.4 | 0.1 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) | |
| よい | まあよい | ふつう | あまりよくない | よくない | わからない |

Q 6. [回答票 7] あなたは日本の医療全般について満足していますか。この中から 1 つだけお答えください。

- | | | | | |
|-----------|----------|---------|-----------|-------|
| 10.1 | 59.4 | 20.5 | 3.2 | 6.8 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | |
| 満足している | まあ満足している | やや不満である | 不満である | わからない |
| → (Q 7 へ) | | ↓ | → (Q 7 へ) | |

S Q. [回答票 8] あなたが、日本の医療全般について「不満である」と感じるのは、特にどのような点ですか。

この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- n = 266
- 17.7 (ア) 医療の技術 (提供される医療技術)
 30.5 (イ) 医療提供者 (医師、看護師など) の応対 (コミュニケーションや診察時間)
 31.2 (ウ) 医療の安全性 (医療事故など)
 38.7 (エ) 効率性・利便性 (待ち時間など)
 39.5 (オ) 医師の体制 (医師不足や連携など)
 24.8 (カ) 情報の開示 (病気や医療機関の情報など)
 8.3 (キ) 快適性 (施設の環境)
 34.2 (ク) 国全体の医療費抑制策 (国の医療費増大を抑える政策)
 50.4 (ケ) 国民の医療費負担 (国民が負担する医療費)
 4.5 (コ) その他 (具体的に)
 0.4 特にない
 1.9 わからない

【全員に】

Q 7. [回答票 9] 全般的に見て、あなたは日本の医療機関の安全性をどう思いますか。この中から 1 つだけお答えください。

- | | | | | |
|--------|----------|-------------|----------|-------|
| 16.3 | 67.7 | 11.1 | 0.9 | 3.9 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | |
| 安全だと思う | まあ安全だと思う | あまり安全とは思わない | 安全とは思わない | わからない |

Q 8. [回答票 10] あなたは、今後の医療提供体制において重点を置くべき点はどのようなことだと思いますか。

この中から 3 つまであげてください。(3 M.A.)

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 49.6 (ア) 夜間や休日の診療や救急医療体制の整備 | 20.4 (カ) 訪問診療やホームヘルパー派遣など
在宅医療の整備 |
| 56.4 (イ) 高齢者などが長期入院するための入院施設
や介護老人保健施設などの整備 | 6.7 (キ) 遺伝子治療などの先進医療の促進 |
| 33.3 (ウ) 医療従事者 (医師、看護師など) の資質の向上
(診療能力や対話能力など) | 24.3 (ク) 医療従事者 (医師、看護師など) の確保 |
| 26.5 (エ) 心のケアや心の健康を保つための医療の整備 | 11.3 (ケ) 施設の環境整備や管理体制の強化 |
| 25.5 (オ) 地域の診療所と病院の連携 | 1.0 (コ) その他 (具体的に) |
| | 2.9 わからない |

次に、かかりつけ医についておうかがいします。

Q 9. [回答票 11] かかりつけ医は、一般に健康のことを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関へ紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師のことです。あなたには、かかりつけの医師がいますか。この中から1つだけお答えください。

53.7	17.8	28.1	0.4
(ア)	(イ)	(ウ)	
い る	いないが	いない	わからない
	いるとよいと思う		
↓			
			→ (S Q 4 へ)

S Q 1. [回答票 12] あなたにとって、かかりつけ医はどういう医師ですか。この中からあてはまるものをすべてあげてください。(M.A.)

63.5	(ア) 現在あるいは以前にかかった病気の主治医
36.0	(イ) 健康について何か心配があるときに幅広く診てもらう医師
27.2	(ウ) 病気を限定せずに総合的に診てくれる医師
1.0	(エ) その他 (具体的に)
0.3	わからない

S Q 2. あなたには、身近なかかりつけ医は、何人いますか。

n=603	74.6	18.1	7.3
	1 人	2 人	3 人以上

S Q 3. [回答票 13] あなたは、あなたのかかりつけ医に満足していますか。この中から1つだけお答えください。複数人いる方は、もっともよくかかる医師についてお答えください。

48.6	48.8	2.3	—	0.3
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である	わからない

【Q 9で2～4を答えた人に】

S Q 4. [回答票 14] あなたにかかりつけ医がいないのはどうしてですか。この中からあてはまるものをすべてあげてください。(M.A.)

9.6	(ア) かかりつけ医を選ぶための情報が不足しているから
13.3	(イ) かかりつけ医をどう探してよいかわからないから
44.5	(ウ) その都度、受診する医療機関を選びたいから
17.3	(エ) いつも行く医療機関はあるが、受診する医師は決まっていないから
12.1	(オ) その他 (具体的に)
17.7	特に理由はない・わからない

【全員に】

Q10. 【回答票 15】 あなたはかかりつけ医にどのような医療や体制を望んでいますか。次の(1)～(11)について、あなたのお気持ちに近いものを、それぞれ1つずつお答えください。かかりつけ医がない方もお答えください。

【調査員注：(1)～(11)すべてについて聞くこと】

	(ア) そう思う	(イ) まあ そう思う	(ウ) どちらとも いえない	(エ) あまり そう思わない	(オ) そう 思わない	わから ない
(1) どんな病気でもまずは診療できる	49.1	32.9	11.6	3.6	2.4	0.4
(2) 必要なときはすぐに専門医や 専門施設に紹介する	65.8	27.5	4.8	0.9	0.2	0.8
(3) 患者情報を紹介先に適時適切 に提供する	58.0	29.0	8.9	1.8	0.5	1.8
(4) 夜間休日の電話相談を行う	31.1	25.8	23.5	10.1	5.5	4.0
(5) 夜間休日の診療を行う	33.6	26.1	21.6	8.9	6.2	3.6
(6) 定期健診や検診	43.9	32.7	14.9	4.5	2.1	2.0
(7) 生活習慣病など 予防のための助言	43.3	35.7	13.9	3.1	2.0	2.0
(8) うつ病などを含むこころの 病気のカウンセリング	28.4	26.9	27.8	7.0	5.3	4.6
(9) 不在時には別の医師が 診療してくれる 24 時間体制	31.7	26.0	21.5	9.1	8.7	2.9
(10) 往診や訪問診療などの在宅医療	30.2	29.6	22.2	8.7	6.4	2.9
(11) 最期の看取りをする	26.3	21.6	27.5	8.3	9.1	7.2

Q11. 【回答票 16】 ここに、A・B 2つの意見があります。あなたのお考えに近いのはどちらですか。

- A 所得の高い低いにかかわらず、受けられる医療の中身(治療薬や治療法)は同じであるほうがよい
B 所得の高い低いによって、受けられる医療の中身(治療薬や治療法)が異なることはやむを得ない

72.0	17.2	8.2	2.6
(ア)	(イ)	(ウ)	
Aの考えに近い	Bの考えに近い	どちらともいえない	わからない

Q12. あなたは、同じ所得の人でも加入する健康保険によって保険料が違うことを知っていますか。

58.5	38.7	2.9
知っている	知らない	わからない

Q13. 【回答票 17】 それでは、同じ所得の人でも加入する健康保険によって保険料が違うことについてどのように思いますか。この中から1つだけお答えください。

38.9	23.7	31.7	5.6
(ア)	(イ)	(ウ)	
問題がある	問題はない	どちらともいえない	わからない

Q14. 【回答票 18】 あなたは、「高額療養費制度」を知ってますか。

- 26.6 (ア) 知っているし、使ったことがある
51.4 (イ) 知っているが、使ったことはない
21.0 (ウ) 知らない
0.9 わからない

Q15.【回答票 19】あなたは、がん保険や生命保険の医療特約などを含む民間医療保険に加入していますか。

この中から 1 つだけお答えください。

- 32.4 (ア) 加入していない
44.9 (イ) 1 つ加入している
19.9 (ウ) 2 つ以上加入している
2.8 覚えていない・わからない

続いて、高齢社会に望む医療・介護についておうかがいします。

Q16.【回答票 20】あなたが、高齢で介護を必要とする状態になった場合、どこに住みたいと思いますか。

この中から 1 つだけお答えください。

- 47.0 (ア) できれば自宅に住みたい
23.7 (イ) できれば老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの自宅以外の居宅に住みたい
19.7 (ウ) 介護老人保健施設や特別養護老人ホームなどの介護施設に住みたい
0.4 (エ) その他（具体的に) } → (Q17へ)
9.2 わからない

S Q.【回答票 21】あなたが、高齢で介護を必要とする状態になった場合、どのような形の介護を受けたいですか。この中から 1 つだけお答えください。なお、介護サービスにはホームヘルパー、通所介護などを含みます。

n = 793

- 7.4 (ア) 家族だけに介護されるのがよい
34.0 (イ) 家族の介護を中心とし、介護サービスを補助的に利用するのがよい
44.3 (ウ) 介護サービスを中心とし、家族による介護を補助的に受けるのがよい
11.9 (エ) 介護サービスだけを利用するのがよい
0.1 (オ) その他（具体的に)
2.3 わからない

【全員に】

Q17.【回答票 22】高齢化が進み、わが国では認知症患者の増加が見込まれています。あなたは認知症について、身近な問題として関心がありますか。この中から 1 つだけお答えください。

- | | | | | |
|-------|---------|----------|-----------|-------|
| 57.1 | 31.3 | 9.4 | 2.0 | 0.2 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | |
| 関心がある | やや関心がある | あまり関心がない | まったく関心がない | わからない |

Q18.【回答票 23】あなたは、「地域包括ケア」という言葉を聞いたことがありますか。この中から 1 つだけお答えください。

- 21.6 (ア) 聞いたことがあります、内容も知っている
25.8 (イ) 聞いたことはあるが、内容は知らない
52.0 (ウ) 聞いたこともない
0.7 わからない

Q19. 【回答票 24】 仮に、あなたご自身が治る見込みがなく、余命が半年ぐらいに迫っていると告げられた場合、
^{さいご}
 最期までの療養生活をどこで送りたいと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つだけお答え
 ください。

- 10.7 (ア) そのときまで通った（または入院中の）医療機関で送りたい
 13.2 (イ) 緩和ケア施設（ホスピス緩和ケア病棟など終末期の症状緩和を目的とした施設）で送りたい
 27.8 (ウ) 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
 16.0 (エ) 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア施設に入院したい
 14.5 (オ) 自宅で最期まで療養したい
 3.2 (カ) 専門医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療を受けたい
 3.7 (キ) 介護施設（老健や特養など）か老人ホーム、サービス付き高齢者住宅などの居宅で過ごしたい
 0.4 (ク) その他（具体的に）
 10.5 わからない → (Q20へ)

S Q. 【回答票 25】 その場合、あなたは医療機関や施設で、宗教も含めた精神面のサポートを望みますか。
 この中から1つだけお答えください。

n = 1,004	12.5	34.2	30.4	18.6	4.4
	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	強く望む	やや望む	あまり 望まない	まったく 望まない	わからない

【全員に】

Q20. 【回答票 26】 あなたは、ここにあげた(1)～(7)について、不安をどれくらい感じますか。それぞれについて、
 最もあてはまるものを1つずつお答えください。

【調査員注：(1)～(7)すべてについて聞くこと】

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	まったく 不安は 感じない	あまり 不安を 感じない	やや 不安を 感じる	とても 不安を 感じる	わから ない
(1) あなたの住んでいる地域で、夜間や休日に 医療を受けられること →	14.3	49.4	29.1	4.9	2.3
(2) あなたの住んでいる地域で、高水準のがん治療が 受けられること →	10.4	41.5	30.0	10.4	7.6
(3) 病院から早期退院した後に、あなたの住んでいる 地域で、リハビリや療養を受ける医療機関を 探すこと →	10.7	41.6	34.6	7.6	5.5
(4) あなたの住んでいる地域で、医療と介護の 一貫したサービスが受けられること →	11.1	39.8	35.7	6.5	7.0
(5) あなたの住んでいる地域で、適切な疾患予防や 検診が受けられること →	14.5	54.0	23.5	3.4	4.5
(6) あなたの住んでいる地域、あるいは国全体で、 人口減少と少子高齢化が急速に進むこと →	5.9	23.8	40.1	26.1	4.1
(7) あなたが希望する場所で最期を迎えられること →	10.2	38.8	34.5	8.0	8.6

Q21. [回答票 27] 医療機関の受診のあり方として、次のAとBの2つの考え方について議論されています。
あなたはどちらに賛成しますか。

- A 病気の程度に関わらず、自分の判断で選んだ医療機関を受診する
B 最初にかかりつけ医など決まった医師を受診し、その医師の判断で必要に応じて
専門医療機関を紹介してもらい受診する

- 19.6 (ア) Aの意見に賛成である
7.6 (イ) どちらかといえばAの意見に賛成である
31.2 (ウ) どちらかといえばBの意見に賛成である
38.7 (エ) Bの意見に賛成である
2.9 どちらともいえない・わからない

Q22. [回答票 28] あなたは、自分の診療の情報が複数の医療機関の間で共有されることについてどう思いますか。
この中からあてはまるものを3つまであげてください。(3 M.A.)

- 69.3 (ア) 重複する検査や治療を減らせると思う
63.2 (イ) 薬の重複や飲み合わせの問題を防げると思う
58.4 (ウ) 他の医療機関に受診する際にも病歴の説明などが不要でよいと思う
13.9 (エ) 個人情報に漏えいするリスクが心配である
18.1 (オ) どのような情報までが共有されるのか心配である
0.2 (カ) その他(具体的に)
7.5 わからない

Q23. [回答票 29] あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。この中から1つだけお答えください。

22.9	63.8	11.4	1.4	0.4
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である	わからない

Q24. (1) あなたを含めて、一緒に暮らしているかたは、合計で何人いますか。

あなたを含めて	3.1	人	12.5	一人暮らし	2人 25.8	5人 12.1
					3人 21.6	6人以上 5.3
					4人 22.8	

(2) では、あなたを含めて、75歳以上で一緒に暮らしているかたは何人いますか。

あなたを含めて	0.3	人	74.2	75歳以上の人はいない	1人 17.6
					2人以上 8.1

次に、日常の健康管理についてお教えてください。

Q25. [回答票 30] あなたが日常的に気をつけていることについてお教えてください。この中からあてはまるものをすべてあげてください。(M.A.)

- 27.0 (ア) 定期的にかかりつけ医の診察を受けている
56.6 (イ) 栄養バランスなど食生活に気をつけている
36.5 (ウ) 運動や体操をしている(ウォーキングなどを含む)
47.9 (エ) 規則正しい生活を心がけている
57.5 (オ) 休息や睡眠をとるようにしている
20.5 (カ) 健康を考えてタバコを控えている・やめた
13.9 (キ) 健康を考えてお酒を控えている・やめた } ※分析には使用せず。
15.9 (ク) サプリメントやトクホなどを定期的に摂取している
32.0 (ケ) 新聞・テレビなどで健康の情報や知識を得るようにしている
41.9 (コ) 健康診断(定期健診、特定健診、人間ドックなど)を定期的に受けるようにしている
0.1 (サ) その他(具体的に)
7.1 特にない・わからない

Q26.〔回答票 31〕あなたが加入している健康保険の種類は何ですか。

39.7 (ア) 国民健康保険 (自営業や農業、自由業、非正規雇用者など)

27.5 (イ) 組合健保 (大企業の従業員やその扶養家族など)

10.5 (ウ) 協会けんぽ (中小企業の従業員やその扶養家族など)

6.3 (エ) 共済組合 (公務員、教職員やその扶養家族など)

13.5 (オ) 後期高齢者医療制度 (75歳以上)

0.5 (カ) その他 (具体的に)

1.9 覚えていない・わからない

Q27.〔回答票 34〕1年間のお宅の収入は、ボーナスや臨時収入を含め、税込みでおよそどのくらいになりますか。
おさしつかえなければ、この中からお答えください。

10.8 (ア) 200万円未満

3.5 (カ) 800万円～1,000万円未満

14.0 (イ) 200万円～300万円未満

2.9 (キ) 1,000万円以上

19.4 (ウ) 300万円～500万円未満

31.9 わからない

17.6 (エ) 500万円～800万円未満

F 1. (職 業) あなたの職業をお聞かせください。

1.8	11.8	16.0	18.2	2.6	26.3	3.3	20.1
農林漁業 (家族従業を含む)	商工・サービス業 (家族従業を含む)	事務職	労務職	自由業 管理職	無職の主 婦	学 生	その他 無 職

F 2. (性 性)

46.4	53.6
男 性	女 性

F 3. (年 齢)

53.3 歳	29 歳以下 11.3	50～59 歳 13.4
	30～39 歳 16.7	60～69 歳 18.9
	40～49 歳 16.7	70 歳以上 23.1

F 4. (教 育) 学校はどこまで行きましたか。

11.3	50.8	37.7	0.2
(新) 中 学	(新) 高 校	(新) 短大・大学	不明
(旧) 小・高小	(旧) 中 学	(旧) 高 専 大	

7-4. WEB 調査調査票

※基数表示のないものは n = 5, 667

F 1. (性) あなたの性別をお答えください。

49.2

男 性

50.8

女 性

F 2. (年 齢) あなたの年齢をお答えください。

49.5

歳

20 代	11.6	50 代	19.0
30 代	17.1	60 代	17.5
40 代	22.1	70 代	12.7

F 3. (職 業) あなたの職業をお聞かせください。

27.8

会社員・
団体職員

3.9

公務員

1.1

会社・団体
などの役員

8.8

自営業・
自由業

5.8

契約社員・
派遣社員

13.0

パートタイマー・
アルバイト

21.5

専業主婦
(夫)

2.3

学生

14.6

無職

1.1

その他

F 4. (業務内容) 「会社員・団体職員」「公務員」「契約社員・派遣社員」「パートタイマー・アルバイト」と答えた方
n = 2, 866 にかかっています。

あなたの業務内容として、もっともあてはまるものをお答えください。

52.6

事務職

18.8

商工・サービス業

28.5

労務職

F 4. (教 育) 学校はどこまで行きましたか。現在学生の方は、在学中の学校をお答えください。

2.4

中 学

30.8

高等学校

12.6

高等専門学校
・短期大学

11.1

専門学校

38.5

大学

4.3

大学院

0.3

その他

【全員に】

健康や医療についておうかがいします。

Q 1. 【回答票 1】 あなたが一番最近、医療機関で受診されたのは、いつごろですか。けが、出産、健康診断を含みますが、歯科はのぞいてお答えください。

22.2 (ア) 2週間以内	10.4 (エ) 半年以内	8.0 (キ) 3年より前	} → (Q 2へ)
21.5 (イ) 1ヵ月以内	11.4 (オ) 1年以内	1.5 (ク) 一度も受診したことがない	
14.1 (ウ) 3ヵ月以内	8.3 (カ) 3年以内	2.7 わからない	

Q 2. 一番最近に受診されたのは、医院や診療所でしたか。それとも病院でしたか。

n = 5,431	66.4	28.9	4.8
	医院・診療所	病 院	忘れた・わからない

Q 3. 一番最近に受診された医院・診療所や病院についておうかがいします。ここにあげた (1)～(9)のそれぞれの事柄に、どの程度満足していますか。それぞれについて、最もあてはまるものを1つずつお答えください。

	(ア) 満足 している	(イ) まあ満足 している	(ウ) あまり 満足して いない	(エ) 満足して いない	わから ない
n = 5,431					
(1) 医師の知識や技術について	13.4	62.6	15.2	4.0	4.8
(2) 医師の説明のわかりやすさについて	14.0	61.8	17.0	4.1	3.1
(3) 医師の態度や言葉使いについて	18.0	61.5	14.0	3.9	2.7
(4) 看護師の態度や言葉使いについて	17.3	64.5	12.0	2.9	3.4
(5) 待ち時間について	10.1	45.4	25.6	17.1	1.9
(6) 診察日・診療時間について	12.6	58.4	19.4	7.2	2.4
(7) 治療費について	10.1	51.3	23.3	11.8	3.6
(8) 検査や画像診断について	9.6	57.9	17.3	5.1	10.1
(9) それでは、総合的にみた場合	11.9	64.2	17.1	4.3	2.4

【Q 3 (9) で「3・4 満足していない」と答えた人に】

Q 4. あなたが、「満足していない」と感じるのは特にどのような点ですか。次の中から3つまで選んでください。(3 M.A.)

n = 1,164	24.4 (ア) 医師の知識や技術	17.7 (カ) 診察日や診療時間
	37.2 (イ) 医師の説明	35.7 (キ) 治療費
	25.9 (ウ) 医師の態度や言葉使い	8.8 (ク) 検査や画像診断
	11.4 (エ) 看護師の態度や言葉使い	1.8 (ケ) その他(具体的に)
	47.3 (オ) 待ち時間	4.3 特にな
		2.9 わからない

【全員に】

病院や医院・診療所で診療を受けられたときのことについておうかがいします。

Q 5. あなたは、患者一人ひとりの性格や立場、本人の希望といった個別状況に応じた医療が行われていると思いますか。この中から1つだけお答えください。

5.8	44.9	32.8	11.3	5.3
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
そう思う	まあそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わない	わからない

Q 6. あなたは、医師は患者の症状を治すだけではなく、心のケアまで行っていると思いますか。この中から1つだけお答えください。

3.8	27.7	42.6	19.1	6.8
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
そう思う	まあそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わない	わからない

Q 7. 比較的重い病気の治療方針の決定に際して、あなたのお考えは次のうちどれに近いですか。

この中から **1 つだけ**お答えください。

- 48.8** (ア) 医師から複数の治療方法について説明を聞いた上で、医師と相談しながら自身が決める
27.4 (イ) 医師から複数の治療方法について説明を聞いた上で、医師が決めたことに自身が同意する
8.6 (ウ) 医師から複数の治療方法について説明を聞くが、治療方法についてはすべて医師に任せる
2.0 (エ) 医師から治療方法について説明を聞くことなく、すべて医師に任せる
0.2 (オ) その他 (具体的に)
13.0 特にない・わからない

Q 8. あなたの現在の健康状態はいかがですか。この中から **1 つだけ**お答えください。

- | | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 11.3 | 28.7 | 43.0 | 13.1 | 3.3 | 0.8 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) | |
| よい | まあよい | ふつう | あまりよくない | よくない | わからない |

Q 9. あなたは日本の医療全般について満足していますか。この中から **1 つだけ**お答えください。

- | | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 3.2 | 45.5 | 32.1 | 12.5 | 6.8 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | |
| 満足している | まあ満足している | やや不満である | 不満である | わからない |
| → (Q 7へ) | | ↓ | → (Q 7へ) | |

Q 10. あなたが、日本の医療全般について「不満である」と感じるのは、特にどのような点ですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- n = 2,527** **22.4** (ア) 医療の技術 (提供される医療技術)
35.6 (イ) 医療提供者 (医師、看護師など) の応対 (コミュニケーションや診察時間)
22.3 (ウ) 医療の安全性 (医療事故など)
45.6 (エ) 効率性・利便性 (待ち時間など)
34.9 (オ) 医師の体制 (医師不足や連携など)
27.2 (カ) 情報の開示 (病気や医療機関の情報など)
10.4 (キ) 快適性 (施設的环境)
33.4 (ク) 国全体の医療費抑制策 (国の医療費増大を抑える政策)
52.4 (ケ) 国民の医療費負担 (国民が負担する医療費)
4.2 (コ) その他 (具体的に)
2.8 特にない
4.0 わからない

【全員に】

Q 11. 全般的に見て、あなたは日本の医療機関の安全性をどう思いますか。この中から **1 つだけ**お答えください。

- | | | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 7.0 | 68.6 | 16.5 | 2.4 | 5.5 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | |
| 安全だと思う | まあ安全だと思う | あまり安全とは思わない | 安全とは思わない | わからない |

Q 12. あなたは、今後の医療提供体制において重点を置くべき点はどのようなことだと思いますか。この中から **3 つまで**あげてください。(3 M.A.)

- | | |
|--|---|
| 43.4 (ア) 夜間や休日の診療や救急医療体制の整備 | 12.7 (カ) 訪問診療やホームヘルパー派遣など
在宅医療の整備 |
| 38.7 (イ) 高齢者などが長期入院するための入院施設
や介護老人保健施設などの整備 | 8.4 (キ) 遺伝子治療などの先進医療の促進 |
| 34.8 (ウ) 医療従事者 (医師、看護師など) の資質の向上
(診療能力や対話能力など) | 24.6 (ク) 医療従事者 (医師、看護師など) の確保 |
| 26.1 (エ) 心のケアや心の健康を保つための医療の整備 | 9.1 (ケ) 施設的环境整備や管理体制の強化 |
| 24.5 (オ) 地域の診療所と病院の連携 | 1.4 (コ) その他 (具体的に) |
| | 9.3 わからない |

次に、かかりつけ医についておうかがいします。

Q13. かかりつけ医は、一般に健康のことを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関へ紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師のことです。あなたには、かかりつけの医師がいますか。この中から1つだけお答えください。

32.8 (ア) いる	33.8 (イ) いないが いるとよいと思う	28.7 (ウ) いない	4.7 わからない
↓			
→ (S Q 4 へ)			

Q14. あなたにとって、かかりつけ医はどのような医師ですか。この中からあてはまるものをすべてあげてください。
(M.A.)

n=1,857	62.0 (ア) 現在あるいは以前にかかった病気の主治医
	35.9 (イ) 健康について何か心配があるときに幅広く診てもらう医師
	18.9 (ウ) 病気を限定せずに総合的に診てくれる医師
	1.2 (エ) その他 (具体的に)
	0.8 わからない

Q15. あなたには、身近なかかりつけ医は、何人いますか。

n=1,857	72.2 1人	23.6 2人	4.1 3人以上
---------	------------	------------	-------------

Q16. その医師は診療所の医師ですか。それとも病院の医師ですか。

n=1,857	71.2 診療所の医師	23.8 病院の医師	5.0 診療所と病院の医師
---------	----------------	---------------	------------------

Q17. あなたは、あなたのかかりつけ医に満足していますか。この中から1つだけお答えください。複数人いる方は、もっともよくかかる医師についてお答えください。

n=1,857	20.2 (ア) 満足している	70.9 (イ) まあ満足している	7.2 (ウ) やや不満である	0.8 (エ) 不満である	0.9 わからない
---------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	---------------------	--------------

【Q13で2～4を答えた人に】

Q18. あなたにかかりつけ医がいないのはどうしてですか。この中からあてはまるものをすべてあげてください。(M.A.)

n=3,810	12.8 (ア) かかりつけ医を選ぶための情報が不足しているから
	26.4 (イ) かかりつけ医をどう探してよいかわからないから
	31.1 (ウ) その都度、受診する医療機関を選びたいから
	12.4 (エ) いつも行く医療機関はあるが、受診する医師は決まっていないから
	6.5 (オ) その他 (具体的に)
	28.2 特に理由はない・わからない

Q19. あなたがご自身のかかりつけ医を探すとき、どのような情報が役立つと思いますか。(M.A.)

- 52.8 (ア) 医師の診療方針や医療への考え方
 7.2 (イ) 医師の顔写真や年齢
 43.4 (ウ) 医師の得意分野や経歴
 25.5 (エ) 医師の治療実績、手術件数など
 30.4 (オ) 連携している医療機関や介護施設
 26.8 (カ) 時間外、救急時の対応
 11.1 (キ) 往診などの在宅医療の可否
 2.5 (ク) その他
 22.9 特に理由はない・わからない

【全員に】

Q20. あなたはかかりつけ医にどのような医療や体制を望んでいますか。次の(1)～(11)について、あなたのお気持ちに近いものを、それぞれ1つずつお答えください。かかりつけ医がいない方もお答えください。

	(ア) そう思う	(イ) まあ そう思う	(ウ) どちらとも いえない	(エ) あまり そう思わない	(オ) そう 思わない	わから ない
(1) どんな病気でもまずは診療できる	12.7	53.6	22.5	7.1	1.9	2.2
(2) 必要なときはすぐに専門医や 専門施設に紹介する	28.1	53.2	12.4	3.6	0.8	2.0
(3) 患者情報を紹介先に適時適切 に提供する	26.0	53.5	14.5	3.2	0.7	2.2
(4) 夜間休日の電話相談を行う	9.9	40.1	31.9	10.6	4.1	3.4
(5) 夜間休日の診療を行う	10.4	39.7	32.3	10.1	4.5	3.1
(6) 定期健診や検診	12.6	50.4	26.8	6.0	1.9	2.2
(7) 生活習慣病など 予防のための助言	13.2	56.9	21.8	4.8	1.3	2.0
(8) うつ病などを含むこころの 病気のカウンセリング	10.5	42.0	32.2	8.9	2.7	3.7
(9) 不在時には別の医師が 診療してくれる24時間体制	10.6	41.0	31.6	9.5	4.3	3.1
(10) 往診や訪問診療などの在宅医療	7.5	38.5	35.8	11.2	3.8	3.3
(11) 最期の看取りをする	7.6	30.9	37.6	12.2	6.4	5.2

Q21. ここに、A・B2つの意見があります。あなたのお考えに近いのはどちらですか。

- A 所得の高い低いにかかわらず、受けられる医療の中身(治療薬や治療法)は同じであるほうがよい
 B 所得の高い低いによって、受けられる医療の中身(治療薬や治療法)が異なることはやむを得ない

61.1	19.7	14.0	5.2
(ア)	(イ)	(ウ)	
Aの考えに近い	Bの考えに近い	どちらともいえない	わからない

Q22. あなたは、同じ所得の人でも加入する健康保険によって保険料が違うことを知っていますか。

52.1	36.5	11.5
知っている	知らない	わからない

Q23. それでは、同じ所得の人でも加入する健康保険によって保険料が違うことについてどのように思いますか。この中から1つだけお答えください。

39.5	17.0	31.2	12.4
(ア)	(イ)	(ウ)	
問題がある	問題はない	どちらともいえない	わからない

Q24. あなたは、「高額療養費制度」を知っていますか。

- 22.6 (ア) 知っているし、使ったことがある
50.1 (イ) 知っているが、使ったことはない
19.9 (ウ) 知らない
7.4 わからない

Q25. あなたは、がん保険や生命保険の医療特約などを含む民間医療保険に加入していますか。

この中から 1 つだけお答えください。

- 33.6 (ア) 加入していない
41.5 (イ) 1 つ加入している
14.4 (ウ) 2 つ以上加入している
10.5 覚えていない・わからない

続いて、高齢社会に望む医療・介護についておうかがいします。

Q26. あなたが、高齢で介護を必要とする状態になった場合、どこに住みたいと思いますか。

この中から 1 つだけお答えください。

- 47.7 (ア) できれば自宅に住みたい
21.2 (イ) できれば老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの自宅以外の居宅に住みたい
12.5 (ウ) 介護老人保健施設や特別養護老人ホームなどの介護施設に住みたい
0.9 (エ) その他（具体的に ）
17.7 わからない

→ (Q27へ)

Q27. あなたが、高齢で介護を必要とする状態になった場合、どのような形の介護を受けたいですか。この中から 1 つだけお答えください。なお、介護サービスにはホームヘルパー、通所介護などを含みます。

n = 3,907

- 8.7 (ア) 家族だけに介護されるのがよい
27.8 (イ) 家族の介護を中心とし、介護サービスを補助的に利用するのがよい
42.5 (ウ) 介護サービスを中心とし、家族による介護を補助的に受けるのがよい
12.6 (エ) 介護サービスだけを利用するのがよい
0.2 (オ) その他（具体的に ）
8.3 わからない

【全員に】

Q28. 高齢化が進み、わが国では認知症患者の増加が見込まれています。あなたは認知症について、身近な問題として関心がありますか。この中から 1 つだけお答えください。

- | | | | | |
|-------|---------|----------|-----------|-------|
| 26.6 | 50.6 | 17.4 | 2.0 | 3.4 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | |
| 関心がある | やや関心がある | あまり関心がない | まったく関心がない | わからない |

Q29. あなたは、「地域包括ケア」という言葉を聞いたことがありますか。この中から 1 つだけお答えください。

- 13.4 (ア) 聞いたことがあり、内容も知っている
39.6 (イ) 聞いたことはあるが、内容は知らない
36.4 (ウ) 聞いたこともない
10.6 わからない

Q30. 仮に、あなたご自身が治る見込みがなく、余命が半年ぐらいに迫っていると告げられた場合、^{さいご}最期までの療養生活をどこで送りたいと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

- 7.3 (ア) そのときまで通った（または入院中の）医療機関で送りたい
 15.2 (イ) 緩和ケア施設（ホスピス緩和ケア病棟など終末期の症状緩和を目的とした施設）で送りたい
 18.5 (ウ) 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
 22.3 (エ) 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア施設に入院したい
 13.7 (オ) 自宅で最期まで療養したい
 1.7 (カ) 専門医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療を受けたい
 2.5 (キ) 介護施設（老健や特養など）か老人ホーム、サービス付き高齢者住宅などの居宅で過ごしたい
 1.0 (ク) その他（具体的に）
 14.8 わからない → (Q20へ)
 3.1 答えたくない

Q31. その場合、あなたは医療機関や施設で、宗教も含めた精神面のサポートを望みますか。

n = 4,652 この中から1つだけお答えください。

6.1	32.0	35.7	14.1	11.8	0.2
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)		
強く望む	やや望む	あまり望まない	まったく望まない	わからない	答えたくない

【全員に】

Q32. あなたは、ここにあげた(1)～(7)について、不安をどれくらい感じますか。それぞれについて、最もあてはまるものを1つずつお答えください。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	まったく不安は感じない	あまり不安を感じない	やや不安を感じる	とても不安を感じる	わからない
(1) あなたの住んでいる地域で、夜間や休日に医療を受けられること →	4.1	40.3	40.1	8.5	7.0
(2) あなたの住んでいる地域で、高水準のがん治療が受けられること →	3.4	31.9	39.1	14.9	10.6
(3) 病院から早期退院した後に、あなたの住んでいる地域で、リハビリや療養を受ける医療機関を探すこと →	2.4	30.9	44.0	13.7	9.0
(4) あなたの住んでいる地域で、医療と介護の一貫したサービスが受けられること →	2.2	28.3	45.4	13.5	10.6
(5) あなたの住んでいる地域で、適切な疾患予防や検診が受けられること →	3.8	43.0	36.1	8.6	8.5
(6) あなたの住んでいる地域、あるいは国全体で、人口減少と少子高齢化が急速に進むこと →	2.4	20.3	43.4	26.2	7.7
(7) あなたが希望する場所で最期を迎えられること →	5.6	33.3	27.8	11.1	22.2

Q33. 医療機関の受診のあり方として、次のAとBの2つの考え方について議論されています。あなたはどちらに賛成しますか。

- A 病気の程度に関わらず、自分の判断で選んだ医療機関を受診する
B 最初にかかりつけ医など決まった医師を受診し、その医師の判断で必要に応じて専門医療機関を紹介してもらい受診する

- 15.8 (ア) Aの意見に賛成である
13.8 (イ) どちらかといえばAの意見に賛成である
35.9 (ウ) どちらかといえばBの意見に賛成である
21.2 (エ) Bの意見に賛成である
13.2 どちらともいえない・わからない

Q34. あなたは、自分の診療の情報が複数の医療機関の間で共有されることについてどう思いますか。この中からあてはまるものを3つまであげてください。(3 M.A.)

- 67.1 (ア) 重複する検査や治療を減らせると思う
53.4 (イ) 薬の重複や飲み合わせの問題を防げると思う
51.4 (ウ) 他の医療機関に受診する際にも病歴の説明などが不要でよいと思う
7.7 (エ) 個人情報漏えいするリスクが心配である
10.1 (オ) どのような情報までが共有されるのか心配である
0.1 (カ) その他(具体的に)
12.4 わからない

Q35. あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。この中から1つだけお答えください。

- | | | | | |
|--------|----------|---------|-------|-------|
| 6.4 | 57.7 | 22.7 | 10.7 | 2.5 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | |
| 満足している | まあ満足している | やや不満である | 不満である | わからない |

Q36. あなたを含めて、一緒に暮らしているかたは、合計で何人いますか。

- | | | | | | | | | |
|---------|-----|---|------|-------|----|------|------|------|
| あなたを含めて | 2.9 | 人 | 14.2 | 一人暮らし | 2人 | 31.3 | 4人以上 | 29.6 |
| | | | | | 3人 | 24.9 | 不明 | 0.1 |

Q37. では、あなたを含めて、75歳以上で一緒に暮らしているかたは何人いますか。

- | | | | | | | |
|---------|-----|---|------|-------------|------|------|
| あなたを含めて | 0.2 | 人 | 81.4 | 75歳以上の人はいない | 1人 | 13.1 |
| | | | | | 2人 | 5.3 |
| | | | | | 3人以上 | 0.2 |
| | | | | | 不明 | 0.1 |

次に、日常の健康管理についてお教えてください。

Q38. あなたが日常的に気をつけていることについてお教えてください。この中からあてはまるものをすべてあげてください。(M.A.)

- 17.6 (ア) 定期的にかかりつけ医の診察を受けている
48.7 (イ) 栄養バランスなど食生活に気をつけている
33.7 (ウ) 運動や体操をしている(ウォーキングなどを含む)
39.2 (エ) 規則正しい生活を心がけている
47.6 (オ) 休息や睡眠をとるようにしている
19.2 (カ) 健康を考えてタバコを控えている・やめた
13.5 (キ) 健康を考えてお酒を控えている・やめた
21.9 (ク) サプリメントやトクホなどを定期的に摂取している
23.4 (ケ) 新聞・テレビなどで健康の情報や知識を得るようにしている
35.9 (コ) 健康診断(定期健診、特定健診、人間ドックなど)を定期的に受けるようにしている
0.5 (サ) その他(具体的に)
14.4 特にない・わからない

※分析には使用せず。

Q 39. 高齢化の進展等によって国全体の医療費が増加することが見込まれています。あなたは医療費の負担についてどのように感じられますか。

22.5 (ア) 負担を感じるので、これ以上増えないように、受けられる医療の水準や範囲を現状より低下させるほうがよい

53.6 (イ) 負担は感じるが、ある程度増やしても、受けられる医療の水準や範囲を現状維持するほうがよい

4.0 (ウ) 負担をさらに増やして、受けられる医療の水準や範囲を現状より引き上げるほうがよい

19.9 わからない

Q 40. 医療費の増加をまかなうため、増税、健康保険の保険料の引き上げ、患者の自己負担（窓口負担）の増額のうちいずれが最も適切と考えますか。

n = 3,264 27.5 (ア) 増税

29.5 (イ) 健康保険の保険料の引き上げ

43.0 (ウ) 患者の自己負担（窓口負担）の増額

Q 41. あなたが加入している健康保険の種類は何ですか。

37.3 (ア) 国民健康保険（自営業や農業、自由業、非正規雇用者など）

25.5 (イ) 組合健保（大企業の従業員やその扶養家族など）

16.6 (ウ) 協会けんぽ（中小企業の従業員やその扶養家族など）

7.0 (エ) 共済組合（公務員、教職員やその扶養家族など）

3.3 (オ) 後期高齢者医療制度（75歳以上）

0.6 (カ) その他（具体的に ）

9.7 覚えていない・わからない

Q 42. 1年間のお宅の収入は、ボーナスや臨時収入を含め、税込みでおよそどのくらいになりますか。おさしつかえなければ、この中からお答えください。

8.8 (ア) 200万円未満

6.6 (カ) 700万円～800万円未満

10.6 (イ) 200万円～300万円未満

7.5 (キ) 800万円～1,000万円未満

24.2 (ウ) 300万円～500万円未満

6.6 (ク) 1,000万円以上

16.0 (エ) 500万円～800万円未満

19.6 わからない・答えたくない